公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

補綴の未来、歯科の未来。

"Society5.0に向けたイノベーションの創出"

2022
7/15金~17日

会場
大阪国際会議場

開催形式（予定）
ハイブリッド開催
（現地開催＋ライブ配信）

主催
公益社団法人
日本補綴歯科学会

理事長
馬場 一美
（昭和大学歯学部　歯科補綴学講座）

大会長
窪木 拓男
（岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野）

準備委員長
前川 賢治

学術委員長
大久保 力廣
（鶴見大学歯学部歯学科
有床義歯補綴学講座）

連携共催学会　日本臨床歯科学会（SJCD）
理事長　山﨑 長郎　副理事長　本多 正明

日本補綴歯科学会第131回学術大会に際しましては、格別のご支援とご尽力を賜り、心より御礼申しあげます。
お陰様をもちまして、3,000名を超える皆様にご参加いただき、ハイブリッド開催を盛会裏に終了することができました。
ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

日本補綴歯科学会第131回学術大会
大会長 窪木 拓男
（岡山大学学術研究院医歯薬学域 インプラント再生補綴学分野）

PLANMECA Japan
YOSHIDA
Tokuyama Dental
ZimVie
世界の歯科医療に貢献する 株式会社 松風
Nobel Biocare™

最新情報 Topics & Information

2022.07.13
事前参加登録をされた方にWEB視聴用ID・PWをメールにて送信しました

2022.07.11
事前1次受付に参加登録をされた方（入金済みの方に限る）には7/7（木）～7/8（金）に参加章・抄録を郵便にて発送しております。

2022.07.07
WEB閲覧方法を掲載しました

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

WEB閲覧方法

閲覧画面へのアクセスについて

大会ホームページHOME画面の「WEB開催はこちら」ボタンよりWEB視聴用のIDおよびパスワードを入力してログインの上、ご視聴ください。
WEB視聴用のIDおよびパスワードは、事前参加登録をされた方は7月11日～12日頃にメールにてご連絡しております。メールが届いていない場合、迷惑メール等のフォルダに振り分けられていることがございますため、一度ご確認のうえ、運営事務局（jps131@kwcs.jp）までお問い合わせください。
当日参加受付をされた方は参加章に記載されております。
WEB視聴のみのご参加をご希望の方は必ず7月8日（金）正午までに事前参加登録を行ってください。

視聴・閲覧方法について

【推奨環境について】
WEB閲覧システムを閲覧いただくための推奨環境は以下のとおりです。

Windows	OS	・Windows 10／8
	ブラウザ	・Google Chrome
		・Mozilla Firefox
		・Microsoft Edge
		※全て最新版
Mac	OS	・MacOS Mojave以上
	ブラウザ	・Google Chrome for mac
		・Safari
		・Mozilla Firefox
		※全て該当OSで使用できる最新版

【ライブ配信について】
配信は Zoom ウェビナーを使用いたします。
ライブ配信を行う会場は第1会場・第2会場のみとなります。
ライブ配信は、タイムテーブルに沿ってプログラムを進行いたしますので、時間を過ぎると視聴できません。
また、オンデマンド配信はいたしませんので、お気をつけください。

【質問について】
Zoom ウェビナーのQ&A より質問を受付させていただきます。質問がある方は Q&A より質問をお送りください。時間の都合で採用されない場合もございますのでご了承ください。

【WEB視聴にあたっての注意事項】
画面キャプチャを含む、録音など発表者の権利を侵害する行為，SNS での拡散等は絶対に行わないでください。発表データ（スライド・画像・動画など）に関して、ビデオ撮影・録音・写真撮影（スクリーンショットを含む）、ダウンロードは固く禁じます。不正行為が特定された場合には、厳正に対処させていただきます。 個人情報に関する内容に関しては本人・団体の許可なく、学術大会の中で知り得たことを外部に情報拡散しないでください。

単位取得について

【単位取得について】のページをご確認ください。

お問い合わせ先

公益社団法人日本補綴歯科学会第131回学術大会 運営事務局
株式会社キョードープラス
TEL：086-250-7681 / FAX：086-250-7682
E-mail: jps131@kwcs.jp

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

大会長挨拶

大阪でお会いすることを楽しみにしております！

公益社団法人日本補綴歯科学会第131回学術大会
大会長 窪木 拓男
岡山大学学術研究院医歯薬学域 インプラント再生補綴学分野

公益社団法人日本補綴歯科学会（JPS）においては、第39代理事長に昭和大学の馬場一美教授が就任され、産学連携や学術連携、新しい専門医制度の構築が強く押し進められております。この度、私が第131回学術大会長に推挙され、2022年 7月15日(金)～17日(日)の3日間、大阪国際会議場にて本学術大会を開催させていただくことになりました。本会は、全国から、補綴歯科医学や補綴歯科医療の臨床、研究、教育に携わる歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士など多職種の会員の参加が見込まれており、最新の臨床的知見や学術情報の交換の場となるよう、学術委員会を中心に素晴らしい企画がなされており、今からわくわくしているところです。また、一般市民に補綴（ほてつ）という名前を広く知っていただくための市民フォーラムが、社会連携委員会のご尽力により電子ツールを応用したスタイルで刷新予定です。

今回の学術大会は、テーマに「補綴の未来、歯科の未来。Society 5.0に向けたイノベーションの創出」を掲げており、産業革命以来の大きな進歩であるデジタル技術の歯科補綴臨床における応用が爆発的に進展しつつある記念すべきタイミングでの開催となります。特に、歯科医療機関における口腔内スキャナー等のデジタルインフラの構築に向けて、アカデミアと産業界が協力し合って情報提供することは大きな意義があり、デジタル技術や医療機器開発、創薬開発を中心に先進的な学術プログラムが提供される予定です。デジタル技術の導入においては、これまで本学会が培ってきたアナログ技術をデジタルで置き換えるというよりも、何がデジタル技術で可能になるのかという面に焦点を当てるべきと考えます。その意味で、今回の大会はそろそろ地に足が付いてきたデジタル技術が学べる学会になるものと期待します。

さらに、本学術大会期間中（2022年 7月16日）に、日本補綴歯科学会と日本臨床歯科学会（SJCD）が連携協定を締結します。日本の口腔リハビリテーションを支えてきた両組織がこのタイミングで学術大会の共同開催をすることになったと言えます。したがって、臨床面でもフレッシュな情報提供がなされ、まさに産臨学が久しぶりに顔を合わせるエポックメイキングな学会になるものと期待を差し上げているところです。また、若手の先生達の要望に答える形で、臨床手技を具体的に習得することができる実習付きハンズオンセミナー；「磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～」、「包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスティックサージェリー」、「オープンシステムを利用したRPDのCAD設計とワークフロー」、「口腔内スキャナーIOSとデジタルワークフロー」、「口腔機能測定から食事指導へ」などを企画しています。また、Lunch & Learning（シングルセルバイオロジー）、Meet the Expert（JPS、SJCDのエキスパートとの少人数のランチョンセミナー）など全く新しい企画を導入致します。これらについては、参加者が追加有料セミナーとして公募されます。参加枠が限られており、先着順となりますのでご注意をお願い致します。

一方、これまでの、第129回、第130回におきましてはコロナ禍でもあり、完全Web開催としてきましたが、第131回は基本的に現地開催とWeb配信を併用するハイブリッド開催となります。変異株の感染にも留意すべきタイミングですが、ぜひ可能でしたら現地にいらして頂き、永らく十分なディスカッションができておりません学術研究発表を行って頂きたく存じます。

第131回学術大会を、万国博覧会開催を目前にした大阪で開催できますこと、大会長として大変光栄に存じております。現在のところ、演題登録開始は1月7日、締め切りは2月11日を予定しております。課題口演、一般口演、ポスター発表、専門医申請のためのケースプレゼンテーションなど、コロナ禍に負けない多数の演題登録をお待ちしております。

〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

開催概要

大会名

公益社団法人日本補綴歯科学会第131回学術大会

テーマ

補綴の未来、歯科の未来。“Society5.0に向けたイノベーションの創出”

会期

2022年7月15日（金）～17日（日）

開催形式

ハイブリッド開催（現地開催+一部ライブ配信）

会場

大阪国際会議場
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-51

大会長

窪木 拓男（岡山大学学術研究院医歯薬学域 インプラント再生補綴学分野）

準備委員長

前川 賢治（岡山大学学術研究院医歯薬学域 インプラント再生補綴学分野）

学術委員長

大久保 力廣（鶴見大学歯学部歯学科 有床義歯補綴学講座）

主催

公益社団法人 日本補綴歯科学会
理事長：馬場 一美（昭和大学歯学部 歯科補綴学講座）

連携共催学会

日本臨床歯科学会（SJCD）
理 事 長 ：山﨑 長郎
副理事長：本多 正明

大会事務局

岡山大学学術研究院医歯薬学域 インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684

学会事務局

公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局

株式会社キョードープラス

〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society 日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

参加者へのご案内・感染対策について

参加者へのご案内

WEB閲覧方法

感染防止対策について

※現地参加される方は必ずご確認ください

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society 日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

座長・演者へのご案内

座長・演者の先生方へ

利益相反(COI)についてはこちら

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684

学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

急遽現地へ来られなくなった座長・演者の皆様へ

座長について

リモートでの登壇は出来ませんので、原則として現地にお越しください。現地にお越しいただくことができなくなった場合は必ず運営事務局（jps131@kwcs.jp）までご連絡ください。

演者について

WEBでのリモート登壇は出来ませんので，原則現地へお越しください。所属施設の規定等でどうしても現地へ来られない理由がある場合に限り、下記の発表方法で受付をさせていただきますので、必ず運営事務局（jps131@kwcs.jp）までご連絡のうえ、所属長の証明書をご提出ください。

証明書ダウンロード

発表方法について

<口演の場合>

パワーポイントを使用して作成した音声付きの動画データ（MP4）を会場にて投影させていただき発表とさせていただきます。質疑応答はございません。
発表動画は7/4（月）までにデータを運営事務局まで、メール（jps131@kwcs.jp）にてお送りください。
※データ容量が大きくなるので、ファイル転送サービス等をご使用の上、お送りください。
（例）
★ギガファイル便 https://gigafile.nu/
★データ便 https://www.datadeliver.net/

【動画作成方法について】
動画作成方法は下記よりご確認ください。
・音声付きデータ作成方法（Windows）
・音声付きデータ作成方法Mac

<ポスターの場合>

ポスターを下記にて学会会場へお送りください。
お送りいただいたポスターを事務局にて代理で貼付けさせていただき発表とさせていただきます。
なお、お送りいただいたポスターは、原則として会期終了後に破棄させていただきます。
送 付 先 ： 〒530-0005 大阪市北区中之島５丁目３－５１
大阪国際会議場 5F 502
日本補綴歯科学会第131回学術大会 運営事務局 宛
送付指定日時： 2022年7月15日（金）14時～16時着指定
送 付 状 ： 下記より送付状をダウンロードのうえ、必要事項をご記入いただきお荷物に貼付けて送付してください。

送付状ダウンロード

参加登録について

現地にお越しいただけない場合も、参加登録が必須となりますので必ず事前参加登録を行ってください。
参加登録されていない演者については演題取り下げとさせていただきますので，ご了承ください。

事前参加登録はこちら

事前参加登録期間
1次受付 2022年6月17日（金）正午まで

2次受付 2022年6月17日（金）正午～7月8日（金）正午まで
※必ず上記の受付期間中にご登録ください

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

演題募集

演題登録方法

演題登録は全てオンラインで受け付けます。

演題登録締め切り

締め切りました。多数のご応募をありがとうございました。

締切日間際はサーバーの混雑が予想されますので、余裕をもって登録していただきますよう、お願いいたします。
なお、締切日以降の抄録の修正はできませんのでご注意ください。

演題登録に関する注意事項

- **演者は、日本補綴歯科学会会員に限ります。**
  演者以外の共同発表者は、日本補綴歯科学会会員、あるいは所定の手続きを済ませた臨時会員に限らせていただきます。
- 年会費が未納の方は、演者あるいは臨時会員以外の共同発表者としての登録はできません。事前に年会費の支払いを済ませてからご登録ください。
  年会費の支払状況の確認やお支払いなどは日本補綴歯科学会の会員ページから行えます。

  共同発表者の方にもご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。
- **演題登録時に全ての発表者の会員番号を入力してください。**
  会員番号は、会員カードに記載しております。
  事前に共同発表者の方から会員番号を確認していただき、ご登録をお願いいたします。
- 学会事務局および大会事務局では、個人情報保護の観点から、他の会員の会員番号に関する問合せには一切お答えしておりません。
  ご自身の会員番号は、会員カードにてご確認ください。
  会員カードの紛失などにより、ご自身の会員番号が不明な方は、日本補綴歯科学会の会員ページ内のログイン画面にある「パスワードを忘れた方」から、メールアドレスを入力、送信ボタンをクリックしていただくと、パスワードがメールにて配信されます。

  ログイン後、「会員情報」をクリックしていただくと会員番号の閲覧が可能になります。
- **共同発表者が非会員の場合は、臨時会員番号を「e9999」とご入力いただき、後日、事前参加登録ページより臨時会員登録とお支払をお済ませください。**本会の振興の為、この機会の入会をお勧めしていただけると幸いです。
- プログラム委員会では登録された**抄録の校正および修正依頼は一切行いません。登録者の責任で、校正を済ませたうえで登録していただきますよう、お願いいたします。**抄録作成時にはHP上の「抄録投稿チェックリスト」を厳守してください。特に、タイトルや抄録の字数制限を超過しないよう、ご注意ください。規定外の抄録は、不採用（リジェクト）となりますので十分にご注意ください。なお、プログラム委員会では体裁の修正を行うことがありますので、予めご了承ください。
- **演題登録締め切り後、演題の取り下げのないよう十分に内容を吟味した上で、ご登録をお願いいたします。**万一取り下げを希望される場合、令和4年3月4日（金）までにご連絡いただければプログラム・抄録集からの演題消去が可能ですが、それ以降になりますとプログラム・抄録集からの完全な消去は困難となり、取り消し線や取り下げの明記、あるいはホームページや大会会場掲示板での掲示がなされることを予めご了承ください。
- 抄録の内容をHP上にアップすることへの諾否および利益相反の有無、疫学研究倫理審査委員会承認、臨床研究倫理審査委員会承認、動物実験倫理審査委員会承認、組み換えDNA実験安全委員会承認等に関する登録も行っております。チェックボックスにチェックして登録してください。

日本補綴歯科学会へのご入会

課題口演

1．課題口演のテーマ

課題口演のテーマと応募資格は以下のとおりです。

1）**Smart prosthodontics：**CAD/CAM、ガイデッドサージェリー、三次元有限要素法、IT、AI等のデジタル手

法あるいは接着歯学、歯科材料学的アプローチにより、高品質な補綴装置および統合的価値をもつ治療をもたらす研究

2) **臨床エビデンス：**食力向上による健康寿命の延伸を目指し、口腔機能障害、全身疾患や栄養、超高齢社会など、現代日本の歯科医療が直面している問題についての臨床エビデンスやメカニズムに関する研究、既存のあるいは新規に開発した補綴歯科の検査および治療法のアウトカム（成果、結果、ゴール、エンドポイントなど）を系統的にかつ定量的に評価する研究、臨床疫学研究
3) **バイオロジー：**メカノバイオロジー、再生医学など生物学的な手法により補綴歯科治療に関連する問題を解決する研究

※ 応募予定の研究テーマがどのカテゴリーに当てはまるかわからない場合は、もっとも適切と思われるカテゴリーを選択してください。プログラム委員会においてカテゴリーの割り当てを変更する場合があります。

2. 課題口演の応募資格

・令和4年3月31日現在で、**最終学歴（学士、博士）取得後10年以内**の会員（博士課程満期退学後10年以内の者を含む）
・過去に課題口演優秀賞、課題口演賞を受賞していないこと
・抄録締め切り時点で未発表のものであること
・学会、委員会が主導した研究は除く
・教室の責任者は除く

3. 課題口演の実施方法

1) プログラム委員会において、事前抄録をもとに各カテゴリーから優秀な3演題ずつを選考します。選考された演題の筆頭演者はファイナリストとして課題口演の演者となります。
2) ファイナリストには、課題口演審査の採点資料としてA4で3枚（6ページ）程度のextended abstractを提出していただきます（提出締め切り：令和4年5月13日（金））。
3) 課題口演に選考されなかった演題については、応募時に選択した第2希望を参考に、プログラム委員会にて一般口演またはポスター発表に振り替えます。振替先の発表形式、カテゴリーはプログラム委員会に一任させていただきます。
4) 審査委員は学会当日各カテゴリーから特に優秀な1演題を選出し、課題口演優秀賞を授与します。
5) 発表は、1演題につき発表10分、質疑応答10分とします。
6) 課題口演審査委員が審査を行います。なお、審査委員は共同演者となっている演題の審査は行いません。
7) 審査方法の詳細は、後日公表し、連絡いたします。
8) 課題口演優秀賞の選考数は、同点等の場合最大1演題追加することがあります。

一般演題（口演・ポスター発表）

演題申込時に、発表形式（一般口演、ポスター発表）およびカテゴリー（以下から第2希望まで）を選択していただきます。なお、発表形式およびカテゴリーは、申込時の希望を参考にプログラム委員会で決定します。

ポスター発表の中から、とくに優秀な演題を優秀ポスター賞（デンツプライシロナ賞、カボデンタル賞）として表彰する予定です。ただし、下記の「9。 学会主導研究」に関しては、表彰対象から外します。

1. 有床義歯
2. クラウンブリッジ
3. インプラント
4. ニューロサイエンス
5. バイオロジー・バイオマテリアル
6. 口腔機能
7. 教育
8. 症例
9. 学会主導研究（表彰対象から除外）

演題登録ページへ

イブニングセッション コーディネーターの募集

「イブニングセッション－臨床イノベーションのための挑戦」

第131回学術大会では第123回学術大会から行われたイブニングセッションの主旨を引き継ぎ、**今後の補綴歯科学会会員の研究戦略を具体的に導き出すため、またより良い補綴歯科医療実現のため**、若手研究者・臨床家イブニングセッションを開催します。これは、優秀な若手研究者や臨床家から発せられる自発的な研究・教育的企画により、学会活動の活性化を図るものです。これにより、若手会員が臨床イノベーションに貢献し、近い将来、世界に伍する研究者および医療提供者となって、世界の歯科補綴学分野をリードすることを期待します。

従いまして、採択者には自らの研究・臨床を基に、その成果と将来の展望、夢を語ってもらい、同じ領域の研究・臨床に従事する、もしくは志す会員間の議論をコーディネートしていただきたいと思います。イブニングセッションの概要および応募要領は下記の通りです。若手会員等に周知していただき、奮って応募いただくようにお願いします。

イブニングセッションの概要および応募要領

開催日時：2022年7月16日 (土) 18：00－19：00
開催場所：第1～5会場

セッションテーマ

● 研究
Biology / TMD / ブラキシズム / 睡眠時無呼吸症候群 / 脳機能 / 再生医療 / 咀嚼能率検査法 / 生体材料 / インプラント / CAD/CAM / 咬合と全身 / 臨床疫学 / 教育 / 摂食嚥下機能 / 接着歯学 / その他

● 臨床
全部床義歯（印象・咬合採得・人工歯排列） / 部分床義歯（設計・印象採得） / クラウンブリッジ（支台歯形成・印象） / 咬合調整 / 接着の臨床応用 / インプラント / 咬合感覚異常症 / 審美歯科 / 顎顔面補綴 / 義歯リライン・リベース / 摂食嚥下障害への対応 /その他

実施要領

応募された企画から、4題～6題（予定）のイブニングセッションを学術委員会が選定します。選定された企画のコーディネーターはセッションの最初に10分間程度のフォーカスプレゼンテーション（現状と問題提起）をしていただき、その後の討論の座長を務めていただきます。また、コーディネーターもしくは学術委員会により推薦組織された参加者数名による各5分間程度の発表も行います。**参加者の共同企画によって結果が広く会員の研究計画や臨床向上に資するような討論を期待します。**参加者が胸襟を開き、自由かつ活発に討論することができるように、少人数でも実施します。各分野のエキスパート１名がオブザーバー・ファシリテーターとして参加する予定ですが、基本的に議論には参加せず、必要に応じてアドバイスする程度にとどめます。

応募資格

公益社団法人日本補綴歯科学会若手会員
（年齢については特に具体的な制限は設けません）

応募方法

応募用紙に必要事項を記入の上、2022年1月31日（月）までに、下記宛に応募してください。
＜送付先＞
学術委員会幹事 佐藤洋平（sato-yohei@tsurumi-u.ac.jp）

応募用紙ダウンロード

選考方法

基本的には各セッションテーマに関する研究実績や応募用紙に記載された内容を基に学術委員会で決定します。ただし、実績がなくても将来性がある研究や治療を実施しているなど、必ずしも実績のみに基づかない選考結果となる可能性もあります。特に、これまでのイブニングセッションで未登壇の先生を優先させていただきます。**なお、採択者は通常のシンポジウムにおけるシンポジストと同等の実績とみなしていただいて結構です。**

演題登録に関するお問い合わせ

演題登録準備事務局 (株式会社日本旅行 東日本法人支店)
Jps_endai@nta.co.jp

その他学術大会に関するお問い合わせ

日本補綴歯科学会第131回学術大会 運営事務局
株式会社キョードープラス内
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

事前参加登録

＜参加形式の変更について＞

参加登録時に参加形式で「WEB参加」を選択されている方も、当日、現地参加いただくことが可能となっております。
事前参加登録システム上での参加形式の変更は必須ではございませんが、運営上の現地参加者数把握のため、可能な限り変更をお願いいたします。
事前参加登録システムから【予約確認・変更】をクリックして頂き、ログイン後、「受付番号」をクリックすると参加形式を「現地参加」に変更可能です。
なお、「WEB参加」にて視聴可能な会場は第1会場と第2会場のみとなります。

参加登録方法

事前参加登録をしていただきますと、前納会費での参加が可能です。

【参加登録期間】

	受付期間	参加証	WEB視聴ID、パスワード
事前1次受付 ※締切を延長しました。	5/24(火)正午～6/20(月)正午 ※登録歯科技工士の登録開始は5/26(木)～	事前発送	メール配信
事前2次受付	6/20(月)正午～7/8(金)正午	現地参加者：現地配布 WEB参加：学術大会終了後に郵送	メール配信
当日受付	当日現地受付	現地配布	現地配布

※ 事前参加登録の締切延長はありません。お早めにご登録ください。
※ 当日受付は現金でのお支払いのみとなります。クレジットカードは使用できません。
※ 事前登録された方にはWEB視聴ID、パスワードを会期直前（7/14まで）に登録いただいたメールアドレスにお送りします。**（携帯メール、outlookメール（jp,com,hotmail）は配信メールが届かない場合がありますので、別メールのご使用をおすすめします。）**
※ 事前参加登録の締切延長はありません。お早めにご登録ください。

オンラインでの参加登録が困難な場合

電子メール（事前参加登録デスク：jps_sanka@nta.co.jp）またはFAXにて、お名前、電話番号、メールアドレスまたはFax番号をお知らせください。
折り返しご案内を送付させていただきます。

《連絡先》
公益社団法人日本補綴歯科学会第131回学術大会 事前参加登録デスク
株式会社日本旅行 東日本法人支店
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10-11 日本橋府川ビル2階
Fax：03-6892-1830
E-mail：jps_sanka@nta.co.jp
営業時間：平日 9：30～17：30（土・日・祝日は休業）

学術大会参加費

参加区分	前納会費	当日会費
正会員	10,000円	15,000円
賛助会員	10,000円	15,000円
準会員（一般）	5,000円	7,500円
準会員（学部学生）	1,000円	2,000円
非会員（一般）	15,000円	20,000円
非会員（学部学生）	2,000円	3,000円

非会員（共催学会の会員）＊	10,000円	15,000円
登録歯科技工士	0円	0円
非会員（歯科技工士）	2,000円	3,000円
非会員（歯科衛生士）	2,000円	3,000円

＊共催学会：日本臨床歯科学会，日本老年精神医学会，日本顎口腔機能学会，日本口腔インプラント学会，日本在宅医療連合学会，日本歯科衛生士会，日本歯科技工学会，日本歯科技工士会，日本歯科理工学会，日本磁気歯科学会，日本デジタル歯科学会，日本バイオマテリアル学会，日本老年歯科医学会，認知症と口腔機能研究会

※登録歯科技工士は、日本補綴歯科学会へ登録料2,000円（1年間有効・4月から翌年3月まで）を支払うことで、本会学術大会に無料で参加できます。詳細は、「登録歯科技工士申請案内 (hotetsu.com)」をご確認ください。

ハンズオンセミナー

セミナー番号	タイトル	日にち	会場	時間	参加形式	定員	受講料
1-1	磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～	7/16（土）	第4会場	9:00～10:30	講義＋実習	20名	￥5,000
1-2				10:40～12:10	講義＋実習	20名	￥5,000
2-1	口腔内スキャナーの実践 Ver.4		第5会場	9:00～10:30	講義＋実習	12名	無料
2-2				10:40～12:10	講義＋実習	12名	無料
3-1	口腔機能測定から食事指導へ		第4会場	13:40～15:00	講義＋実習	48名	無料
3-2				15:30～16:50	講義＋実習	48名	無料
4	包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスティックサージェリー		第5会場	13:40～17:00	講義＋実習	20名	￥10,000
					講義のみ	50名	無料
5	部分床義歯完全デジタルワークフローのためのボックスジョイントテクニック	7/17（日）	第4会場	9:00～11:50	講義＋実習	20名	無料
					講義のみ	46名	無料
6	ラミネートベニア審美補綴治療の最前線		第5会場	9:00～12:00	講義＋実習	20名	￥15,000
					講義のみ	60名	無料

※ ハンズオンセミナーへの参加には学術大会への参加登録が必須です。
ハンズオンセミナーのみの参加は出来ません。
※ 申し込みはお一人につき1セミナーまでとなります。
※ 事前申込制です。参加希望の方は必ず事前申し込みを行ってください。
当日受付は行いません。
※ 申込締切前でも定員に達し次第、締切とさせていただきます。

Lunch & Learning

タイトル： シングルセルバイオロジーが切り拓くProsthodontic Medicine
会 場： 第4会場（10F 会議室1008）
日 時： 7月16日（土）12:30～13:10
定 員： 40名
受 講 料： 無料（昼食付）
※ Lunch & Learningへの参加には学術大会への参加登録が必須です。
Lunch & Learningのみの参加は出来ません。
※ 事前申込制です。参加希望の方は必ず事前申し込みを行ってください。
当日受付は行いません。
※ 申込締切前でも定員に達し次第、締切とさせていただきます。

Meet the Experts

会 場： 第5会場（10F 会議室1009）
日 時： 7月16日（土）12:30～13:10
定 員： 30名（1講師につき各5名定員）
受 講 料： 2,000円（昼食付）
講 師： 池邉 一典 （大阪大）

江草 宏 （東北大）
松田 謙一 （関西支部）
丸尾 勝一郎（東京支部）
山﨑 長郎 （東京支部/日本臨床歯科学会）
本多 正明 （関西支部/日本臨床歯科学会）

※ Meet the Expertsへの参加には学術大会への参加登録が必須です。
Meet the Expertsのみの参加は出来ません。
※ 事前申込制です。参加希望の方は必ず事前申し込みを行ってください。
当日受付は行いません。
※ 申込締切前でも定員に達し次第、締切とさせていただきます。

臨時会員登録

共同発表者が非会員の場合は臨時会員登録を行ってください。
登録料：5,000円

参加形式について

参加形式の選択は現状の予定を選択してください。
あくまで当日運営の参考として入力をいただいておりますので直前などに変更いただいても問題ございません。
※変更のご連絡は不要です。

取り消し（返金）手数料

2022年7月8日（金）正午まで 10%
2022年7月8日（金）正午以降 100%

会員意見交換会のお知らせ

日時：7月15日（金）19：00～21：00
会場：リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳の間
会費：16，000円
定員：300名（定員に達し次第、締切となります。）
形式：着席（アクリルパネル設置）
※会員意見交換会はどなたでも参加可能です。
感染対策のため、事前申込制となります。
当日受付は行いませんので、希望者は必ず事前登録を行ってください。

託児施設

設定はありません。

参加登録ページ

以下のボタンから参加登録ページにお進みいただき手続きください。

事前参加登録はこちら

お問い合わせ先

公益社団法人日本補綴歯科学会第131回学術大会 事前参加登録デスク
株式会社日本旅行 東日本法人支店
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10-11 日本橋府川ビル2階
TEL：03-6892-5104 FAX：03-6892-1830 E-mail：jps_sanka@nta.co.jp

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局

〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

日程・プログラム

現時点での予定プログラムです。
今後、新型コロナウイルス感染拡大の状況等によって変更になる可能性がございます。

日程表

日程表

プログラム

企画セッション

課題口演発表

一般口演発表

ポスター発表

専門医ケースプレゼンテーション

抄録

企画セッション

※以下の抄録は7月14日（木）9:00～7月19日（火）9:00までの掲載となります

課題口演発表

一般口演発表

ポスター発表

専門医ケースプレゼンテーション

プログラム

日本歯科医学会会長懇談会

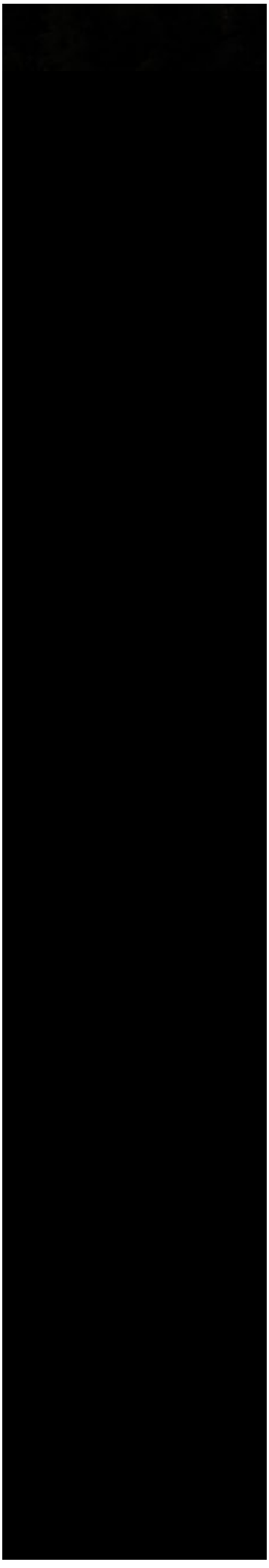
2022年7月15日（金）16:30～17:00（30分） 第2会場

座長： 馬場 一美（日本補綴歯科学会 理事長）

講師： 川口 陽子（日本歯科医学会 副会長）

特別講演

2022年7月17日（日） 10：20～11：40（80分） 第1会場



「認知症の口腔機能と食行動」

座長： 窪木 拓男（岡山大）
苗木 賢治（医歯大）
講師： 池田 学（日本老年精神医学会理事長／大阪大）

共催：一般社団法人日本老年歯科医学会
認知症と口腔機能研究会

海外特別講演

2022年7月16日（土） 13：10～14：40（90分） 第1会場

「The Smile Business Formula」

座長： 澤瀬 隆（長崎大）
細川 隆司（九歯大）
講師： Christian Coachman（Digital Smile Design）

メインシンポジウム

2022年7月16日（土） 15：50～17：50（120分） 第1会場

「補綴の未来、歯科の未来に向けて」

【企画趣旨】（公社）日本補綴歯科学会と日本臨床歯科学会の協定締結に伴い、メインシンポジウムとして両学会のこれまでの沿革や業績を紹介しながら、締結により今後実施を予定する活動を整理し、両学会が描く補綴の未来像を予見する。

座長： 土屋 賢司（東京支部／日本臨床歯科学会）
澤瀬 隆（長崎大）
シンポジスト： 馬場 一美（昭和大）
山﨑 長郎（東京支部／日本臨床歯科学会）
本多 正明（関西支部／日本臨床歯科学会）
窪木 拓男（岡山大）

共催：日本臨床歯科学会

シンポジウム１

2022年7月16日（土） 9：00～10：30（90分） 第1会場

「バイオマテリアルの拓く補綴歯科」

【企画趣旨】補綴治療はクラウンブリッジ・義歯・インプラントなど、バイオマテリアルを駆使した高頻度治療である。適切な臨床応用を目指したバイオマテリアル研究には臨床的課題の理解とこれを解決し得る研究の方向性が不可欠である。本シンポジウムではバイオマテリアルの先端基礎研究と、臨床の現場がバイオマテリアルに期待する課題を紹介いただき、補綴歯科における展望を議論したい。

座長： 秋葉 陽介（新潟大）
江草 宏（東北大）
シンポジスト： 川下 将一（医歯大）
小松 周平（東京理科大）
正木 千尋（九歯大）

共催：日本バイオマテリアル学会

シンポジウム2

2022年7月16日（土） 9：00～10：30（90分） 第3会場

「AI と補綴歯科の未来」

【企画趣旨】昨今の第三次AI ブームでは、AI 技術の医学領域での社会実装が進んでいる。歯科領域においても、画像診断を皮切りに様々なAI 研究が行われており、これらの社会実装により診断精度の向上や治療技術の標準化、歯科診療の効率化に資することが期待される。本シンポジウムでは、医療AI の現状や課題を知るとともに、歯科補綴学領域の研究開発の現状、将来的にAI によって補綴治療がどのように変わるのかを論じたい。

座長： 津賀 一弘（広島大）
大野 彩（岡山大）
シンポジスト： 中原 龍一（岡山大）
駒ヶ嶺友梨子（医歯大）
玉田 泰嗣（長崎大）

シンポジウム3

2022年7月16日（土） 10：40～12：10（90分） 第1会場

「補綴治療は患者の何を改善できるか？：臨床アウトカムを多角的に評価する」

【企画趣旨】歯冠の崩壊や欠損歯列を有する患者、あるいは顎口腔機能に問題を抱える患者に対してわれわれは補綴治療を行い、その機能や外観の回復に努めてきた。この治療効果を多角的な視点で主観的、客観的に評価し、その治療の意義を患者と共に実感することは有益であり、また重要である。本シンポジウムでは、臨床アウトカムの評価項目に造詣の深い3 名の先生方にご講演いただき、それぞれの評価法の活用や補綴治療の臨床アウトカムへの応用について考

察、議論していきたい。

座長： 松香 芳三（徳島大）
堀 一浩（新潟大）
シンポジスト： 高阪 貴之（大阪大）
岩崎 正則（東京支部）
内藤真理子（広島大）

共催：一般社団法人日本老年歯科医学会
日本顎口腔機能学会

シンポジウム4

2022年7月16日（土） 10：40～12：10（90分） 第3会場

「若手からベテランまで！補綴歯科領域におけるシステマティックレビュー入門」

【企画趣旨】研究を進める上で、先行研究に関する文献を渉猟し、現時点での知見をまとめることは非常に重要である。本シンポジウムでは、会員アンケートにて要望の多かったシステマティックレビューについて焦点を当て、システマティックレビューとは何かといった基礎的な点から、考え方、実施するうえでの注意点といった実践的な内容まで、実際にシステマティックレビューやメタアナリシスを行われている経験豊富な講師の先生方にご解説いただく。

座長： 笛木 賢治（医歯大）
猪越 正直（医歯大）
シンポジスト： 笛木 賢治（医歯大）
前川 賢治（岡山大）
峯 篤史（大阪大）

シンポジウム5

2022年7月17日（日） 9：00～10：10（70分） 第1会場

「床用レジンを再考する：補綴臨床はSDGs に貢献できるか？」

【企画趣旨】床用レジンの補強には、金属線や金属メッシュ、グラスファイバー線維などが伝統的に用いられてきた。本シンポジウムでは、近年あらゆる業界で注目・製品化されている天然素材「セルロースナノファイバー」のエキスパートより、臨床応用の可能性について解説していただき、さらに低炭素社会実現への貢献の可能性を考えたい。

座長： 都築 尊（福歯大）
村田比呂司（長崎大）
シンポジスト： 洪 光（東北大）
川口 智弘（福歯大）
二瓶智太郎（神歯大）

共催：一般社団法人日本歯科理工学会

シンポジウム6

2022年7月17日（日） 10：10～11：40（90分） 第3会場

「口腔内スキャナーは臨床でこう使う」

【企画趣旨】口腔内スキャナーは今後のデジタルデンティストリーのために必須の医療機器として注目されており、近い将来において幅広く普及することが期待されている。本シンポジウムでは、3 名の臨床家の先生に日常の臨床において診療室でどのように口腔内スキャナーを活用しているか、従来の印象法と比較して何が変わったのか、臨床を通じて得られた知見をお話しいただく。

座長： 疋田 一洋（北医療大）
木本 克彦（神歯大）
シンポジスト： 丸尾勝一郎（東京支部）
佐々木英隆（エスデンタルオフィス）
北道 敏行（きたみち歯科医院）

共催：一般社団法人日本デジタル歯科学会

専門医関連委員会セミナー

2022年7月15日（金） 17：00～18：30（90分） 第2会場

「機構認証を目指す日本補綴歯科学会専門医の認定制度，研修機関と研修の概要」

座長： 井野 智（神歯大）
講師： 河相 安彦（日大松戸）
木本 克彦（神歯大）
鮎川 保則（九州大）
窪木 拓男（岡山大）

診療ガイドライン委員会セミナー

2022年7月15日（金） 17：00～18：30（90分） 第3会場

「知っておきたい感染対策、睡眠時ブラキシズム治療」

【企画趣旨】診療ガイドラインは、健康に関する重要な課題について、医療利用者と提供者の意思決定を支援するために、システマティックレビューによりエビデンス総体を評価し、益と害のバランスを勘案して、最適と考えられる推奨を提示する文書である。また、指針は、エビデンスが確立していないものの、現時点での最適と考えられる推奨を示す文書である。このように、診療上の決定には診療ガイドラインや指針を参考にする必要がある。今回のセミナーでは、「補綴歯科治療過程における感染対策指針2019」と「ブラキシズムの診療ガイドライン 睡眠時ブラキシズムの治療（管理）について」を紹介するとともに、保険収載されたブラキシズムに対する睡眠時筋電図検査に関しまして解説する。本セミナーが皆様の診療の参考になることを期待している。

座長： 松香 芳三（徳島大）
藤澤 政紀（明海大）
講師： 會田 英紀（北医療大）
水口 一（岡山大）
山口 泰彦（北海道大）

臨床スキルアップセミナー

2022年7月17日（日） 9：00～9：50（50分） 第3会場

「インプラント補綴の勘所」

【企画趣旨】欠損補綴に対する治療法としてインプラントは一つの選択肢である。しかしこれからインプラントを始めよう、もしくは始めたがよくわからない、と若手歯科医師が迷うことが多い。そこで本セミナーでは若手歯科医師やインプラントの初心者、初級者を対象としてインプラント（固定性）補綴を中心に診査診断から印象採得、装着での注意点、さらに予後から見える補綴装置の偶発症およびその対処法、予防策を解説する。

座長： 細川 隆司（九歯大）
越智 守生（北医療大）
講師： 鮎川 保則（九州大）
樋口 大輔（松歯大）

共催：公益社団法人日本口腔インプラント学会

臨床リレーセッション1

2022年7月16日（土） 13：10～14：40（90分） 第2会場

「部分床義歯の設計を極める －支持・把持を高めるために何を考えるのか－」

【企画趣旨】部分床義歯の動揺を抑制するためには、確実な支持作用と把持作用の設定を第一義と考え、そのうえで必要最小限の維持力の付与が常道である。つまり、義歯の可動方向を規定し支台歯に対する負担過重を軽減する設計が要件となる。本セッションでは、この概念を実現するための具体的な設計と技工操作、また、海外の設計原則との比較についてディスカッションを行いたい。

座長： 山下秀一郎（東歯大）
谷田部 優（東京支部）
講師： 武部 純（愛院大）
加藤 光雄（東京支部）
青木 勇（東京支部／有限会社ライズアオキ）

臨床リレーセッション2

2022年7月16日（土） 14：50～15：50（60分） 第2会場

「補綴医が知っておきたい歯科訪問診療の基礎知識」

【企画趣旨】超高齢社会の到来による高齢者人口の増加のため、歯科訪問診療の需要は増加の一途をたどっている。歯科訪問診療の現場では、補綴介入が必要となる場面も多くあり、補綴医が求められるケースが多いのではないかと考える。一方で、歯科訪問診療を必要とする患者は有病者であることがほとんどである。このような中、実際に補綴医が歯科訪問診療を行う際に注意するべき点について、全身管理、補綴治療、摂食嚥下リハビリテーションの視点からまとめたい。

座長： 會田 英紀（北医療大）
古屋 純一（昭和大）
講師： 猪越 正直（医歯大）
猪原 健（中国・四国支部）

共催：一般社団法人日本老年歯科医学会
一般社団法人日本在宅医療連合学会

臨床リレーセッション3

2022年7月17日（日） 9：00～10：10（70分） 第2会場

「インプラント補綴患者に生じる欠損歯列：次の補綴介入は何を選択するのか？」

【企画趣旨】インプラント治療はその機能性、予知性の高さが証明されており、幅広く応用されている。しかし、インプラント治療後に生じる天然歯の喪失やインプラントのトラブルなど、インプラント補綴後の口腔状態を維持できないこともある。このような場合の介入には、補綴的観点からだけでなく患者のバックグラウンドの変化も含め、熟慮が必要な場合がある。本セッションではインプラント補綴終了後に欠損を生じた際の治療判断について3 名の先生にご講演いただき、治療オプションやその選択基準についてディスカッションしていきたい。

座長： 荻野洋一郎（九州大）
和田 誠大（大阪大）
講師： 内田 剛也（西関東支部）
近藤 祐介（九歯大）
永田 浩司（医歯大）

共催：公益社団法人日本口腔インプラント学会

臨床リレーセッション4

2022年7月17日（日） 10：20～11：40（80分） 第2会場

「補綴医に必要な磁性アタッチメントの知識と技能」

【企画趣旨】磁性アタッチメントは磁力という特殊な維持力を利用しているため、純粋な維持力を発揮でき、支台に優しく、取り外しが容易であるなど多く特長がある。そして、メインテナンスしやすく維持力の減衰がないことなども加わり超高齢社会に有用で、いよいよ保険収載もされ注目されている。
そこで、磁性アタッチメントについて、保険収載までの経緯をはじめ、診療ガイドラインをもとにした基本的考え方や、天然歯およびインプラントに用いた臨床の勘所と注意点についてディスカッションし、知っておくべき磁性アタッチメントの知識と技能を提示したい。

座長： 大川 周治（明海大）
大久保力廣（鶴見大）
講師： 秀島 雅之（医歯大）
大山 哲生（日本大）
田中 譲治（東関東支部）

共催：日本磁気歯科学会

専門医研修会

2022年7月17日（日） 13：00～15：00（120分） 第1会場

「補綴難症例に対する補綴歯科専門医の解決策を共有する（その1）
すれ違い咬合，高度顎堤吸収，摂食機能障害」

【企画趣旨】一般社団法人 日本歯科専門医機構が認定する補綴歯科専門医に求める要件の一つが「補綴歯科の難症例」に対応できる知識と技能を有する歯科医師である。本研修は①著明な顎堤吸収、②摂食機能障害、③すれ違い咬合に30年以上にわたり補綴歯科専門医として取り組んできた３名の先生にご講演をいただき、専門医が修得すべき知識、実践的技能と患者に対するケアを含めた情意領域などについてご解説をいただき、難症例に対峙する専門医のロールモデルを提示していきたい。

座長： 河相 安彦（日大松戸）
井野 智（神歯大）
講師： 大久保力廣（鶴見大）
鱒見 進一（九歯大）
小野 高裕（新潟大）

歯科技工士セッション

2022年7月17日（日） 13：00～14：00（60分） 第2会場

「歯科医師・歯科技工士の視点から考えるジルコニア製補綴装置の課題と展望
歯科医師・歯科技工士それぞれの視点から 」

【企画趣旨】ジルコニアの物性や製作工程、ジルコニア製補綴装置の臨床経過に関する研究は、数多く報告されており、ジルコニア製補綴装置は臨床でも幅広く応用されている。しかし、臨床応用に際して解決すべき点や、未だ認識されていない問題点が隠れているかもしれない。本セッションでは歯科医師、歯科技工士それぞれの視点からみた課題や懸念事項を抽出し、ラボワークにおいてどのように対処、対応すべきか、考察したい。

座長： 小峰 太（日本大）
三浦 賞子（明海大）
講師： 近藤 尚知（岩手医大）
大川 友成（東海支部／ Organ Dental Technology Hamburg）

共催：一般社団法人日本歯科技工学会
一般社団法人日本デジタル歯科学会

歯科衛生士セッション

2022年7月17日（日） 14：10～15：10（60分） 第2会場

「補綴装置を長期維持管理するために必要な歯科衛生士のスキルとは？」

【企画趣旨】補綴装置を長期維持するためには歯科衛生士の役割が大きく関与することは言うまでもないが、補綴治療と関連づけて詳細に議論されることは少ない。
そこで、インプラント上部構造を含めた補綴装置の長期維持管理に必要な歯科衛生士のスキルを整理するとともに、実際の臨床現場で役立つ知識とノウハウについて、その分野で豊富な臨床経験をお持ちのエキスパートに教示していただく。

座長： 二川 浩樹（広島大）

田中 譲治（東関東支部）
講師： 川崎 律子（長谷川歯科医院）
柏井 伸子（有限会社ハグクリエイション）

共催：公益社団法人日本歯科衛生士会

ハンズオンセミナー1

2022年7月16日（土） 9：00～10：30（90分） 第4会場
10：40～12：10（90分） 第4会場

「磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～」

【企画趣旨】磁性アタッチメントは通常の機械的維持力発現機構と異なり、磁力を用いているため、小型でシンプルな形状で、取り扱いが楽であることなど多くの利点があるが、技工操作や義歯への取り付けには特有なスキルが必要となる。
2021 年9 月より磁性アタッチメントが保健収載されたことから、補綴医としてはぜひ身に着け ていただきたい技能であり、ハンズオンにてそのスキルを習得していただく。

講師： 鈴木 恭典（鶴見大）

協賛：株式会社モリタ
株式会社ケディカ
株式会社キクタニ

ハンズオンセミナー2

2022年7月16日（土） 9：00～10：30（90分） 第5会場
10：40～12：10（90分） 第5会場

「口腔内スキャナーの実践 Ver.4」

【企画趣旨】最近は様々な口腔内スキャナーが開発され、性能が著しく向上し、患者や術者にとってさらに使用しやすく、臨床現場で有益かつ信頼性のある機器となっている。
本学会では過去3 回の学術大会において口腔内スキャナーのハンズオンセミナーを行ってきたが、その後、それぞれの口腔内スキャナーはさらに機能が向上し、応用範囲が拡大してきたため、それぞれの特徴や使用方法について理解を深めていただく。

講師： 疋田 一洋（北医療大）
樋口 大輔（松歯大）

共催：一般社団法人日本デジタル歯科学会
協賛：株式会社松風
デンツプライシロナ株式会社
アラインテクノロジージャパン

ハンズオンセミナー3

2022年7月16日（土） 13：40～15：00（80分） 第4会場
15：30～16：50（80分） 第4会場

「口腔機能測定から食事指導へ」

【企画趣旨】口腔機能の低下は、フレイルやサルコペニアとの関連が示されており、機能障害の前段階とされている。歯科外来は、口腔機能低下の兆候を発見するに適した環境であり、医療面接やスクリーニングによって口腔機能低下の疑いがあれば早期に検査を行い、対応することが望まれる。
栄養改善は、口腔機能管理の重要なゴールの１つである。補綴治療による咀嚼機能の維持・向上は栄養改善に欠かせない。一方で、咀嚼機能の回復だけでは栄養改善につながらないことも多い。そのため口腔機能検査だけでなく、適切に栄養状態を評価し、栄養指導や食事指導につなげる必要がある。補綴歯科医の強みは、口腔機能評価と栄養評価の結果を一体的に指導に生かせることである。本セミナーでは、チェアサイドでできる栄養評価と食事指導の実践スキルを習得していただきたい。

講師： 上田 貴之（東歯大）

協賛：株式会社クリニコ

ハンズオンセミナー4

2022年7月16日（土） 13：40～17：00（200分） 第5会場

「包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスティックサージェリー」

【企画趣旨】補綴歯科治療の機能と審美の長期的な安定のためには、補綴装置だけではなく、周囲軟組織に対する配慮が求められる。ペリオドンタルプラスティックサージェリーは、軟組織への代表的な介入手段であり、適切な診断に基づいて、適切な手技を用いれば、その効果はたいへん大きなものである。本セミナーでは、上皮下結合組織を用いた“ 天然歯根周囲の歯肉増生術” と“ 欠損部位に対する歯槽堤増大術” を取り上げ、その背景と手技の再確認を行いたい。

講師： 小田 師巳（関西支部）
園山 亘（関西支部）

協賛：株式会社松風
ペントロンジャパン株式会社

ハンズオンセミナー5

2022年7月17日（日） 9：00～11：50（170分） 第4会場

「部分床義歯完全デジタルワークフローのためのボックスジョイントテクニック」

【企画趣旨】装置製作時にその難易度が低く、術者も補綴学に精通している場合は、歯科用CADによるワークフローの省力化は極めて有益である。他方、モデリングを通して補綴学への関心を深めるような場面や、試行錯誤を要するクリエイティブな場面では、逆に省力化を排した汎用ソフトが必要になる。本セミナーでは、Universal CAD であるRhinoceros3D を使った局部床義歯の基本技工術式に関するセッションを提供する。

講師： 中野田紳一（中国・四国支部／株式会社インサイドフィールド）

共催：一般社団法人日本デジタル歯科学会
一般社団法人日本歯科技工学会
公益社団法人日本歯科技工士会
協賛：こばやし歯科クリニック
株式会社プラトンジャパン
株式会社コアデンタルラボ横浜
株式会社六甲歯研

ハンズオンセミナー6

2022年7月17日（日） 9：00～12：00（180分） 第5会場

「ラミネートベニア審美補綴治療の最前線」

【企画趣旨】昨今、MI コンセプトの中で機能的、生物学的、審美的に調和の取れたバイオミメティックな修復物を提供することが求められている。

今回、歯質削除を極力抑えながら高い審美性を得られるラミネートベニアをどの状況にどのように利用するのか、またクラウンの支台歯形成とはコンセプトの異なる形成限界と形成深度の理解、そしてボンデッドレストレーションの代表格としての接着の理解とその手法等を解説したい。

実習はラミネートベニアのプレパレーションと接着操作等を考えている。

講師： 土屋 賢司（東京支部／日本臨床歯科学会）
大河 雅之（東京支部／日本臨床歯科学会）
北原 信也（東京支部／日本臨床歯科学会）

協賛：ペントロンジャパン株式会社
株式会社モリムラ

イブニングセッション1

2022年7月16日（土） 18：00～19：00（60分） 第1会場

「付加製造法による補綴装置製作の現状と未来」

コーディネーター： 三浦 賞子（明海大）

イブニングセッション2

2022年7月16日（土） 18：00～19：00（60分） 第2会場

「ジルコニアは完成したのか，それとも更なる発展を遂げるのか」

コーディネーター： 原田 光佑（東京支部）

イブニングセッション3

2022年7月16日（土） 18：00～19：00（60分） 第3会場

「口腔機能の低下に対する補綴歯科の可能性 ～嚥下・構音・睡眠時呼吸～」

コーディネーター： 鈴木 善貴（徳島大）

イブニングセッション4

2022年7月16日（土） 18：00～19：00（60分） 第4会場

「科学的・臨床的側面から考える補綴医主導型移植・再植治療の実現に向けて」

コーディネーター： 兒玉 直紀（岡山大）

イブニングセッション5

2022年7月16日（土） 18：00～19：00（60分） 第5会場

「CAD/CAM技術を応用したパーシャルデンチャーの試み」

コーディネーター： 田坂 彰規（東歯大）

Lunch & Learning

2022年7月16日（土） 12：30～13：10（40分） 第4会場

Lunch & Learningはフォーマルなトレーニングやセミナーとは異なり、気軽に参加して、昼食を食べながら、最新の研究手法や解析技術についての知識を得て、今後の自身の研究を推し進めるための参考にしようという企画です。今回は岡山大学の大野充昭先生を講師に迎え、シングルセルバイオロジー技術を用いたご研究を紹介いただき、シングルセル

バイオロジーからどの様な事が解るのか、補綴歯科学研究に何をもたらし得るのか、といったことを参加者と議論したいと考えています。

「シングルセルバイオロジーが切り拓くProsthodontic Medicine」

座長： 秋葉 陽介（新潟大）
大島 正充 （徳島大）
講師： 大野 充昭（岡山大）

協賛：株式会社スクラム

Meet the Experts

2022年7月16日（土） 12：30～13：10（40分） 第5会場

第131回学術大会では、本学会では初の試みとして“Meet the Experts”を企画いたします。

歯科補綴臨床、研究の各分野のエキスパートとラウンドテーブルで昼食をともにしながら、参加者からの質問や相談事へご回答頂ける機会を設けました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止には十分な配慮を行ったうえで実施します。

少人数ディスカッション形式で実施することから、参加者数は非常に限られています。早期のお申込みをお勧めします。

講師： 池邉 一典（大阪大）
江草 宏（東北大）
松田 謙一（関西支部）
丸尾 勝一郎（東京支部）
山﨑 長郎（東京支部／日本臨床歯科学会）
本多 正明（関西支部／日本臨床歯科学会）

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

単位取得について

1. 日本補綴歯科学会会員の皆様へ

バーコード付き会員証で学会参加登録、専門医研修会出席登録が可能ですので、現地参加をされる方は会員証を必ずご持参ください。本学会専門医の申請あるいは更新を希望する場合は、会員証のバーコードを読取機に通してください。WEB参加者についてはWEB参加ログを確認の上、単位を付与いたします。

2. 専門医研修会参加単位登録

対象セッション： メインシンポジウム （7月16日（土）15：50～17：50 第1会場）
専門医研修会 （7月17日（日）13：00～15：00 第1会場）

※単位の付与はメインシンポジウムまたは専門医研修会受講で4単位となります。
（両方を受講いただくことは可能です。）

＜現地参加される方＞
セッション終了後に会場出口にて、会員証のバーコードを読取機に通してください。

＜WEB参加される方＞
視聴ログおよび終了後のアンケート回答にて単位取得が可能です。
Zoomウェビナーにてご視聴ください。
また、セッション開始10分後以降の入室およびセッション終了10分前以前に退室された場合、単位は取得できませんのでご注意ください。

3. 日歯生涯研修について

＜現地参加される方＞
本学術大会に会場にて参加（出席）した場合には、特別研修として10単位、受講研修として指定のセッションにつき30分1単位が取得できます。セッション開始10分前から10分後まで、各会場前で登録が可能です。なお、会場にて単位登録するにあたり、ご自身の日歯ICカードを必ずご持参ください。日歯ICカードをお忘れの方は登録ができません。

＜WEB参加される方＞
本学術大会にWEBにて参加した場合は、受講研修のみ指定のセッションにつき30分1単位が取得できます。セッション開始時および開始10分後にチャットにて送信されるURLにアクセスしGoogle フォームにて日歯ICカード番号（6桁）および氏名等の必要情報をご回答ください。（日歯会員番号ではなく日歯ICカード番号（6桁）が必要となりますので、お間違えのないようご回答ください。）
※単位の詳細は日本歯科医師会にお問い合わせください。

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

HOME
大会長挨拶
開催概要
参加者へのご案内・感染対策について
座長・演者へのご案内
急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
演題募集
事前参加登録
日程・プログラム
単位取得について
認定医・専門医筆記試験
専門医
ケースプレゼンテーション試験
協賛募集
Program in English
会場案内
宿泊案内
会員意見交換会について
市民フォーラム
関連リンク

認定医・専門医筆記試験

（公社）日本補綴歯科学会 2022年度（令和4年度）認定医・専門医試験実施のお知らせ

公益社団法人日本補綴歯科学会
理事長 馬場 一美
修練医・認定医・専門医制度委員会委員長 河相 安彦

2022 年度認定医・専門医試験を下記の要領で実施します。認定医または専門医の新規申請を予定し、多肢選択式筆記試験にまだ合格していない皆様（会員および非会員）は、受験いただきますようお知らせします。なお、修練医・認定医・専門医制度に関する詳細は、本会ホームページの「修練医・認定医・専門医制度」をご覧ください。

記

2022年度 認定医・専門医試験の実施要項

1. 日程

日時：2022 年 7月15 日（金） 15：00 ～ 15：50
場所：大阪国際会議場 会議室1001-1002（第3会場）
（社会情勢により会場は変更になることがあります。）

2. 試験出題方法および合否判定基準

多肢選択式筆記試験（MCQ）50 問 正答率60%以上を合格とする。出題範囲は項目「8」を参照。

3. 申し込み方法

日本補綴歯科学会認定医・専門医試験申込書（様式29）に必要事項を記載し、返信用封筒（定型、長形3 号封筒に404 円切手を貼付し宛先を明記したもの）を同封の上、修練医・認定医・専門医制度委員会委員長宛に郵送してください。様式29 は本会ホームページからダウンロードで入手可能です（http://www.hotetsu.com/s2_05_3.html）。なお、この方法による入手ができない場合は、学会事務局までご連絡ください。受験票は申込書提出期限後に同封の返信用封筒にて簡易書留で郵送します。
【送付先】〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
（公社）日本補綴歯科学会事務局内修練医・認定医・専門医制度委員会委員長宛
【連絡先】TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

4. 申込書提出期限

2022年5月16日（月）～ 2022年 6 月15日（水）

5. 受験資格

申請締切日の時点で歯科医療に2年以上従事していること。

6. 受験料

2,000 円（試験申込書に必ず払込み明細票のコピーを貼付ください）。
振込先
【銀行からお振込の場合】
ゆうちょ銀行 〇一九店 当座0565193
公益社団法人日本補綴歯科学会認定審議会
【郵便局からお振込の場合】

00100-9-565193

7. 出題基準

歯科補綴学教育基準改訂2006

8. 試験問題の根拠となる資料

1）歯科補綴学専門用語集 第5 版。東京：医歯薬出版；2019
2）日本補綴歯科学会ホームページに掲載されているガイドライン・指針等
※ 資料は下記日本補綴歯科学会ホームページ・学会刊行物＞ガイドライン等

（http://www.hotetsu.com/s4_03.html）からダウンロードできます。

- 補綴歯科治療過程における感染対策指針2019
- 歯科医療領域３疾患の診療ガイドライン2002
- 症型分類マニュアル2016
- 歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン2008
- 歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン2008 別冊資料
- 歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン 追補版2012
- 有床義歯咀嚼機能検査
- 有床義歯補綴診療のガイドライン2009 改訂版
- リラインとリベースのガイドライン2007
- 軟質裏装材による下顎総義歯の裏装の指針
- ノンクラスプデンチャーに関する現時点における公益社団法人日本補綴歯科学会としての見解
- 摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床（PAP）の診療ガイドライン2011
- 複製義歯の製作方法2014
- ブラキシズムの診療ガイドライン 睡眠時ブラキシズム患者に対する各種の検査について2016
- 『一般的な開業歯科医における顎関節症初期治療としてのスタビライゼーションスプリント』のデザインならびに作製方法に関するテクニカルアプレイザル
- 顎関節症に関するガイドライン2002（日本補綴歯科学会誌2002、8 月号 p577 ～ p625）
- AADR によるTMD 基本声明（改訂版）（和訳）
- 接着ブリッジのガイドライン2017 改訂版
- 保険診療におけるCAD ／ CAM 冠の診療指針 2014
- 保険収載されたファイバーポストを用いた支台築造の診療指針
- 接着ブリッジの製作方法2014

3）日本歯科医学会歯科診療ガイドラインライブラリに掲載されているガイドライン・指針等
※ 資料は下記日本歯科医学会ホームページ＞歯科診療ガイドラインライブラリ

（https://www.jads.jp/guideline/index.html）からダウンロードできます。

- 顎顔面補綴診療ガイドライン2019 年度版
- 顎関節症治療の指針2020
- 顎補綴装置解説書（2019）

9. 試験結果の通知

後日郵送にて通知いたします。

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

専門医ケースプレゼンテーション試験

（公社）日本補綴歯科学会 2022年度（令和4年度）
専門医ケースプレゼンテーション試験のお知らせ

令和4年1月23日

公益社団法人日本補綴歯科学会
理事長 馬場 一美
修練医・認定医・専門医認定委員会委員長 木本 克彦

寒冷の候、会員の皆様におかれましては、ますますご繁栄のことと心からお喜び申し上げます。すでにご案内のとおり昨年来、学会をあげて長年の悲願である補綴歯科専門医の広告開示実現に向けて日本歯科専門医機構との協議を続けて参りました。その中で本年４月に新たな専門医制度へ移行し、2022年中に新制度の機構認定を目指すことになりました。専門医研修会でご説明した様に2022年度の専門医の認定は、暫定猶予期間となり現行制度も維持されますが、2023年度以降は完全に新制度に移行する予定です。
したがって、このお知らせは現行制度での専門医ケースプレゼンテーション試験の残り少ないご案内の一つになります。現行制度での受験を希望される方は、この機会を逃さないようにお願い致します。

専門医ケースプレゼンテーション試験を受験される方は、第131回学術大会**演題締切日**までに以下の手続きを行ってください。学術大会の開催月が通常よりも１か月遅い2022年７月となっており、専門医ケースプレゼンテーション試験の受付開始が遅れたこともあり、締切が若干延長される可能性があります。ウエブページを十分ご確認の上、積極的に申請をお願い致します。

以下の２点が期日までに完了したことが事務局により確認された場合に、修練医・認定医・専門医認定委員会により受験資格があると判断されます。

1. 学会事務局に様式9、様式9-2を郵送して下さい。郵送が確認されましたら、事務局からメールでお知らせします。

   郵送先：
   公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
   〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
   TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096

2. 当ホームページの左側の演題募集のバナーをクリックして、一般口演やポスター発表と同様に専門医ケースプレゼンテーション試験の抄録を登録して下さい。演題の種類は、ドロップダウンメニューからケースプレゼンテーションを選んでください。抄録の記述に際しては、様式9-2のチェックリストを参考にお願い致します。これまで、専門医ケースプレゼンテーションの抄録はＡ５サイズでしたが、2022年度より支部学術大会の抄録サイズを含めて全ての抄録がＡ４サイズに変更になりますのでご注意下さい。

尚、専門医の取得手順については、学会HPの「専門医ケースプレゼンテーションの申込から認定証交付まで」を参考に進めて下さい。

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682

E-mail : jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

協賛募集について

この度の公益社団法人日本補綴歯科学会第131回学術大会におきまして、企業展示、広告掲載、セミナー共催、寄付の各項目にてご協賛いただける企業様・団体様を募集しております。

(1) 企業展示・書籍展示： 展示ブースにおける商品・機器展示ならびに書籍展示
(2) 広告掲載： 講演要旨集への広告掲載、大会ホームページバナーへの広告掲載
(3) セミナー共催： ランチョンセミナーの共催
(4) 寄付：公益社団法人日本補綴歯科学会第131回学術大会開催経費の一部に充当

詳細が記載されました趣意書をお送りいたします。運営事務局までお問い合わせください。

趣意書の送信を希望する

お問い合わせ先

公益社団法人日本補綴歯科学会第131回学術大会 運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society 日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

Program in English

Schedule

Program

Access Map

Floor Guide

Main Theme

Future of Prosthodontics, Future of Dentistry. "Creation of Innovations toward Society 5.0"

Date

July 15 (Fri.) – 17 (Sun.), 2022

Venue

Osaka International Convention Center
5-3-51, Nakanoshima Kita-ku, Osaka 530-0005 JAPAN

Congress President

Prof. Takuo Kuboki (Okayama University)

Registration

Registration Fee

	Pre-registration	Onsite-registration
Member, Company member	JPY10,000-	JPY15,000-
Supporting member	JPY10,000-	JPY15,000-
Temporary member (Regular)	JPY5,000-	JPY7,500-
Temporary member (Undergraduate student)	JPY1,000-	JPY2,000-
Non-member (Regular)	JPY15,000-	JPY20,000-
Non-member (Undergraduate student)	JPY2,000-	JPY3,000-

Pre-registration

Deadline: On or before July 8 (Fri.), 2022

Cancellation Fee

On or before July 8 (Fri.), 2022, 12:00pm (JST), 10% of Registration fee
After 12:00pm (JST) on July 8 (Fri.), 100% of Registration fee

Banquet

Date: July 15 (Fri), 2022, 19:00-21:00
Venue: Korin, 3F, RIHGA Royal Hotel Osaka
Registration Fee: JPY 16,000

Reception Fee is not included in the registration fee.
All participants are required to make pre-registration reservation on or before 12:00pm (JST), July 8, 2022.

Contact

Please contact the Congress Secretariat if you have any enquiries:

Congress Secretariat of the 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
c/o KYODOPLUS CORPORATION
2346-1 Senoo, Minami-ku, Okayama, 701-0205 JAPAN
Phone:+81-86-259-5578 Fax:+81-86-250-7682
Email: jps131@kwcs.jp

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society 日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

会場案内

会場案内図

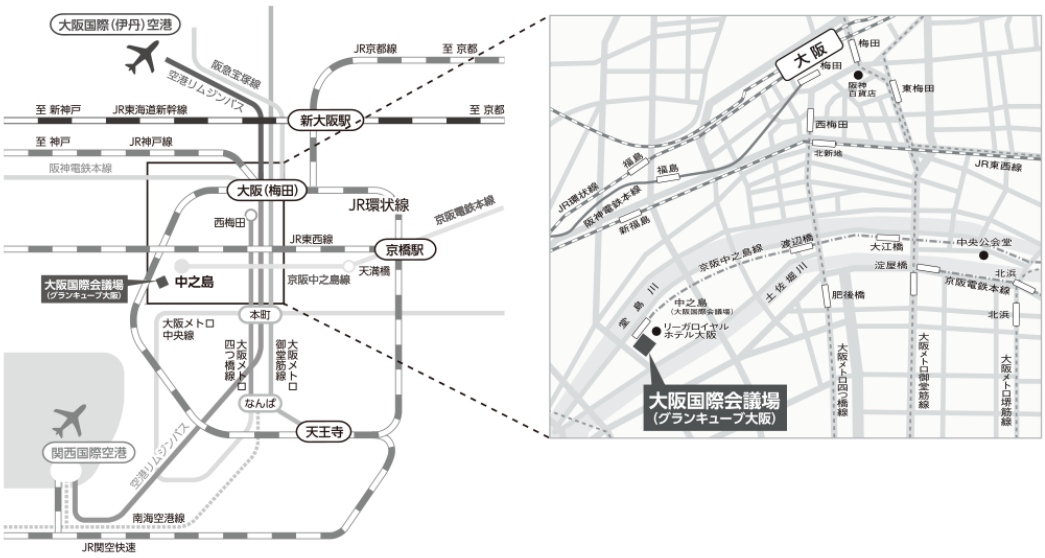
会場

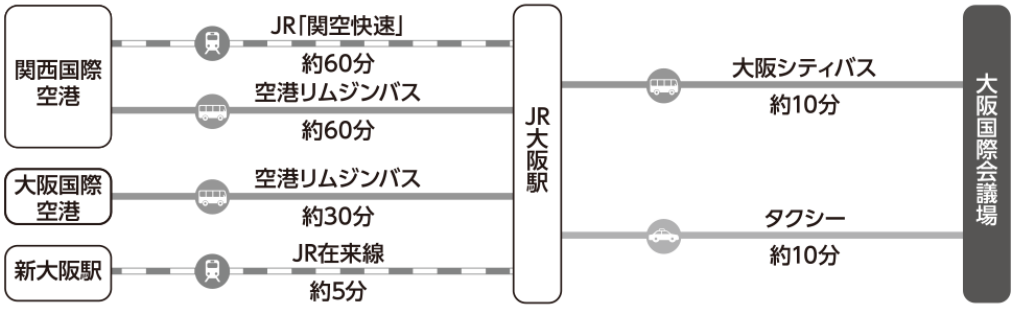
大阪国際会議場

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-51

交通案内

大阪国際会議場（グランキューブ）





関西国際空港から	● JR「関空快速」で「大阪」駅まで約60分 ● 空港リムジンバスで「大阪」駅前まで約60分
大阪国際空港(伊丹)から	● 空港リムジンバスで「大阪」駅前まで約30分
新幹線(新大阪駅)から	● JR在来線で「大阪」駅まで約5分
JR「大阪」駅から	● 大阪シティバス53系統(船津橋行)または55系統(鶴町四丁目行)で堂島大橋まで約15分 ● タクシーで約10分

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society 日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

会員意見交換会について

昨今の各種催し物の開催状況を熟慮し，第131回学術大会においても会員意見交換会を開催することとなりました。当日はしっかりとした感染対策の元、開催いたしますので皆様奮ってご参加ください。

1) 関西地区随一の広さの宴会場を用いて会場定員の2/3程度の人数で行い、テーブル間の距離をとり、三密を避けるレイアウトで実施します。
2) 通常６名が着座する円卓に４名程度の出席者が着座する形式で行い、アクリル製パネルを出席者の間には設置します。
3) 学術大会の出席者は、マスクの着用，手指アルコール消毒の励行，体調や近日中の滞在地をアンケートにより申告頂き、発熱していたり、体調が優れない方の出席をお断りいたします。
4) 食事は各参加者に別々にサーブされる形式で、屋台の設置やビュッフェ形式で取り分けることは致しません。
5) 入場者の体温測定、大阪コロナ追跡システムへの対応のため、席次は事前に決めさせて頂きます。

※感染対策詳細はこちらをご確認ください。

日時：7月15日（金）19：00～21：00
会場：リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳の間
会費：16，000円
定員：300名（定員に達し次第、締切となります。）
形式：着席（アクリルパネル設置）
※会員意見交換会はどなたでも参加可能です。
感染対策のため、事前申込制となります。
当日受付は行いませんので、希望者は必ず事前登録を行ってください。
※事前参加登録はこちら

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society 日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

市民フォーラム

市民フォーラム2022

開催形式：WEB配信 **配信期間：2022年7月15日(金)14：00～8月1日(月)正午まで**

「皆さんといっしょに学ぼう！補綴歯科イノベーションがもたらす健康社会」

座長： 飯沼 利光（日本補綴歯科学会社会連携委員会）
島田 淳（東京支部）
講師： 小峰 太（日本大）
大山 哲生（日本大）

配信期間中は下記のボタンより動画をご視聴いただけます。

市民フォーラム2022 動画配信はこちら

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

関連リンク

- 公益社団法人日本補綴歯科学会
- 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野
- 鶴見大学歯学部歯学科 有床義歯補綴学講座

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

第 131 回学術大会参加の皆様へ

1. 参加登録について

＜事前参加登録期間＞

1 次受付　2022 年 6 月 20 日（月）正午まで

2 次受付　2022 年 6 月 20 日（月）正午～ 7 月 8 日（金）正午まで

＜現地当日受付＞

場所：大阪国際会議場 5F　ロビー

時間：7 月 15 日（金）　14：00 ～ 18：00

7 月 16 日（土）　8：00 ～ 18：00

7 月 17 日（日）　8：00 ～ 14：00

※学術大会ホームページ（https://www.kwcs.jp/jps131/）から事前に参加登録が可能です．当日の混雑回避のため，できるだけ事前にご登録いただきますようお願いいたします．

2. 参加費について

第 131 回学術大会参加費		
参加区分	前納会費	当日会費
正会員	10,000 円	15,000 円
賛助会員	10,000 円	15,000 円
準会員（一般）	5,000 円	7,500 円
準会員（学部学生）	1,000 円	2,000 円
非会員（一般）	15,000 円	20,000 円
非会員（学部学生）	2,000 円	3,000 円
非会員（共催学会の会員）*	10,000 円	15,000 円
登録歯科技工士　※	0 円	0 円
非会員（歯科技工士）	2,000 円	3,000 円
非会員（歯科衛生士）	2,000 円	3,000 円

* 共催学会：日本臨床歯科学会，日本歯科技工士会，日本歯科技工学会，日本歯科衛生士会，日本口腔インプラント学会，日本在宅医療連合学会，日本歯科理工学会，日本デジタル歯科学会，日本老年歯科医学会，日本顎口腔機能学会，日本磁気歯科学会，日本バイオマテリアル学会，認知症と口腔機能研究会

※登録歯科技工士は，日本補綴歯科学会へ登録料 2,000 円（1 年間有効・4 月から翌年 3 月まで）を支払うことで，本会学術大会に無料で参加できます．詳細は，「登録歯科技工士申請案内（https://www.hotetsu.com/c_1828.html）」をご確認ください．

3. 参加章（ネームカード）・プログラム・抄録集について

＜ 1 次受付期間中（6 月 20 日（月）正午まで）に事前参加登録がお済みの方＞

学術大会参加章（ネームカード）とプログラム・抄録集を**事前に**送付いたしますので，当日はお忘れなくご持参ください．**健康状態申告書**の提出と引き換えに，ネームカードケースをお渡ししますので，ご記入の上，参加受付にお越しください．

＜2次受付期間中（6月20日（月）正午～7月8日（金）正午まで）に事前参加登録をされた方＞
現地参加をされる方は，会期当日，**会場にて**学術大会参加章（ネームカード）とプログラム・抄録集をお渡しいたします．**健康状態申告書**の提出と引き換えにお渡ししますので，ご記入の上，上記受付時間内に参加受付までお越しください．WEB参加をされる方は，会期終了後に学術大会参加章（ネームカード）とプログラム・抄録集を郵送させていただきます．

4. WEB視聴用ID・パスワードについて

＜事前参加登録がお済みの方（1次・2次受付とも）＞
会期直前（7/12頃）に運営事務局（jps131@kwcs.jp）よりメールにて送信いたします．
＜当日参加登録の方＞
参加章に視聴用ID，パスワードを記載しております．

5. 大会期間中に参加登録される方

総合受付にて当日会費をお支払いの上，健康状態申告書の提出と引き換えに学術大会参加章とプログラム・抄録集をお渡しします．会場にお越しになりましたら，**健康状態申告書を持って，まず事務局受付にお越しください**．会員・非会員チェックをいたします．チェックの後，参加受付までお越しください．
尚，当日会費のお支払いは現金のみの受付となります．クレジットカードでの支払いには対応できませんので，ご了承ください．

6. 学術大会参加章（ネームカード）

ご氏名・ご所属を記入の上，身に付けてご入場ください．参加章下部は領収書になっています．

7. 日本補綴歯科学会会員の皆様へ

バーコード付き会員証で学会参加登録，専門医研修会出席登録が可能ですので，現地参加をされる方は会員証を必ずご持参ください．
本学会専門医の申請あるいは更新を希望する場合は，会員証のバーコードを読取機に通してください．WEB参加者についてはWEB参加ログを確認の上，単位を付与いたします．

8. 専門医研修会参加単位登録

対象セッション：　メインシンポジウム　（7月16日（土）15：50～17：50　第1会場）
専門医研修会　（7月17日（日）13：00～15：00　第1会場）
※単位の付与はメインシンポジウムまたは専門医研修会受講で4単位となります．
（両方を受講いただくことは可能です．）
＜現地参加される方＞
セッション終了後に会場出口にて，会員証のバーコードを読取機に通してください．
＜WEB参加される方＞
視聴ログおよび終了後のアンケート回答にて単位取得が可能です．
Zoomウェビナーにてご視聴ください．
また，セッション開始10分後以降の入室およびセッション終了10分前以前に退室された場合，単位は取得できませんのでご注意ください．

9. 日歯生涯研修について

＜現地参加される方＞

本学術大会に会場にて参加（出席）した場合には，特別研修として 10 単位，受講研修として指定のセッションにつき 30 分 1 単位が取得できます．セッション開始 10 分前から 10 分後まで，各会場前で登録が可能です．なお，会場にて単位登録するにあたり，ご自身の日歯 IC カードを必ずご持参ください．日歯 IC カードをお忘れの方は登録ができません．

＜ WEB 参加される方＞

本学術大会に WEB にて参加した場合は，受講研修のみ指定のセッションにつき 30 分 1 単位が取得できます．セッション開始時および開始 10 分後にチャットにて送信される URL にアクセスし Google フォームにて日歯 IC カード番号（6 桁）および氏名等の必要情報をご回答ください．（日歯会員番号ではなく日歯 IC カード番号（6 桁）が必要となりますので，お間違えのないようご回答ください．）

※単位の詳細は日本歯科医師会にお問い合わせください．

10. クローク

場所：大阪国際会議場　5F　大ホールホワイエ常設クローク
時間：7 月 15 日（金）　14：00 ～ 18：40
　　7 月 16 日（土）　8：00 ～ 19：10
　　7 月 17 日（日）　8：00 ～ 16：00

11. ランチョンセミナー整理券

ランチョンセミナーでの混雑を解消するため，当日開催するランチョンセミナーの整理券を下記のとおり配布いたします．

場所：大阪国際会議場　5F　ロビー
時間：7 月 16 日（土）　8：00 ～ 11：20
　　7 月 17 日（日）　8：00 ～ 11：00

※整理券がなくなり次第配布終了とさせていただきます．
※各セミナー会場では，整理券をお持ちの方から優先的にご入場いただけます．ただし整理券はランチョンセミナー開始 5 分後に無効となりますので予めご了承ください．

12. 学会会場および WEB 視聴画面におけるビデオ・写真撮影等は，発表者の著作権保護のため禁止させていただきます．尚，特別な事由がある場合は大会長に申し込んでください．

13. 会員意見交換会

日時：7 月 15 日（金）19：00 ～ 21：00
会場：リーガロイヤルホテル大阪　3F　光琳の間
会費：16,000 円
会員意見交換会はどなたでも参加可能です．会員以外の方も是非ご参加ください．
当日受付はございません．事前申し込みのみとなりますのでご注意ください．

14. コピー・FAX・Wi-Fi

コピー・FAX：大阪国際会議場　11F　ビジネスセンターにて有料でご利用可能です.

Wi-Fi：大阪国際会議場内のレストラン・カフェを除く全館でご利用いただけます.

SSID：Free-OICC

PASS：GRANDCUBE

15. WEB 視聴方法について

⑴ 学術大会ホームページ（https://www.kwcs.jp/jps131/）より事前参加登録をしてください.
事前参加登録締切：2022 年 7 月 8 日（金）正午までです.
※必ず上記 締切りまでにご登録をお願いいたします.

⑵ 運営事務局よりお送りした WEB 視聴用 ID および PW にて，学術大会ホームページの WEB 視聴ページよりログインいただき，ご視聴ください．配信は Zoom ウェビナーを使用いたします．各個人で，インターネット環境が安定した場所からご参加ください.

＜推奨環境＞

システム要件・インターネット接続 – ブロードバンド有線またはワイヤレス（3G または 4G/LTE）

OS
- Windows 7 以降
- MacOS 10.9 以降

ブラウザ
- Microsoft Edge 最新版
- Mozilla Firefox 最新版
- Safari 最新版
- Google Chrome 最新版

⑶ ライブ配信期間：2022 年 7 月 15 日（金）～ 7 月 17 日（日）

⑷ 学術大会のタイムテーブルに沿ってリアルタイムのライブ配信となりますので，時間を過ぎると視聴できません.
また，オンデマンド配信はいたしませんのでお気をつけください.

⑸ Zoom ウェビナーの Q&A より質問を受付させていただきます．質問がある方は Q&A より質問をお送りください．時間の都合で採用されない場合もございますのでご了承ください.

⑹ WEB 講演の録画や録音，写真撮影（画面のスクリーンショット含む）は決して行わないでください.
個人情報に関する内容に関しては本人・団体の許可なく，学会の中で知り得たことを外部に情報拡散しないでください.

⑺ その他，視聴方法の詳細については学術大会ホームページ（https://www.kwcs.jp/jps131/）をご確認ください.

16. アンケートについて

学術大会のアンケートについて，Google ドライブのサービスのひとつである，Google フォームを用いてご回答いただけますので是非ご活用ください．また，スマートフォンをお持ちでない場合は，抄録集末尾に添付されています「日本補綴歯科学会第 131 回学術大会　アンケート」をご利用ください.

抄録ページに掲載されております QR コードより，各企画セッション毎のアンケートにも，ご協力をお願いいたします.

公益社団法人 The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society
日本補綴歯科学会第131回学術大会

- HOME
- 大会長挨拶
- 開催概要
- 参加者へのご案内・感染対策について
- 座長・演者へのご案内
- 急遽現地に来られなくなった座長・演者の皆様へ
- 演題募集
- 事前参加登録
- 日程・プログラム
- 単位取得について
- 認定医・専門医筆記試験
- 専門医 ケースプレゼンテーション試験
- 協賛募集
- Program in English
- 会場案内
- 宿泊案内
- 会員意見交換会について
- 市民フォーラム
- 関連リンク

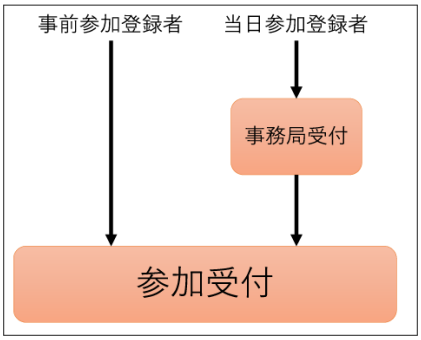
感染防止対策についてご案内とご協力のお願い

参加者の皆様へのお願い

すべての現地参加登録者（協賛企業含む）は、会期中1回（最初の入場時）「健康状態申告書」のご提出が必要となります。会場での混雑緩和の為、下記より申告書をダウンロードいただき、ご記入の上、会場へお越しください。
申告書ご提出の後、受付を行います。

●当日の受付の流れ

<事前参加登録者>
記入いただいた健康状態申告書を持って、参加受付にお越しください。
<当日参加登録者>
記入いただいた健康状態申告書を持って、**最初に事務局受付へお越しください。**
事務局にて会員・非会員のチェックを行った後、参加受付へお越しください。



健康状態申告書ダウンロード

1) 発熱・味覚障害・体調不良などの症状がある方の現地参加はご遠慮ください。
2) マスクの着用：常時マスクの着用をお願いします。
   ※演者の発表・座長のコメント時はマスクなしでも可。
   聴講者は質疑応答も含め、全てマスク着用でお願いします。
   食事等で止む無くマスクを外す場合は、会話等はお控えください。
3) ３密を避けるため、なるべく距離をとって着席してください。
4) 消毒薬による手洗い：会場の出入口および会場内に設置した消毒薬を使用してこまめに消毒をお願いします。
5) 会場内で気分が悪くなった場合は直ちにスタッフに申し出てください。
6) 厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のアプリを事前にインストールしてください。

【当日会場内においての対策】
本会では感染防止対策として以下を実施いたします。
1) 入場時に参加者、スタッフの検温を実施する。
2) 各会場への入場の制限（会場の席数を定員の1/2以下に設定します。）
3) 会場内の主要ポイントにて、消毒液の設置を行う。
4) 大会スタッフが対面となる場所（受付、PC受付）、演台、座長席に飛沫拡散防止の為のアクリル板を設置する。
5) マイク、演台上の機材など発表ごとに消毒を行う。
6) 換気のため講演会場のドアは常に開けておく。
7) 人が列を作ると思われる場所においては、前後のスペースを広くとるよう、誘導する。
8) 共催セミナーにおいてランチョン弁当、資料の受け渡しは予め卓上に設置したものを参加者自身が受け取ることとする。（手渡しは行わない）

大会事務局
岡山大学学術研究院医歯薬学域
インプラント再生補綴学分野
〒700-8525 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-6682 FAX：086-235-6684
学会事務局
公益社団法人 日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階
TEL：03-6722-6090 FAX：03-6722-6096
運営事務局
株式会社キョードープラス

〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682
E-mail：jps131@kwcs.jp

Copyright © The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.

座長・演者の先生方へ

企画セッション・課題口演・一般口演発表

1. 発表時間

⑴ 課題口演発表 10 分，質疑応答 10 分
⑵ 一般口演発表 8 分，質疑応答 2 分
⑶ 企画セッションの発表時間は事前にご案内しております．

2. 発表方法

⑴ 口演発表について
①発表時間は上記を参照してください．質疑に関しては座長の指示に従ってください．
②口演中は演台上の講演タイマーの緑色ランプが点灯します．
1 分前に黄色ランプ，終了時に赤色ランプが点灯しますので，時間を厳守してください．
③次演者は，所定の場所（次演者席）にてお待ちください．

⑵ プレゼンテーションについて
① PC を使用する発表は全て PC による発表（単写）とします．
発表時は，演台上のマウスとキーボードにてスライドを操作してください．
②スクリーン投影にあたっては，スクリーンサイズは 16：9 になります
▶スライドショーの項目で " 発表者ツールを使用する " のチェックを外してください．

⑶ ノート，次のスライド，発表経過時間などを確認できる " 発表者ツール " は，セッション進行の遅滞を招く恐れがあるため，使用できません．
会場にプリンターはございません．あらかじめ原稿をご用意ください．

⑷ Windows にて発表データを作成された場合は，USB フラッシュメモリにてご提出ください．

⑸ 今回ご用意しておりますコンピュータの OS と PowerPoint は以下のとおりです．
OS：Windows 10
アプリケーション：PowerPoint 2016 / 2013

⑹ Macintosh をご使用の場合は，ご自身の PC をご持参ください．

⑺ **発表予定時刻の 1 時間前までに，PC 受付にて発表データの試写を行ってください．**

⑻ スライドの 1 枚目は，発表タイトルと発表者氏名を明記した表紙ページとしてください．

3. PC 受付

場所：大阪国際会議場 5F　ロビー
時間：7 月 16 日（土）　8：00 ～ 18：00
7 月 17 日（日）　8：00 ～ 14：00
※ 7/15（金）にご講演の方は，会場左前方のオペレーター席にお越しください．

4. データでお持込の方へ

⑴ Microsoft PowerPoint 2016/2013 で作成し，次の標準フォントをご使用ください．
［日本語］メイリオ，MS ゴシック，MSP ゴシック，MS 明朝，MSP 明朝
［英語］Arial，Arial Black，Century，Century Gothic，Times New Roman

⑵ アニメーションおよびビデオファイルは使用可能ですが，Windows の初期設定で動作可能なことが条件です．
⑶ 音声の出力には対応しておりません．
⑷ 発表後のデータは，事務局で責任を持って消去いたします．

5. PC をご持参いただく方へ

⑴ 使用機種，OS，アプリケーションに制限はありませんが，Surface，iPad その他タブレット端末については，動作の保証はできかねます．
⑵ モニター出力は HDMI または D-Sub15 ピンのみです．
Macintosh や一部の薄型ノートパソコンでは，別途外部出力コネクターが必要な場合がございますので，必ず各自でご用意ください．
⑶ ビデオファイルの使用も可能ですが，PC 受付にて必ず動作確認を行ってください．
⑷ スクリーンセーバーならびに省電力設定，パスワードはあらかじめ解除しておいてください．
⑸ 電源アダプターを忘れずにお持ちください．
⑹ 故障などのトラブルに備え，バックアップデータをお持ちください．
⑺ PC 受付での試写後，発表時間の 20 分前までに，会場左前方の PC オペレーター席に PC をお持ちください．発表終了後は，この席にて PC をお返しいたします．

6. 利益相反（COI）について

利益相反の状態について補綴歯科学会のホームページを参照いただき発表スライドに開示してください．

7. 質疑応答について

＜現地参加される方＞
⑴ 質問者は座長の指示に従い，所定のマイクで所属，氏名を明らかにして要領よく簡潔に質疑を行ってください．
⑵ 質問される方は，予め質問用マイクの付近にお越しください．
円滑な進行にご協力をお願いします．

＜ WEB 参加される方＞
Zoom ウェビナーの Q&A より質問を受付させていただきます．質問がある方は Q&A より質問をお送りください．時間の都合で採用されない場合もございますのでご了承ください．

8. 急遽現地に来られなくなった座長・演者の先生へ

＜座長について＞
リモートでの登壇は出来ませんので，原則として現地にお越しください．現地にお越しいただくことができなくなった場合は必ず運営事務局（jps131@kwcs.jp）までご連絡ください．

＜演者について＞
WEB でのリモート登壇は出来ませんので，原則現地へお越しください．
所属施設の規定等でどうしても現地へ来られない理由がある場合に限り，下記の発表方法で受付をさせていただきますので，必ず運営事務局（jps131@kwcs.jp）までご連絡の上，所属長の証明書をご提出ください．証明書のフォーマットは学術大会ホームページ（https://www.kwcs.jp/jps131/）よりダウンロードしてください．

◆口演の場合

パワーポイントを使用して作成した音声付きの動画データ（MP4）を会場にて投影させていただき発表とさせていただきます．質疑応答はございません．

動画作成および提出方法は学術大会ホームページ（https://www.kwcs.jp/jps131/）をご確認ください．

◆ポスターの場合

お送りいただいたポスターを事務局にて代理で貼付けさせていただき発表とさせていただきます．

ポスターの送付方法については学術大会ホームページ（https://www.kwcs.jp/jps131/）をご確認ください．

◆参加登録について

現地にお越しいただけない場合も，参加登録が必須となりますので必ず事前参加登録を行ってください．

参加登録されていない演者については演題取り下げとさせていただきますので，ご了承ください．

事前参加登録期間

1 次受付　2022 年 6 月 20 日（月）正午まで

2 次受付　2022 年 6 月 20 日（月）正午～ 7 月 8 日（金）正午まで

※必ず上記の受付期間中にご登録ください．

ポスター発表

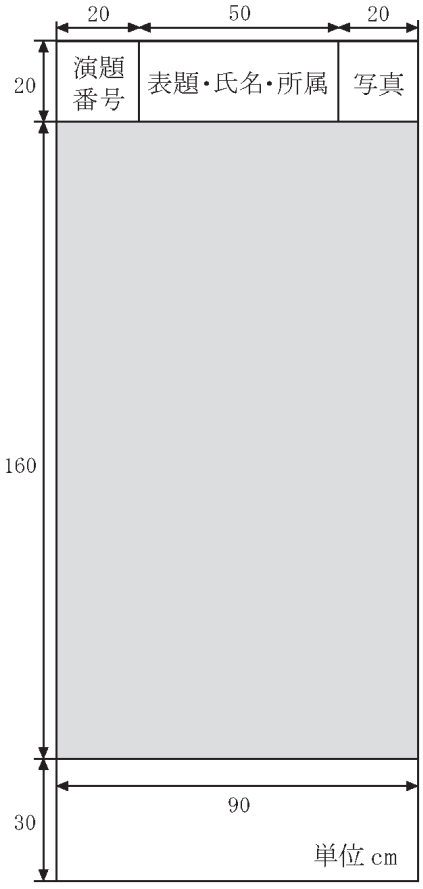
1. ポスター討論

2022 年 7 月 16 日（土）12：00 ～ 13：00
（演題番号末尾が奇数の演題）
2022 年 7 月 17 日（日）12：00 ～ 13：00
（演題番号末尾が偶数の演題）

2. 会場

5F　小ホール

3. 発表方法



⑴　展示について
16 日，17 日の 2 日連続して展示していただきます．
貼り替えはありません．
①展示用に，横 90 cm ×縦 210 cm の展示板を用意します．
②右図の網掛けの範囲内に展示してください．
③大会事務局で展示板に演題番号を用意します．
表題，氏名，所属は発表者自身が用意してください．
また，ポスターの右上隅に発表者の写真（L 版）を掲示してください．
④ポスターの展示板への貼り付けはプッシュピンを使用し，両面テープなどの粘着テープは使用しないでください．プッシュピンは会場に用意します．

⑵　ポスター中に COI 該当の有無を開示してください．

⑶　ポスター討論（質疑応答）について
発表者は，上記のポスター討論の時間中にポスターの横に待機し，質疑応答を行ってください．また，この時間内は会場内に用意しておりますリボンを胸に付けてください．不在時はリボンをポスターに留めておいてください．

4. ポスターの掲示・撤去

以下の期間中に行ってください．

⑴　掲示　　2022 年 7 月 16 日（土）　8：00 ～　9：00

⑵　撤去　　2022 年 7 月 17 日（日）　14：00 ～ 15：00
（15：00 以降は事務局で処分いたします）

専門医ケースプレゼンテーション

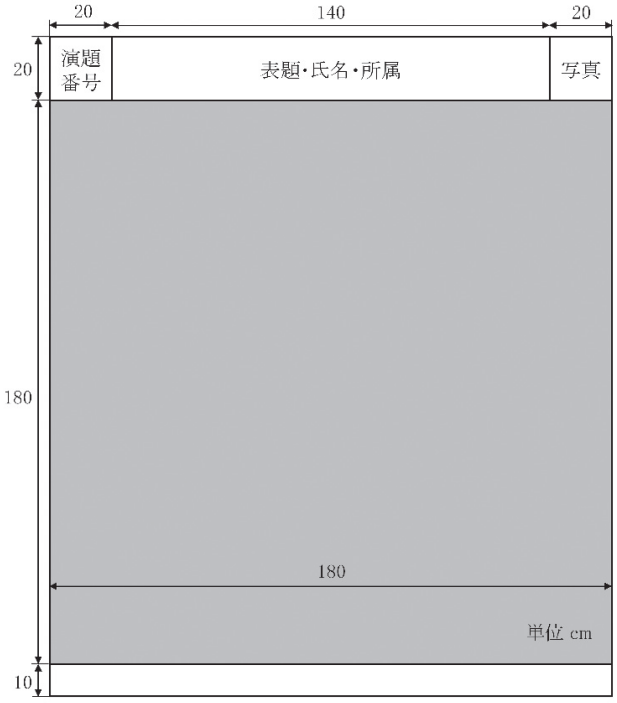
1. 発表日時

7 月 16 日（土）

13：10 ～ 13：40（専門医 1-1 ～ 1-7）
13：45 ～ 14：15（専門医 2-1 ～ 2-7）
14：20 ～ 14：50（専門医 3-1 ～ 3-7）
14：55 ～ 15：25（専門医 4-1 ～ 4-7）

7 月 17 日（日）

9：00 ～ 9：30（専門医 5-1 ～ 5-7）
9：35 ～ 10：05（専門医 6-1 ～ 6-7）
10：10 ～ 10：40（専門医 7-1 ～ 7-7）



2. 会場

専門医ケースプレゼンテーション会場
12F　特別会議場／ホワイエ

3. 発表方法

⑴ 展示について
①展示用に，横 180 cm ×縦 210 cm の展示板を用意します．
②右図の網掛けの範囲内に展示してください．
③大会事務局で展示板に演題番号を用意します．
表題，氏名，所属は発表者自身が用意してください．
また，ポスターの右上隅に発表者の写真（L 版）を掲示してください．
④ポスターの展示板への貼り付けはプッシュピンを使用し，両面テープなどの粘着テープは使用しないでください．プッシュピンは会場に用意します．
⑵ ポスター中に COI 該当の有無を開示してください．
⑶ 審査について
①審査委員の指示に従い，10 分程度で説明を行ってください．
②説明終了後，申請者は審査委員の質疑を受けてください．

4. ポスターの掲示・撤去

以下の期間中に行ってください．
（1）掲示　2022 年 7 月 16 日（土）　8：00 ～ 9：00
（2）撤去　2022 年 7 月 17 日（日）　14：00 ～ 15：00
（15：00 以降は事務局で処分いたします）

COVID-19 感染拡大に伴う学会現地不参加の届け

公益社団法人日本補綴歯科学会第 131 回学術大会
大会長　窪木　拓男　殿

COVID-19 感染拡大に伴う当施設の方針により、日本補綴歯科学会第 131 回学術大会で予定していた以下の発表を現地でおこなうことができません。

演題番号	
演題名	
筆頭演者 **（自筆署名）**	
所属施設名	
指導的立場の 共同演者* **（自筆署名/印）**	㊞ ***大学では教室責任者またはその代理、病院では診療科責任者あるいはその代理**
所属施設名	
記入日	2022 年　　月　　日
備考	

本証明書はスキャンし **PDF または JPG ファイル**にて運営事務局（jps131@kwcs.jp）宛に
7 月 4 日（月）までに提出してください。

日本補綴歯科学会第131回学術大会

ポスター発表用送付荷札

ポスター発表 演題番号	
演者氏名	
所属	
緊急連絡先 ※携帯電話番号	
確認事項	☐ 上記に記載漏れがないかご確認ください ☐ ポスターにCOI開示のスライドが含まれていることをご確認ください

音声付きパワーポイントデータ作成方法（Windows の場合）

① 録音開始前にご確認ください

＜スライドの準備について＞

- 先生ご自身が作成された発表用パワーポイントのファイルをご用意ください。
  元データより、動画に加工する為のコピーファイルを作成します。
- 作成したコピーファイルを使用して音声の登録を行っていただきます。
- 動画を作成するにあたりスライドは以下の通り作成をお願いします。

  【1 枚目】　利益相反（COI）の開示スライド

  【2 枚目】　演題名

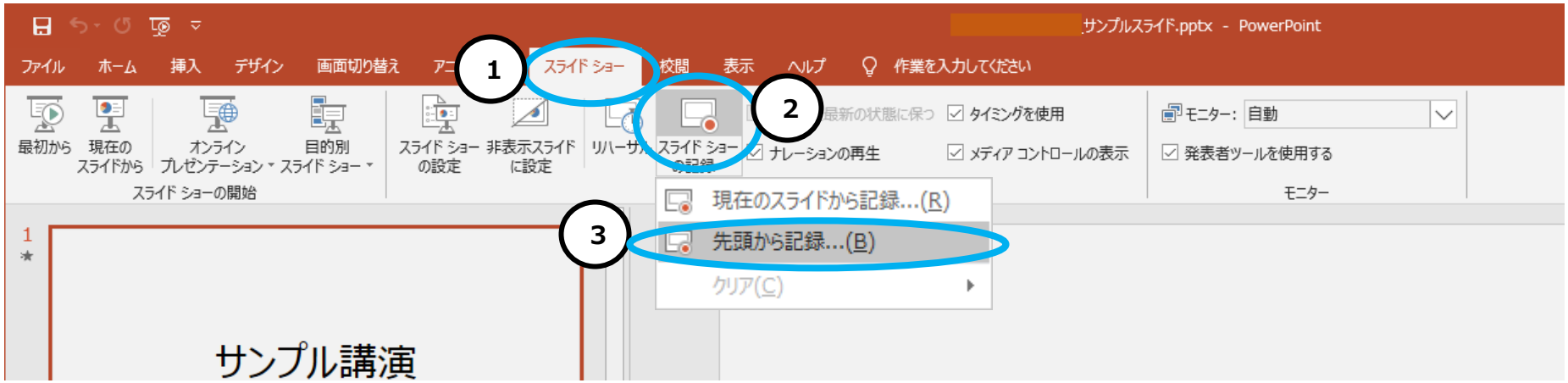
  【3 枚目以降】　講演内容

＜機器の準備について＞

- パソコン・マイクのご準備をお願いします。
- マイクの性能テストを行ってください。（マイクがついているノートパソコンの場合は内臓マイクを、マイクのついていないノートパソコン・デスクトップパソコンを使用する場合は外付けのマイクをつないで音声の録音をお願いします。）
- 録音の際は可能な限り静かな場所で雑音が入らないようお願いします。
- 録音時間（動画の時間）は、別途メールでお知らせした時間でご作成ください。

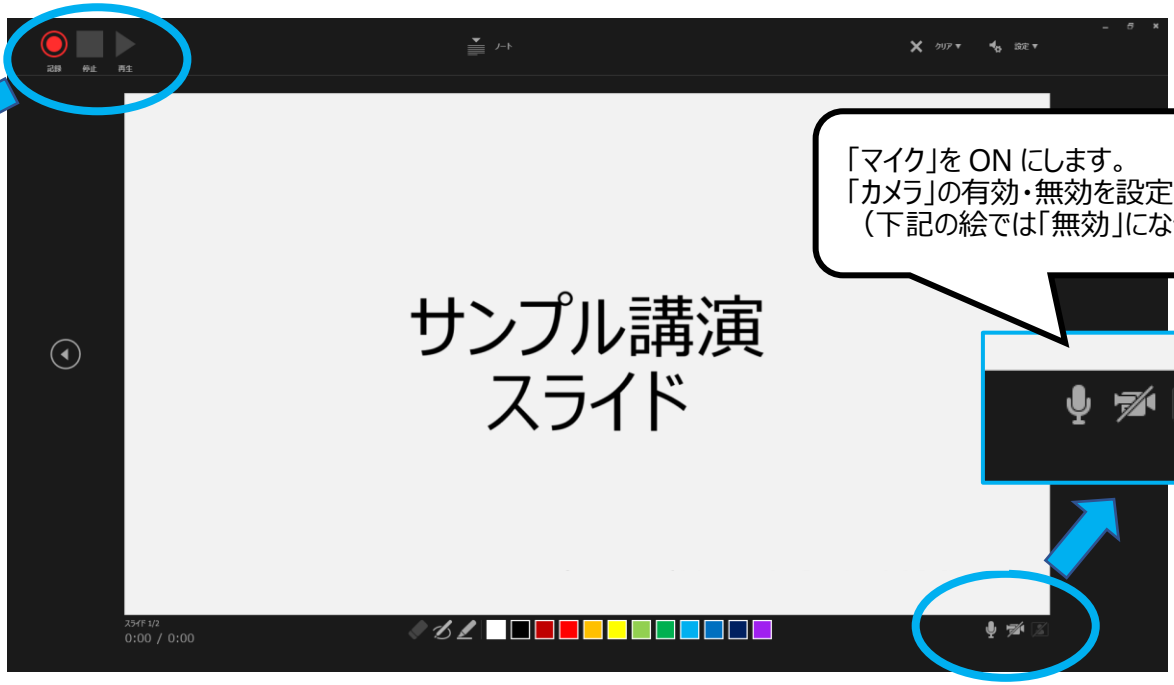
② 音声の録音手順について

- 提出するパワーポイントスライドを開き、「スライド ショー」タブを開き（①）、「スライド ショーの記録」（②）から「先頭から録音」をクリック（③）します。



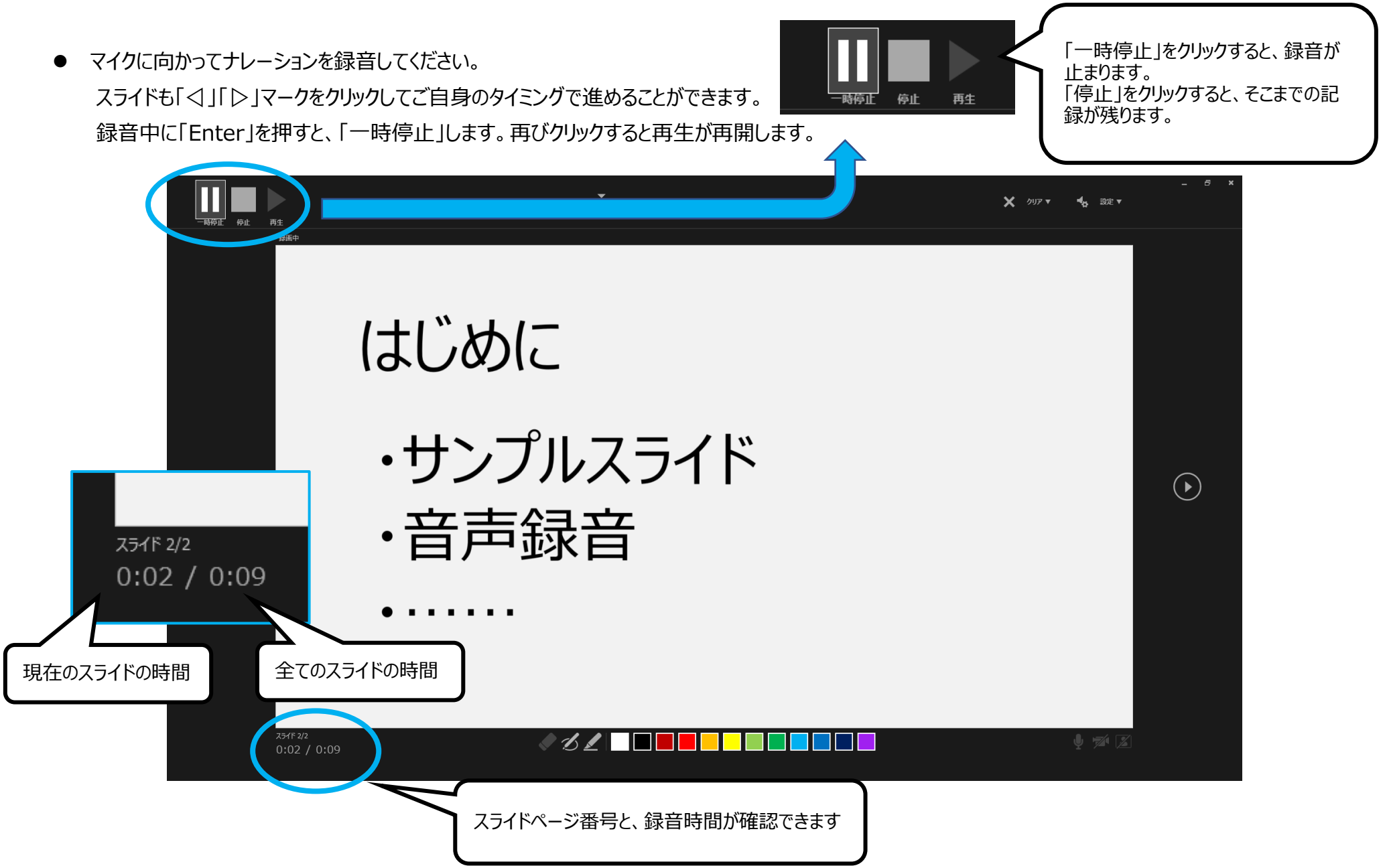
記録画面が開きます。

「記録」ボタンをクリックすると録音できます。
※画面に 3 秒前からのカウントダウンが表示され、録音が開始します。

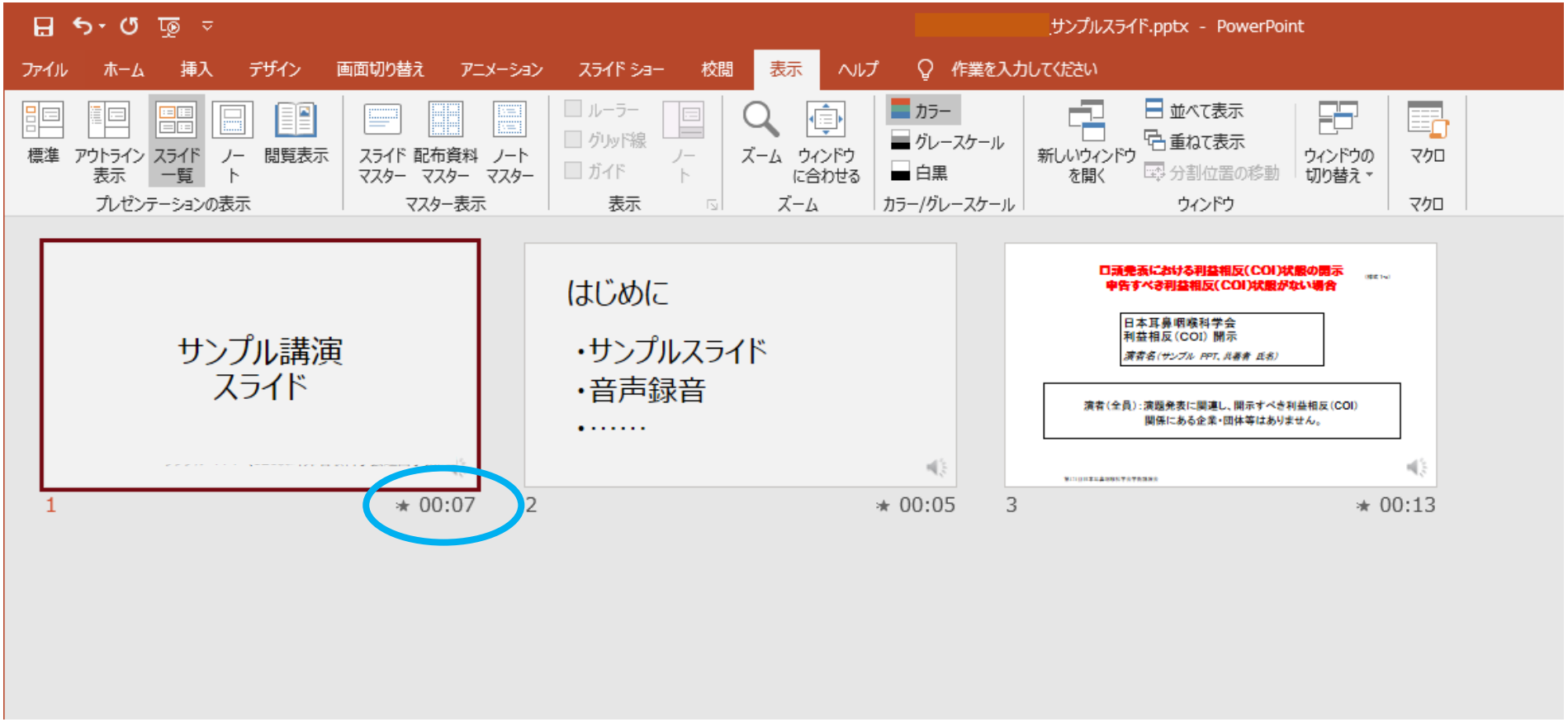


「マイク」を ON にします。
「カメラ」の有効・無効を設定します。
（下記の絵では「無効」になっています）

- マイクに向かってナレーションを録音してください。
  スライドも「◁」「▷」マークをクリックしてご自身のタイミングで進めることができます。
  録音中に「Enter」を押すと、「一時停止」します。再びクリックすると再生が再開します。



- スライドを最後まで進めると、自動的に録音が停止されます。
- スライド一覧で右下に録音時間が表示されていることを確認してください。



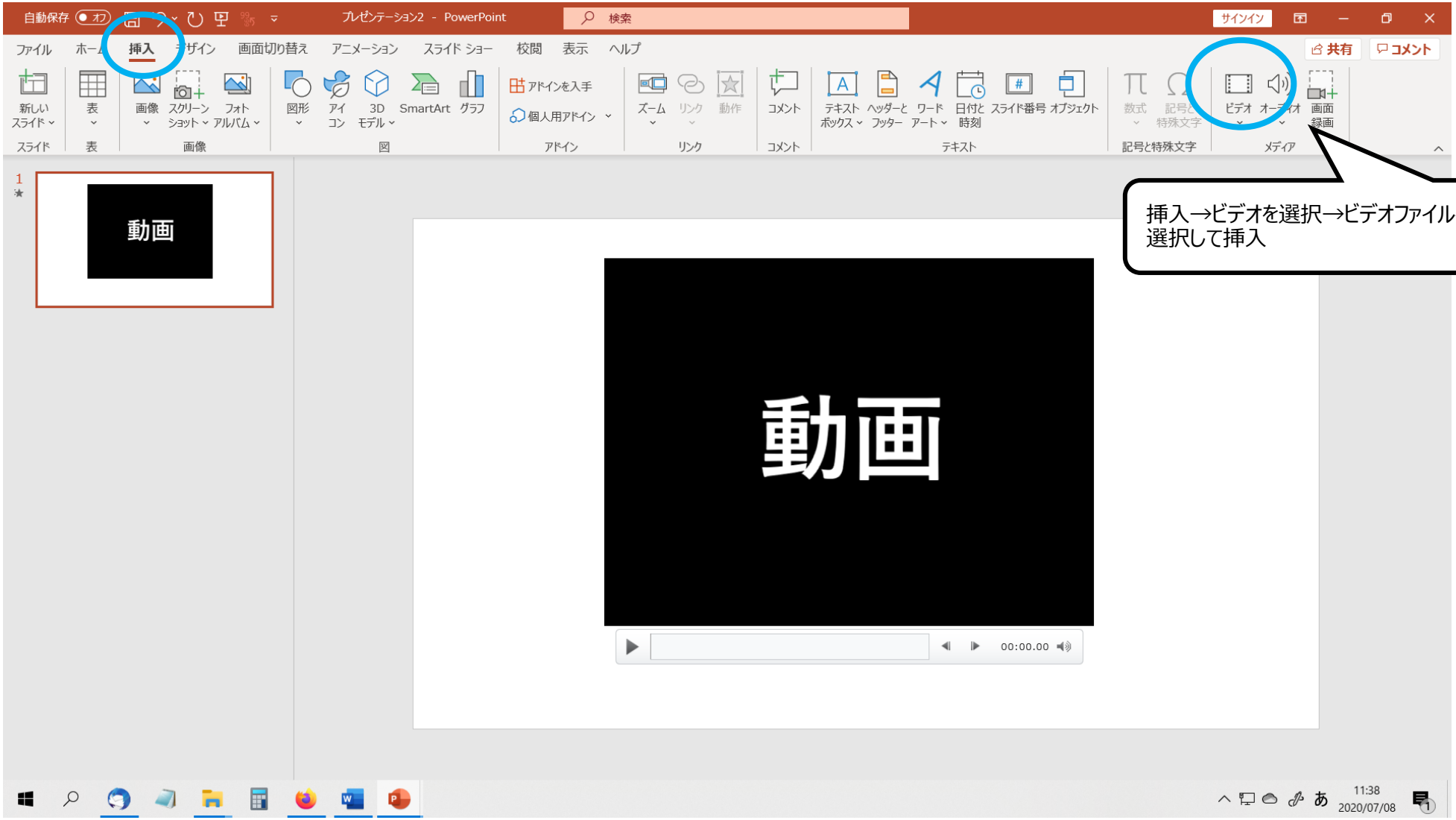
- スライドショーを再生し、音声やスライドのタイミングに問題がなければ、「新しく名前をつけて保存」をしてください。

音声付きパワーポイントデータ作成方法（Windows の場合）

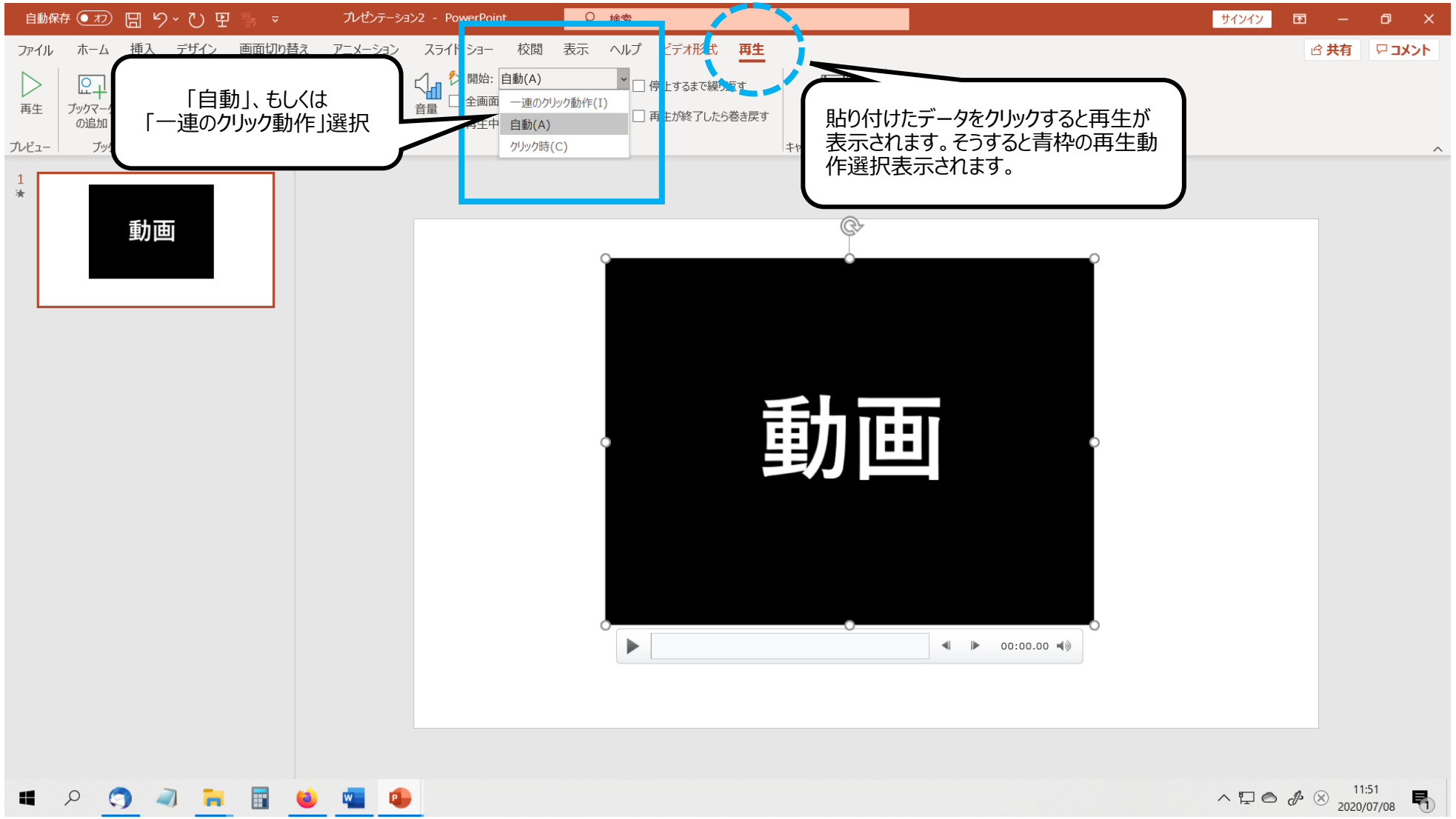
＜動画ファイルがある場合＞

・動画ファイルを PowerPoint に挿入し、自動的に動画を再生させたい場合は、PowerPoint の再生選択機能で「自動再生」を設定してください。

・自らのタイミングで動画再生を行いたい場合は「一連のクリック動作」を設定してください。



音声付きパワーポイントデータ作成方法（Windows の場合）



注）PowerPoint 機能の発表者ツール・ノート、画面切り替えアニメーション、ページ内アニメーション、ペン、レーザーポインターは閲覧画面内での再現ができません

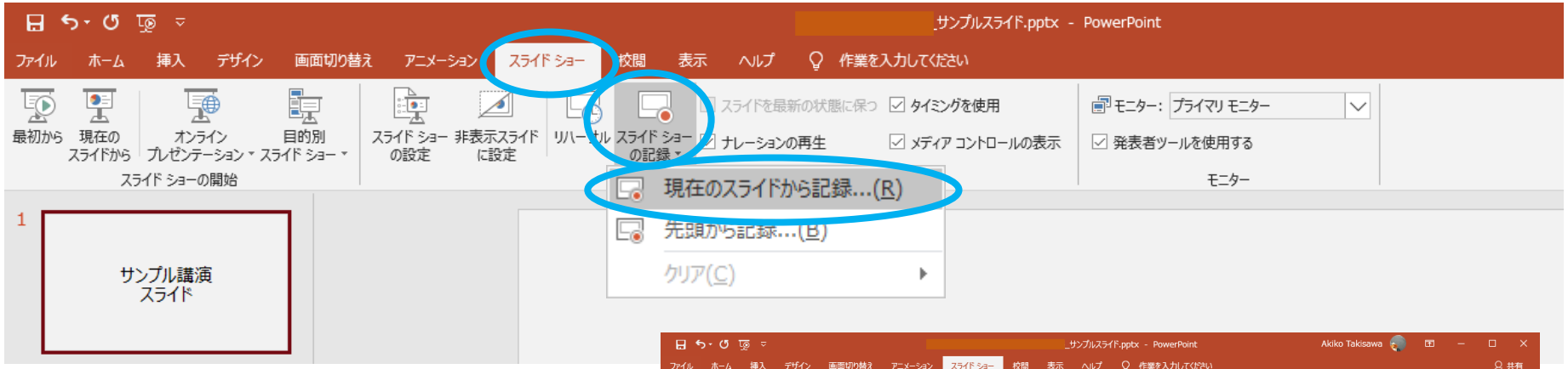
音声付きパワーポイントデータ作成方法（Windows の場合）

<特定のスライドの録音を修正したいとき>

修正したいスライドを表示し、「スライドショー」タブの中の「スライドショーの記録」で、「現在のスライドから記録」を選んで、録音をしてください。

録音を終了したい場合は停止ボタンを押してください。

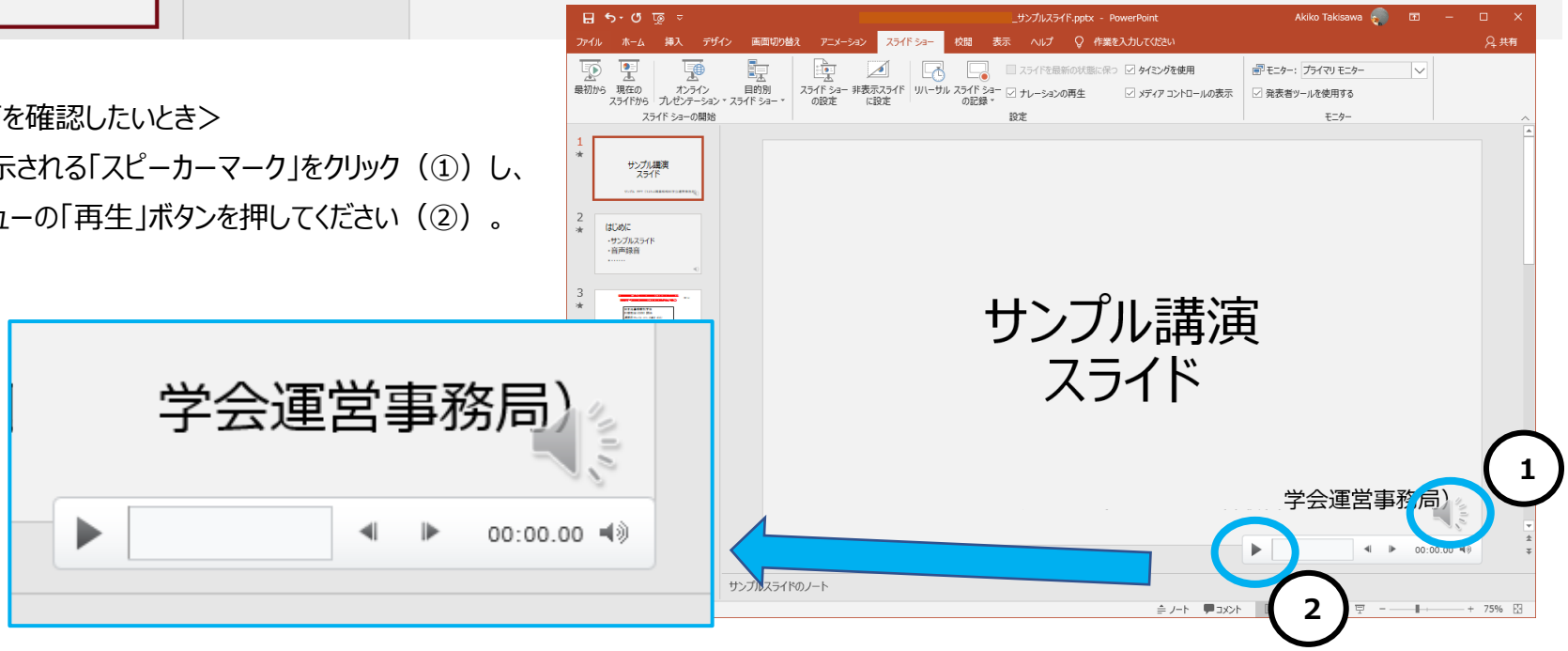
※停止ボタンを押さずに次のスライドに移動すると、次のスライドの録音までも修正になってしまうのでお気を付けください。



<スライド毎の音声を確認したいとき>

スライド上に表示される「スピーカーマーク」をクリック（①）し、

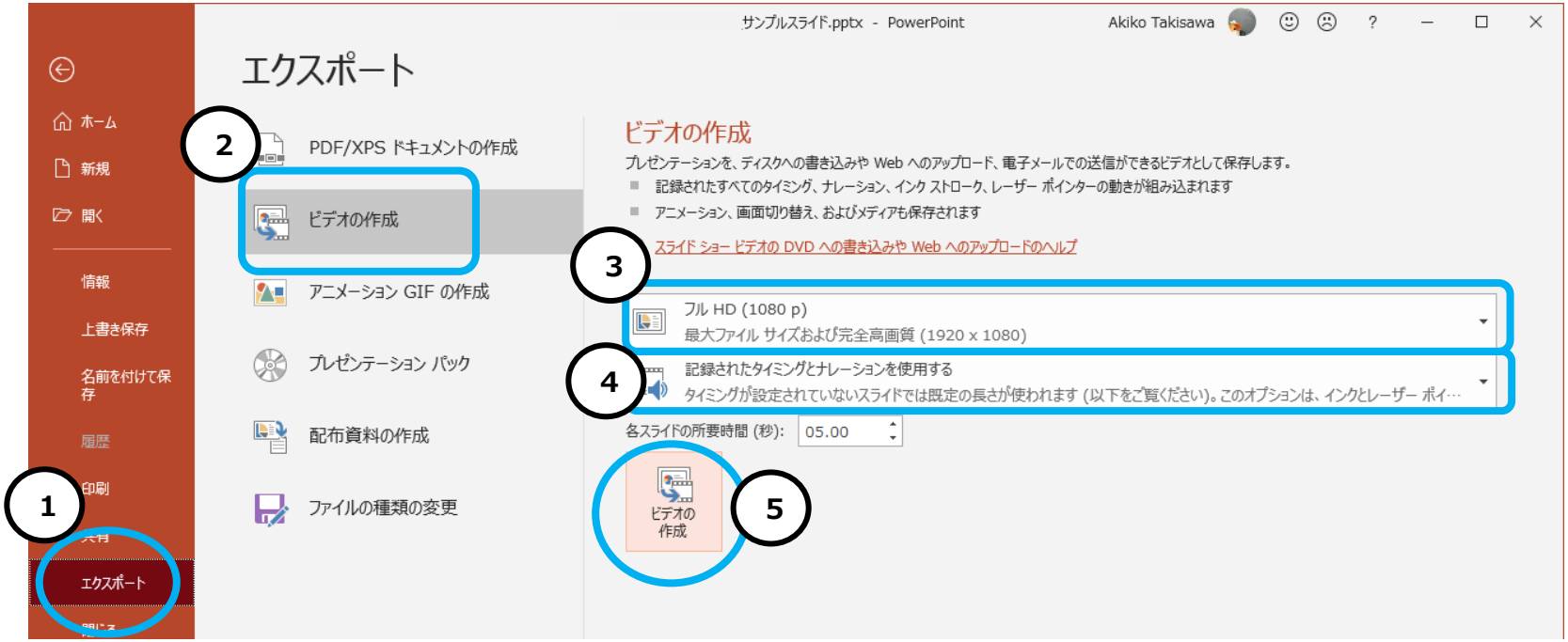
表示されるメニューの「再生」ボタンを押してください（②）。



③ 動画ファイルの作成方法

画面左上に表示されている「ファイル」をクリックします。

メニューから「エクスポート」をクリック（①）⇒「ビデオの作成」をクリック（②）⇒解像度の選択は特に指定ございません（③：画面は例のため、異なる表示の場合があります）⇒「記録されたタイミングをナレーションを使用する」になっていることを確認（④）⇒「ビデオ作成をクリック」（⑤）⇒（次ページへ）



⇒ファイルを任意の場所に保存（⑥）

※ファイル名に指定はありません。また、拡張子が**.mp4 、 .wmv 、 .mov または .m4v** になっていることをご確認ください。

音声付きパワーポイントデータ作成方法（Macintosh の場合）

Office 365 for mac PowerPoint を利用される場合

① 録音開始前にご確認ください

＜スライドの準備について＞

- 先生ご自身が作成された発表用パワーポイントのファイルをご用意ください。

  元データより、動画に加工する為のコピーファイルを作成します。
- 作成したコピーファイルを使用して音声の登録を行っていただきます。
- 動画を作成するにあたりスライドは以下の通り作成をお願いします。

  【1 枚目】　利益相反（COI）の開示スライド

  【2 枚目】　演題名

  【3 枚目以降】 講演内容

＜機器の準備について＞

- パソコン・マイクのご準備をお願いします。
- マイクの性能テストを行ってください。（マイクがついているノートパソコンの場合は内臓マイクを、マイクのついていないノートパソコン・デスクトップパソコンを使用する場合は外付けのマイクをつないで音声の録音をお願いします。）
- 録音の際は可能な限り静かな場所で雑音が入らないようお願いします。
- 録音時間（動画の時間）は、別途メールでお知らせした時間でご作成ください。

音声付きパワーポイントデータ作成方法（Macintosh の場合）

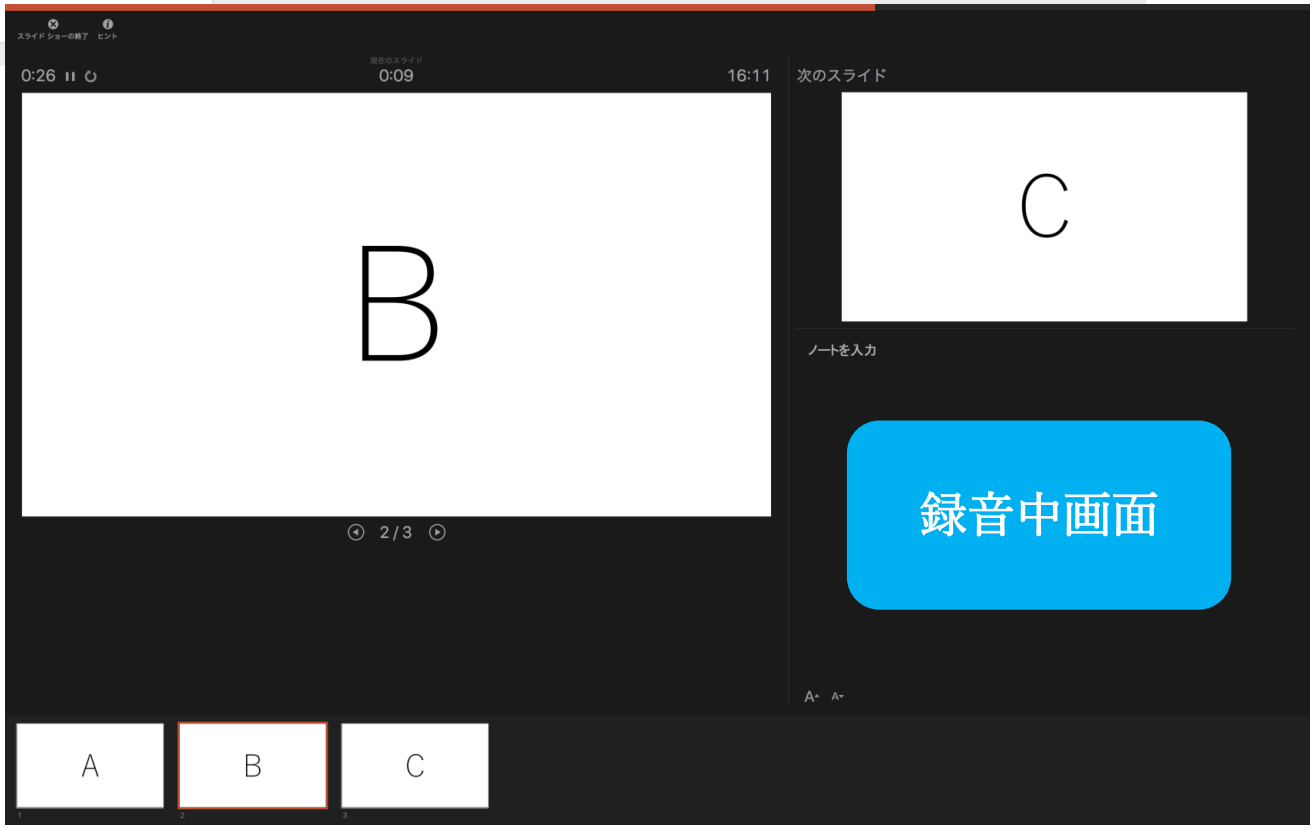
Office 365 for mac PowerPoint を利用される場合

② 音声の録音手順について

- 提出するパワーポイントスライドを開き、先頭のスライドを選択（①）⇒スライドショーを選択（②）⇒「スライドショーの記録」をクリック（③）します。

記録画面が開きます。

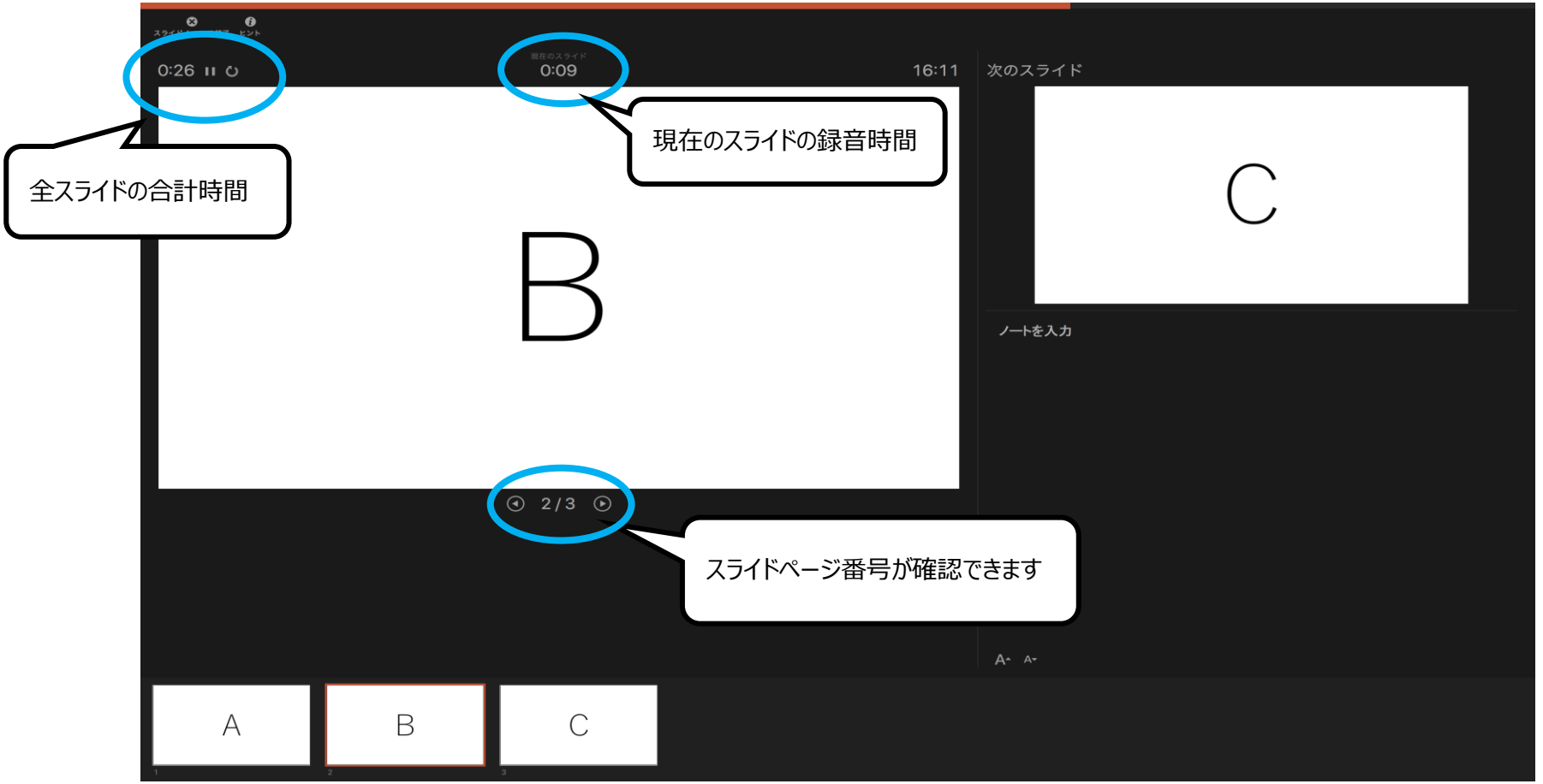
この画面で録音をしながらスライドを進めていきます。



音声付きパワーポイントデータ作成方法（Macintosh の場合）

Office 365 for mac PowerPoint を利用される場合

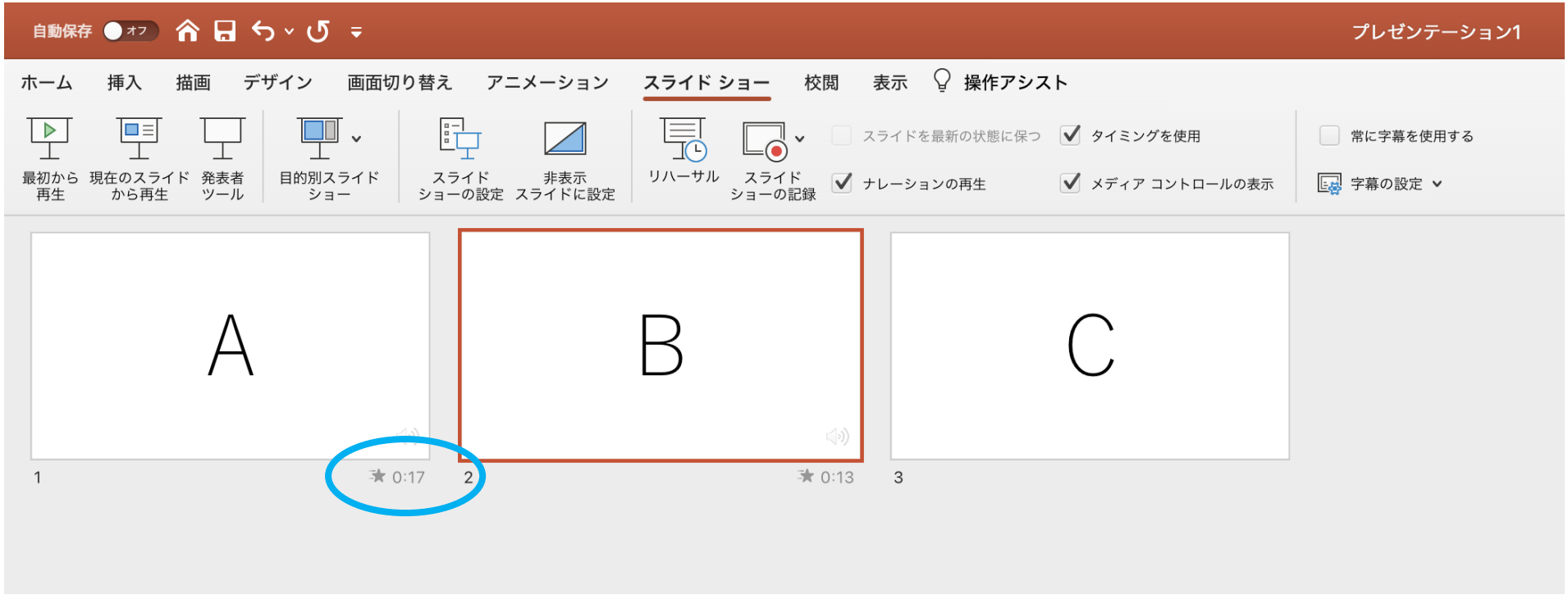
- マイクに向かってナレーションを録音してください。
  スライド下の「◁」「▷」マークをクリックしてご自身のタイミングで進めることができます。
  録音中に「Enter」を押すと、次のスライドへ移動します。



音声付きパワーポイントデータ作成方法（Macintosh の場合）

Office 365 for mac PowerPoint を利用される場合

- スライドを最後まで進めると、自動的に録音が停止されます。
- スライド一覧で右下に録音時間が表示されていることを確認してください。



- スライドショーを再生し、音声やスライドのタイミングに問題がなければ、「新しく名前をつけて保存」をしてください。

音声付きパワーポイントデータ作成方法（Macintosh の場合）

Office 365 for mac PowerPoint を利用される場合

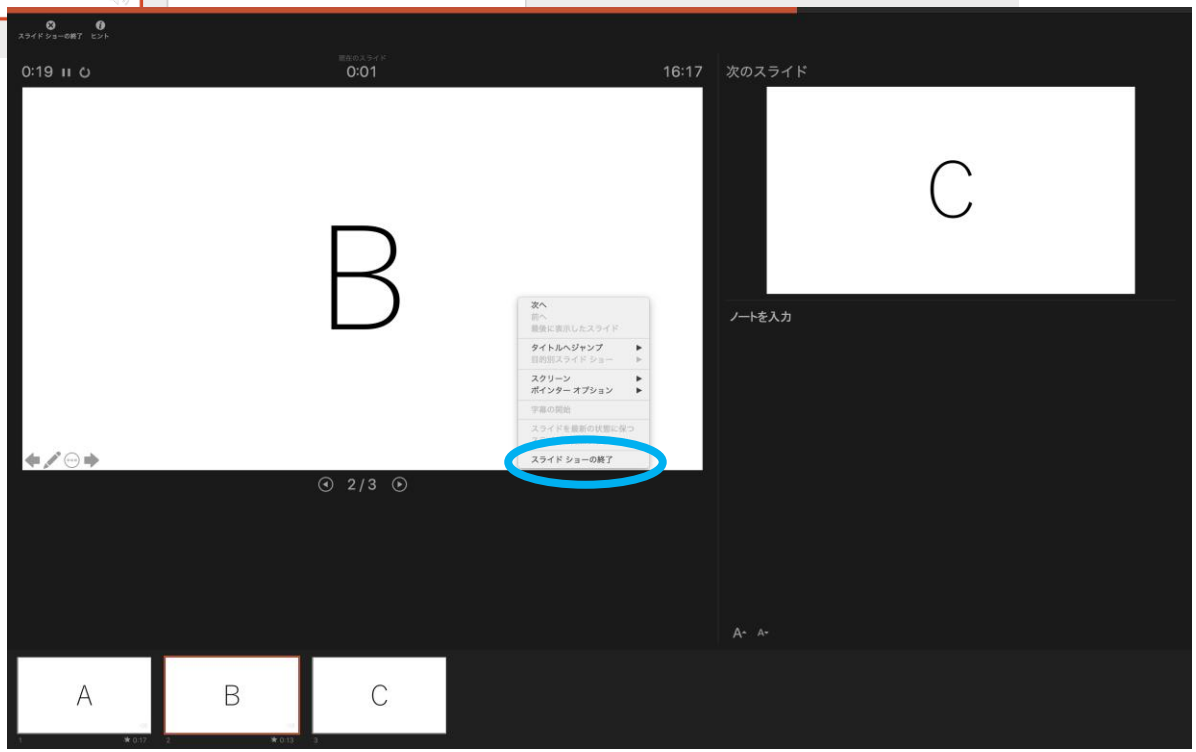
＜特定のスライドの録音を修正したいとき＞

修正したいスライドを選択し、「スライドショー」タブ（①）の中の「スライドショーの記録」（②）を選んで、録音をしてください。

こちらの画面で録音をやり直すことができます。

録音終了させたい場合は右クリックで「スライドショーの終了」を選択してください。

「スライドショーの終了」を選択されず、「▷」ボタンで次のスライドへ進む（または「Enter」を押す）と、次のスライドの録音も撮り直しになります。

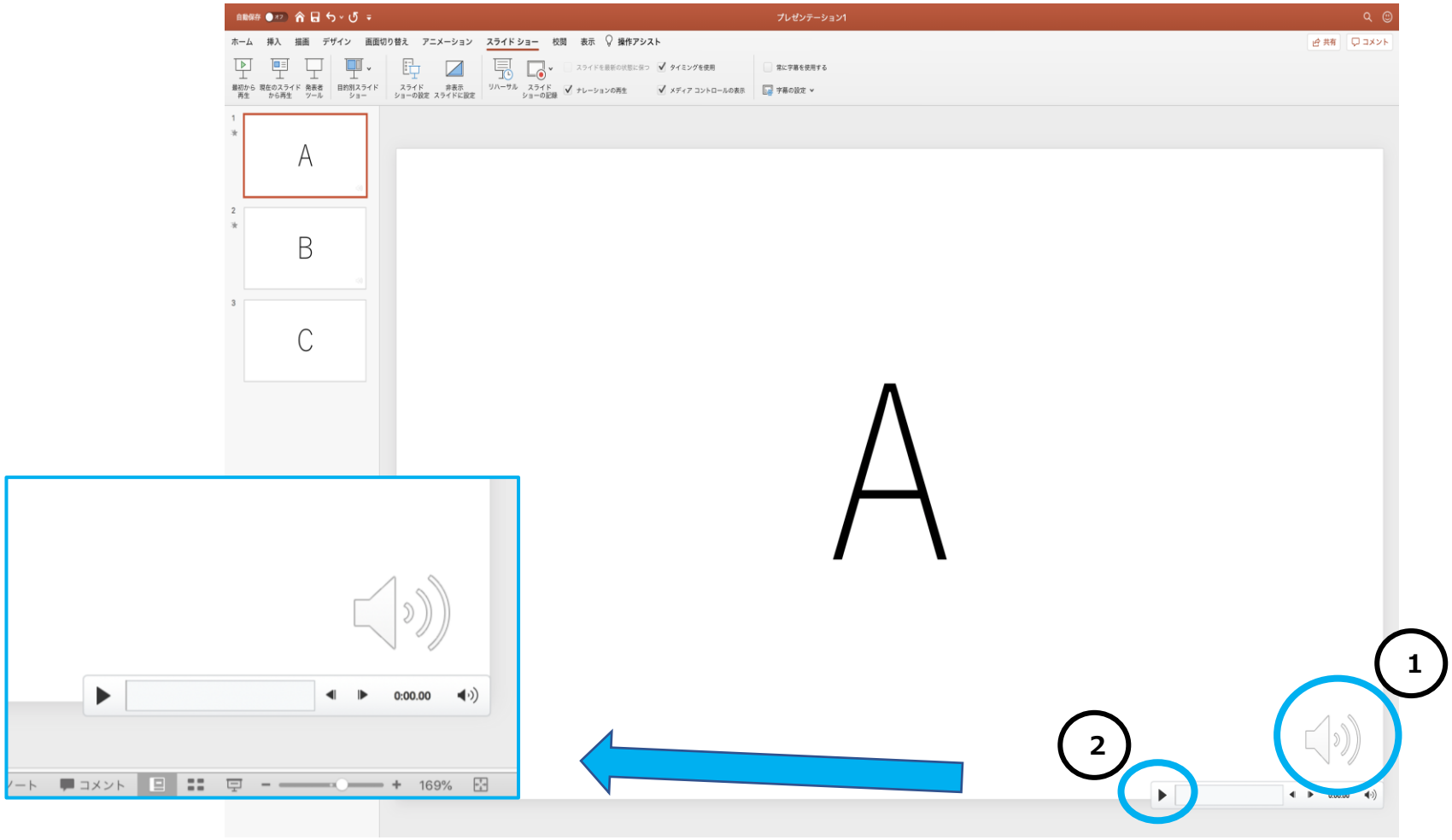


音声付きパワーポイントデータ作成方法（Macintosh の場合）

Office 365 for mac PowerPoint を利用される場合

＜スライド毎の音声を確認したいとき＞

スライド上に表示される「スピーカーマーク」をクリック（①）し、表示されるメニューの「再生」ボタンを押してください（②）。

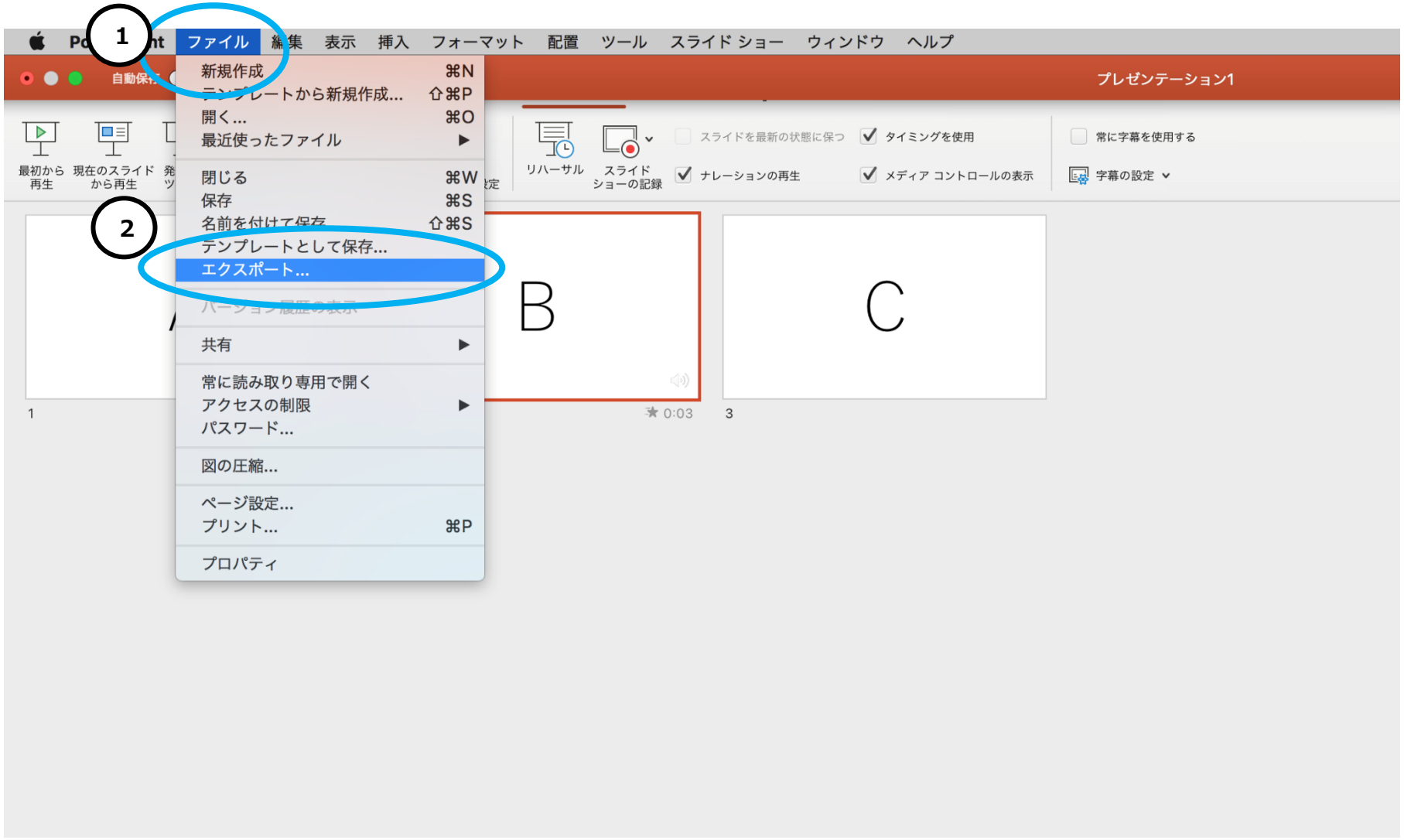


音声付きパワーポイントデータ作成方法（Macintosh の場合）

Office 365 for mac PowerPoint を利用される場合

③ 動画ファイルの作成方法

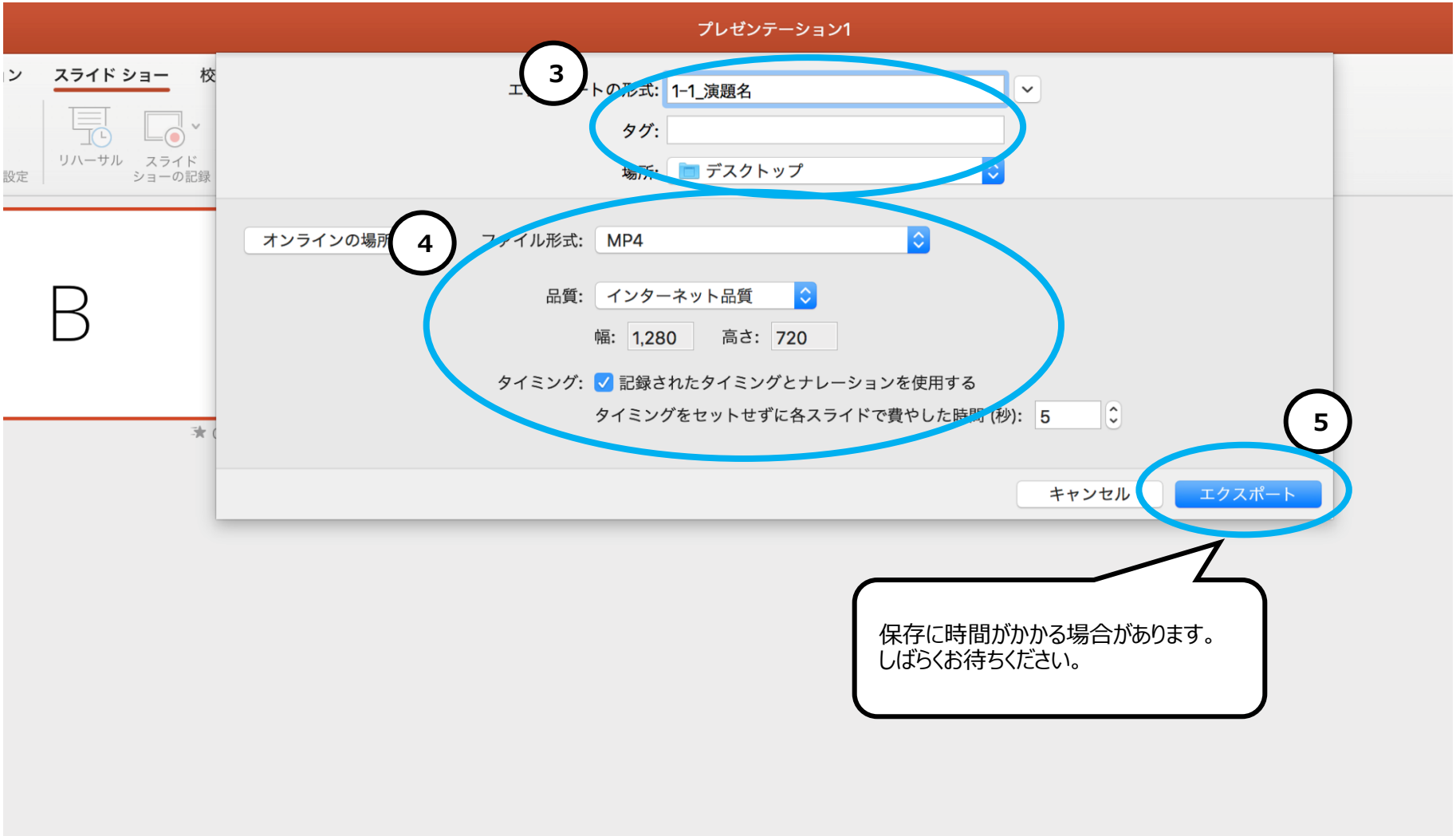
画面左上に表示されている「ファイル」をクリックします。（①）⇒エクスポートを選択（②）



音声付きパワーポイントデータ作成方法（Macintosh の場合）

Office 365 for mac PowerPoint を利用される場合

⇒ファイル名を設定し、ファイル名は任意の場所を選択（③）⇒ファイル形式：MP4（または拡張子が.wmv / .mov / .m4v のもの）、
品質：インターネット品質（画面は例のため異なる表示となる場合があります）、タイミング：「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェック（④）
⇒最後にエクスポートボタンを押して動画を保存する。（⑤）
※ファイル名に指定はありません。



抄録投稿チェックリスト

□ 演者は学会員ですか.
□ 演者以外の共同発表者は，日本補綴歯科学会会員，あるいは所定の手続きを済ませた臨時会員でしょうか.
□ 発表者は本年度分までの本会学会費（臨時会員は登録料）を納入していますか．学会マイページ（https://v3.apollon.nta.co.jp/jps/）でチェックできます.
□ 表題はタイトル，サブタイトルを合わせて 40 文字以内ですか.
□ 表題，著者名，所属，それぞれに英訳がついていますか.
□ 氏名の英語表記が 姓が頭文字だけ半角大文字，名が半角大文字イニシャル表記となっていますか.
例）山田太郎 Yamada T
□ 所属は適切に記載されていますか.
大学関係：同じ所属では統一して下さい
開業医等：会員は所属支部を，非会員は都道府県を記載して下さい．個人歯科医院名を使用しないで下さい.
□ 所属が 2 カ所以上となる場合は，すべての発表者に所属が付記されていますか.
□ 図表の説明は記入していますか．一枚の場合は「図 ○○○」，二枚以上の場合は「図 1 ○○○」とする.
□ 抄録本文は図表を入れて用紙の 2/3 以上を満たしていますか.
□ 抄録の字数制限を超過していませんか.
□ 口語体，新かなづかい，平がな，横書きにしていますか.
□ 句点には「.」，読点には「,」を使用していますか.
□ 使用学術用語は歯科補綴学専門用語集(第 5 版)に沿っていますか.

引用文献の書式要点

□ 文献は引用順になっていますか.
□ 英語の場合は 姓が頭文字だけ半角大文字，名が半角大文字イニシャル表記（例：Yamada T）となっていますか.
□ 著者は 3 名まで記載し，それ以上であれば「ほか」「et al.」

例：

1）山崎彰啓，清水政利，黒崎俊一ほか．印象採得法の臨床的検討.
補綴誌 1988；32：403-408.

2）Beresin VE, Schiesser FJ. The neutral zone in complete denture. J Prosthet Dent 1976; 36: 356-357.

公益社団法人日本補綴歯科学会　第131回学術大会　日程表

7月15日（金）

	第２会場	第３会場	第４会場	リーガロイヤルホテル大阪
	総会 日本歯科医学会会長懇談会 専門医関連委員会セミナー	認定医・専門医筆記試験 診療ガイドライン委員会セミナー	会務連絡会，理事会， 委員長会，支部長会，	会員意見交換会
	（現地＋ライブ配信） 10F　会議室 1003	（現地） 10F　会議室 1001-1002	（現地） 10F　会議室 1008	3F　光琳の間
10:00			会務連絡会	
11:00			理事会	
12:00			委員長会	
13:00			支部長会	
14:00	総会受付			
		認定医・専門医筆記試験 受付		
15:00	総　会	認定医・専門医 筆記試験		
16:00				
	日本歯科医学会会長懇談会			
17:00	専門医関連委員会セミナー 機構認証を目指す日本補綴歯科学会専門医の認定制度，研修機関と研修の概要 座長：井野　智（神歯大） 講師：河相安彦（日大松戸） 木本克彦（神歯大） 鮎川保則（九州大） 窪木拓男（岡山大）	診療ガイドライン委員会セミナー 知っておきたい感染対策，睡眠時ブラキシズム治療 座長：松香芳三（徳島大） 藤澤政紀（明海大） 講師：會田英紀（北医療大） 水口　一（岡山大） 山口泰彦（北海道大）		
18:00				
19:00				
20:00				会員意見交換会
21:00				

公益社団法人日本補綴歯科学会　第131回学術大会　日程表

7月16日（土）

	第１会場 （現地＋ライブ配信） 5F　大ホール	第２会場 （現地＋ライブ配信） 10F　会議室 1003	第３会場 （現地） 10F　会議室 1001-1002	第４会場 （現地） 10F　会議室 1008	第５会場 （現地） 10F　会議室 1009	ポスター会場 （現地） 5F　小ホール	展示会場 （現地＋ホームページ掲載） 10F　会議室 1004-1007 ／10F　ホワイエ	専門医ケースプレゼンテーション （現地） 12F　特別会議場／ 12F　ホワイエ
8:00						ポスター掲示		ポスター掲示
	開会式							
9:00	シンポジウム1 バイオマテリアルの拓く補綴歯科 座長：秋葉陽介（新潟大） 江草　宏（東北大） シンポジスト： 川下将一（医歯大） 小松周平（東京理科大） 正木千尋（九歯大）	課題口演１ Smart prosthodontics 演題：課題１～３ 座長：木本克彦（神歯大）	シンポジウム２ AIと補綴歯科の未来 座長：津賀一弘（広島大） 大野　彩（岡山大） シンポジスト： 中原龍一（岡山大） 駒ヶ嶺友梨子（医歯大） 玉田泰嗣（長崎大）	ハンズオンセミナー1-1 磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～ 講師：鈴木恭典（鶴見大） 協賛：株式会社モリタ 株式会社ケディカ 株式会社キクタニ	ハンズオンセミナー2-1 口腔内スキャナーの実践 Ver.4 講師：疋田一洋（北医療大） 樋口大輔（松歯大） 協賛：株式会社松風 デンツプライシロナ株式会社 インビザライン・ジャパン株式会社	ポスター閲覧	企業展示	ポスター閲覧
10:00		課題口演２ 臨床エビデンス 演題：課題４～６ 座長：横山敦郎（北海道大）						
11:00	シンポジウム３ 補綴治療は患者の何を改善できるか？：臨床アウトカムを多角的に評価する 座長：松香芳三（徳島大） 堀　一浩（新潟大） シンポジスト： 高阪貴之（大阪大） 岩崎正則（東京支部） 内藤真理子（広島大）	課題口演３ バイオロジー 演題：課題７～９ 座長：鮎川保則（九州大）	シンポジウム４ 若手からベテランまで！補綴歯科領域におけるシステマティックレビュー入門 座長：笛木賢治（医歯大） 猪越正直（医歯大） シンポジスト： 笛木賢治（医歯大） 前川賢治（岡山大） 峯　篤史（大阪大）	ハンズオンセミナー1-2 磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～ 講師：鈴木恭典（鶴見大） 協賛：株式会社モリタ 株式会社ケディカ 株式会社キクタニ	ハンズオンセミナー2-2 口腔内スキャナーの実践 Ver.4 講師：疋田一洋（北医療大） 樋口大輔（松歯大） 協賛：株式会社松風 デンツプライシロナ株式会社 インビザライン・ジャパン株式会社			
12:00	ランチョンセミナー1 講師：田中譲治（東関東支部） 協賛：ストローマン・ジャパン株式会社	ランチョンセミナー２ 座長：澤瀬　隆（長崎大） 講師：馬場一美（昭和大） 協賛：アース製薬株式会社	ランチョンセミナー３ 講師：苅谷周司，島村直起（株式会社ジーシー） 協賛：株式会社ジーシー	Lunch & Learning シングルセルバイオロジーが切り拓く Prosthodontic Medicine 座長：秋葉陽介（新潟大） 大島正充（徳島大） 講師：大野充昭（岡山大）	Meet the Experts	ポスター討論 （演題番号末尾が奇数の演題）		
13:00	海外特別講演 スマイルビジネスの法則 座長：澤瀬　隆（長崎大） 細川隆司（九歯大） 講師： Christian Coachman （Digital Smile Design）	臨床リレーセッション１ 部分床義歯の設計を極める－支持・把持を高めるために何を考えるのか－ 座長：山下秀一郎（東歯大） 谷田部　優（東京支部） 講師：武部　純（愛院大） 加藤光雄（東京支部） 青木　勇 （東京支部／有限会社ライズアオキ）	一般口演１：口腔機能１ 演題：O1-1～O1-3 座長：服部佳功（東北大） 一般口演２：口腔機能２ 演題：O1-4～O1-7 座長：小見山　道（日大松戸） 一般口演３：口腔機能３／ニューロサイエンス 演題：O1-8～O1-10 座長：中本哲自（朝日大）	ハンズオンセミナー3-1 口腔機能測定から食事指導へ 講師：上田貴之（東歯大） 協賛：株式会社クリニコ	ハンズオンセミナー４ 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスティックサージェリー 講師：小田師巳（関西支部） 園山　亘（関西支部） 協賛：株式会社松風 ベントロンジャパン株式会社	ポスター閲覧		発表 専門医 1-1～1-7 発表 専門医 2-1～2-7 発表 専門医 3-1～3-7 発表 専門医 4-1～4-7
14:00								
15:00	調印式	臨床リレーセッション２ 補綴医が知っておきたい歯科訪問診療の基礎知識 座長：會田英紀（北医療大） 古屋純一（昭和大） 講師：猪越正直（医歯大） 猪原　健（中国・四国支部）	一般口演４：症例１ 演題：O1-11～O1-13 座長：柏木宏介（大歯大） 一般口演５：有床義歯１ 演題：O1-14～O1-16 座長：小川　匠（鶴見大） 一般口演６：有床義歯２ 演題：O1-17～O1-19 座長：黒岩昭弘（松歯大） 一般口演７：有床義歯３ 演題：O1-20～O1-22 座長：越野　寿（北医療大） 一般口演８：有床義歯４ 演題：O1-23～O1-24 座長：若林則幸（医歯大）	ハンズオンセミナー3-2 口腔機能測定から食事指導へ 講師：上田貴之（東歯大） 協賛：株式会社クリニコ				ポスター閲覧
16:00	メインシンポジウム （専門医単位認定対象セッション） 補綴の未来，歯科の未来に向けて 座長：土屋賢司 （東京支部／日本臨床歯科学会） 澤瀬　隆（長崎大） シンポジスト： 馬場一美（昭和大） 山崎長郎 （東京支部／日本臨床歯科学会） 本多正明 （関西支部／日本臨床歯科学会） 窪木拓男（岡山大）							
17:00								
18:00	イブニングセッション１ 付加製造法による補綴装置製作の現状と未来 コーディネーター： 三浦賞子（明海大）	イブニングセッション２ ジルコニアは完成したのか，それとも更なる発展を遂げるのか コーディネーター： 原田光佑（東京支部）	イブニングセッション３ 口腔機能の低下に対する補綴歯科の可能性　～嚥下・構音・睡眠時呼吸～ コーディネーター： 鈴木善貴（徳島大）	イブニングセッション４ 科学的・臨床的側面から考える補綴医主導型移植・再植治療の実現に向けて コーディネーター： 兒玉直紀（岡山大）	イブニングセッション５ CAD/CAM 技術を応用したパーシャルデンチャーの試み コーディネーター： 田坂彰規（東歯大）			
19:00								

公益社団法人日本補綴歯科学会　第131回学術大会　日程表

7月17日（日）

	第１会場 （現地＋ライブ配信） 5F　大ホール	第２会場 （現地＋ライブ配信） 10F　会議室 1003	第３会場 （現地） 10F　会議室 1001-1002	第４会場 （現地） 10F　会議室 1008	第５会場 （現地） 10F　会議室 1009	ポスター会場 （現地） 5F　小ホール	展示会場 （現地＋ホームページ掲載） 10F 会議室 1004-1007 ／10F ホワイエ	専門医ケースプレゼンテーション （現地） 12F 特別会議場／ 12F ホワイエ
8:00								
9:00	シンポジウム５ 床用レジンを再考する：補綴臨床は SDGs に貢献できるか？ 座長：都築　尊（福歯大） 村田比呂司（長崎大） シンポジスト： 洪　　光（東北大） 川口智弘（福歯大） 二瓶智太郎（神歯大）	臨床リレーセッション３ インプラント補綴患者に生じる欠損歯列：次の補綴介入は何を選択するのか？ 座長：荻野洋一郎（九州大） 和田誠大（大阪大） 講師：内田剛也（西関東支部） 近藤祐介（九歯大） 永田浩司（医歯大）	臨床スキルアップセミナー インプラント補綴の勘所 座長：細川隆司（九歯大） 越智守生（北医療大） 講師：鮎川保則（九州大） 樋口大輔（松歯大）	ハンズオンセミナー５ 部分床義歯完全デジタルワークフローのためのボックスジョイントテクニック 講師：中野田紳一 （中国・四国支部／株式会社インサイドフィールド） 協賛：こばやし歯科クリニック 株式会社プラトンジャパン 株式会社コアデンタルラボ横浜 株式会社六甲歯研	ハンズオンセミナー６ ラミネートベニア審美補綴治療の最前線 講師：土屋賢司 大河雅之 北原信也 （東京支部／日本臨床歯科学会） 協賛：株式会社ニッシン ベントロンジャパン株式会社 株式会社モリムラ	ポスター閲覧	企業展示	発表 専門医 5-1 ～ 5-7 発表 専門医 6-1 ～ 6-7 発表 専門医 7-1 ～ 7-7
10:00			シンポジウム６ 口腔内スキャナーは臨床でこう使う 座長：疋田一洋（北医療大） 木本克彦（神歯大） シンポジスト： 丸尾勝一郎（東京支部） 佐々木英隆 （エスデンタルオフィス） 北道敏行 （きたみち歯科医院）					
11:00	特別講演 認知症の口腔機能と食行動 座長：窪木拓男（岡山大） 笛木賢治（医歯大） 講師：池田　学 （日本老年精神医学会理事長／大阪大）	臨床リレーセッション４ 補綴医に必要な磁性アタッチメントの知識と技能 座長：大川周治（明海大） 大久保力廣（鶴見大） 講師：秀島雅之（医歯大） 大山哲生（日本大） 田中譲治（東関東支部）						ポスター閲覧
12:00	ランチョンセミナー４ 講師：佐藤洋平（鶴見大） 協賛：クラレノリタケデンタル株式会社	ランチョンセミナー５ 座長：河相安彦（日大松戸） 講師：村田比呂司（長崎大） 協賛：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社	ランチョンセミナー６ 座長：小見山　道（日大松戸） 講師：飯田　崇（日大松戸） 協賛：サンスター株式会社	ランチョンセミナー７ 講師：城戸寛史（福歯大） 協賛：ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社	ランチョンセミナー８ 座長：土屋賢司（東京支部／日本臨床歯科学会） 講師：貞光謙一郎 （関西支部／日本臨床歯科学会） 植松厚夫（東京支部／日本臨床歯科学会） 協賛：Planmeca Japan 株式会社	ポスター討論 （演題番号末尾が偶数の演題）		ポスター閲覧
13:00	専門医研修会 （専門医単位認定対象セッション） 補綴難症例に対する補綴歯科専門医の解決策を共有する（その１） すれ違い咬合，高度顎堤吸収，摂食機能障害 座長：河相安彦（日大松戸） 井野　智（神歯大） 講師：大久保力廣（鶴見大） 鱒見進一（九歯大） 小野高裕（新潟大）	歯科技工士セッション 歯科医師・歯科技工士の視点から考えるジルコニア製補綴装置の課題と展望 歯科医師・歯科技工士それぞれの視点から 座長：小峰　太（日本大） 三浦賞子（明海大） 講師：近藤尚知（岩手医大） 大川友成（東海支部／Organ Dental Technology Hamburg）	一般口演 9：バイオロジー・バイオマテリアル１ 演題：02-1 ～ 02-3 座長：魚島勝美（新潟大） 一般口演 10：バイオロジー・バイオマテリアル２ 演題：02-4 ～ 02-6 座長：西村正宏（鹿児島大）		一般口演 13：インプラント／症例２ 演題：02-12 ～ 02-14 座長：馬場俊輔（大歯大） 一般口演 14：クラウンブリッジ１ 演題：02-15 ～ 02-17 座長：五味治徳（日歯大）	ポスター閲覧		
14:00		歯科衛生士セッション 補綴装置を長期維持管理するために必要な歯科衛生士のスキルとは？ 座長：二川浩樹（広島大） 田中譲治（東関東支部） 講師：川崎律子（長谷川歯科医院） 柏井伸子 （有限会社ハグクリエイション）	一般口演 11：バイオロジー・バイオマテリアル３ 演題：02-7 ～ 02-9 座長：原　哲也（岡山大） 一般口演 12：教育 演題：02-10 ～ 02-11 座長：河野文昭（徳島大）		一般口演 15：クラウンブリッジ２ 演題：02-18 ～ 02-20 座長：石垣尚一（大阪大）	ポスター撤去		ポスター撤去
15:00	閉会式　表彰式							
16:00								
17:00								

■公益社団法人日本補綴歯科学会　第 131 回学術大会

■メインテーマ

補綴の未来，歯科の未来．“Society 5.0 に向けたイノベーションの創出”

■特別講演

（一社）日本老年歯科医学会／
認知症と口腔機能研究会　共催

7 月 17 日（日） 第 1 会場　10：20 ～ 11：40

認知症の口腔機能と食行動

座長：窪木　拓男（岡山大）
　　笛木　賢治（医歯大）
講師：池田　　学（日本老年精神医学会理事長／大阪大）

日本補綴歯科学会は，研究企画推進委員会（笛木賢治委員長）の大きなテーマとして，認知症や認知機能と口腔機能の関係を解き明かす活動を進めることになり，医科歯科連携研究（ECCO）プロジェクトを発足した．本特別講演では，本プロジェクトの医科側の重要なパートナーである日本老年精神医学会の池田　学理事長（大阪大学）をお迎えし，認知症研究の現状に加えて，本プロジェクトに期待されることについてお話しいただくこととする．

（座長　窪木拓男，笛木賢治）

■海外特別講演

7 月 16 日（土） 第 1 会場　13：10 ～ 14：40

スマイルビジネスの法則

座長：澤瀬　　隆（長崎大）
　　細川　隆司（九歯大）
講師：Christian Coachman（Digital Smile Design）

Dr. Christian Coachman 率いる Digital Smile Design は，包括的な治療計画からのフルデジタルワークフローを具現化し，歯科医療のデジタル化の方向性として，世界的にも非常に注目されているグループです．今回コロナ禍に伴う入国可否の不安定さのなか，晴れて来日してご講演いただけることになりました．デジタルの新たな展開の一端を垣間見る絶好の機会となると思われます．

（座長　澤瀬　隆，細川隆司）

■メインシンポジウム（専門医単位認定対象セッション）　日本臨床歯科学会　共催

7 月 16 日（土） 第 1 会場　15：50 ～ 17：50

補綴の未来，歯科の未来に向けて

座長：土屋　賢司（東京支部／日本臨床歯科学会）
　　澤瀬　　隆（長崎大）
シンポジスト：馬場　一美（昭和大）
　　山﨑　長郎（東京支部／日本臨床歯科学会）
　　本多　正明（関西支部／日本臨床歯科学会）
　　窪木　拓男（岡山大）

日本臨床歯科学会（SJCD）と日本補綴歯科学会（JPS）が学術交流協定を締結するにあたり，両学会の理事長，副理事長にご登壇いただき，本連携の目的と意義，そして期待される効果について，ご講演いただきます．補綴の未来，歯科の未来を展望した熱い討論も乞うご期待です．

（座長　土屋賢司，澤瀬　隆）

■シンポジウム 1

日本バイオマテリアル学会　共催

7 月 16 日（土）　第 1 会場　9：00 ～ 10：30

バイオマテリアルの拓く補綴歯科

座長：秋葉　陽介（新潟大）
　　江草　　宏（東北大）
シンポジスト：川下　将一（医歯大）
　　小松　周平（東京理科大）
　　正木　千尋（九歯大）

補綴治療はクラウンブリッジ・義歯・インプラントなど，バイオマテリアルを駆使した高頻度治療である．適切な臨床応用を目指したバイオマテリアル研究には臨床的課題の理解とこれを解決し得る研究の方向性が不可欠である．本シンポジウムではバイオマテリアルの先端基礎研究と，臨床の現場がバイオマテリアルに期待する課題を紹介いただき，補綴歯科における展望を議論したい．

（座長　秋葉陽介，江草　宏）

■シンポジウム 2

7 月 16 日（土）　第 3 会場　9：00 ～ 10：30

AI と補綴歯科の未来

座長：津賀　一弘（広島大）
　　大野　　彩（岡山大）
シンポジスト：中原　龍一（岡山大）
　　駒ヶ嶺友梨子（医歯大）
　　玉田　泰嗣（長崎大）

医科領域の人工知能（AI）の社会実装は急速に進んできた．歯科領域においても，さまざまな AI 研究が行われ，診断精度の向上や治療技術の標準化，効率化に役立つことが期待されているが，最先端の現状はどうか？本シンポジウムでは，医学・歯学分野での AI の開発環境と社会実装の現状や課題に学び，今後の補綴歯科治療や歯科医療全体が AI によってどのように変わるべきかを共有したい．

（座長　津賀一弘，大野　彩）

■シンポジウム 3

（一社）日本老年歯科医学会／
日本顎口腔機能学会　共催

7 月 16 日（土）　第 1 会場　10：40 ～ 12：10

補綴治療は患者の何を改善できるか？：臨床アウトカムを多角的に評価する

座長：松香　芳三（徳島大）
　　堀　　一浩（新潟大）
シンポジスト：高阪　貴之（大阪大）
　　岩崎　正則（東京支部）
　　内藤真理子（広島大）

歯冠の崩壊や欠損歯列を有する患者，あるいは顎口腔機能に問題を抱える患者に対して我々は補綴治療を行い，その機能や外観の回復に努めている．この治療効果を多角的な視点で主観的，客観的に評価し，その治療の意義を患者とともに実感することは有益であり，また重要である．本シンポジウムでは，臨床アウトカムの評価項目に造詣の深い 3 名の先生方にご講演いただき，それぞれの評価法の活用や補綴治療の臨床アウトカムへの応用について考察，議論していきたい．

（座長　松香芳三，堀　一浩）

■シンポジウム 4

7 月 16 日（土）　第 3 会場　10：40 ～ 12：10

若手からベテランまで！補綴歯科領域におけるシステマティックレビュー入門

座長：笛木　賢治（医歯大）
　　猪越　正直（医歯大）
シンポジスト：笛木　賢治（医歯大）
　　前川　賢治（岡山大）
　　峯　　篤史（大阪大）

研究を進めるうえで，先行研究に関する文献を渉猟し，現時点での知見をまとめることは非常に重要である．本シンポジウムでは，会員アンケートにて要望の多かったシステマティックレビューについて焦点を当て，システマティックレビューとは何かといった基礎的な点から，考え方，実施するうえでの注意点といった実践的な内容まで，実際にシステマティックレビューやメタアナリシスを行われている経験豊富な講師の先生方にご解説いただく．

（座長　笛木賢治，猪越正直）

■シンポジウム 5

（一社）日本歯科理工学会　共催

7 月 17 日（日）　第 1 会場　9：00 ～ 10：10

床用レジンを再考する：補綴臨床は SDGs に貢献できるか？

座長：都築　　尊（福歯大）
　　村田比呂司（長崎大）
シンポジスト：洪　　光（東北大）
　　川口　智弘（福歯大）
　　二瓶智太郎（神歯大）

義歯の床用材料には，その加工のしやすさや操作性，強度，安価な材料費などの観点からレジンが伝統的に用いられてきた．本シンポジウムでは，近年あらゆる業界で注目・製品化されている天然素材「セルロースナノファイバー」のエキスパートより，臨床応用の可能性について解説していただき，さらに低炭素社会実現への貢献の可能性を考えたい．

（座長　都築　尊，村田比呂司）

■シンポジウム 6

（一社）日本デジタル歯科学会　共催

7 月 17 日（日）　第 3 会場　10：10 ～ 11：40

口腔内スキャナーは臨床でこう使う

座長：疋田　一洋（北医療大）
　　木本　克彦（神歯大）
シンポジスト：丸尾勝一郎（東京支部）
　　佐々木英隆（エスデンタルオフィス）
　　北道　敏行（きたみち歯科医院）

口腔内スキャナーは今後のデジタルデンティストリーのために必須の医療機器として注目されており，近い将来において幅広く普及することが期待されている．本シンポジウムでは，3 名の臨床家の先生に日常の臨床において診療室でどのように口腔内スキャナーを活用しているか，従来の印象法と比較して何が変わったのか，臨床を通じて得られた知見をお話しいただく．

（座長　疋田一洋，木本克彦）

■専門医関連委員会セミナー

7 月 15 日（金） 第 2 会場　17：00 ～ 18：30

機構認証を目指す日本補綴歯科学会専門医の認定制度，研修機関と研修の概要

座長：井野　　智（神歯大）
講師：河相　安彦（日大松戸）
　　木本　克彦（神歯大）
　　鮎川　保則（九州大）
　　窪木　拓男（岡山大）

本セミナーは，日本補綴歯科学会の新専門医制度の移行にあたり，検討してきたこれまでの取り組みについて，マクロの視点，ミドルの視点，ミクロの視点という流れで，①歯科専門医の理念，考え方，制度の枠組みなどを踏まえた本学会の制度設計と認定・研修要件（マクロ），②基本症例数（装置数）と難症例数の分類と必要な症例数などに応じた研修機関の評価（ミドル），③補綴歯科専門医育成のための教育プログラムの説明と，各研修者の研修記録や専門医取得までの進捗を一元管理できる「補綴歯科専門医研修評価記録」（ミクロ）などを中心に，ご講演いただく．

（座長　井野　智）

■診療ガイドライン委員会セミナー

7 月 15 日（金） 第 3 会場　17：00 ～ 18：30

知っておきたい感染対策，睡眠時ブラキシズム治療

座長：松香　芳三（徳島大）
　　藤澤　政紀（明海大）
講師：會田　英紀（北医療大）
　　水口　　一（岡山大）
　　山口　泰彦（北海道大）

診療ガイドラインは健康に関する重要な課題について，エビデンスに基づき推奨を提示する文書であり，指針はエビデンスが確立していないものの，現時点での最適と考えられる推奨を示す文書である．今回のセミナーでは，「補綴歯科治療過程における感染対策指針 2019」と「ブラキシズムの診療ガイドライン　睡眠時ブラキシズムの治療（管理）について」を紹介するとともに，保険収載されたブラキシズムに対する睡眠時筋電図検査に関して解説する．

（座長　松香芳三，藤澤政紀）

■臨床スキルアップセミナー　　（公社）日本口腔インプラント学会　共催

7月17日（日）　第3会場　9：00～9：50

インプラント補綴の勘所

座長：細川　隆司（九歯大）
　　越智　守生（北医療大）
講師：鮎川　保則（九州大）
　　樋口　大輔（松歯大）

このセミナーでは，『インプラント補綴の勘所』と題して，鮎川保則先生（九州大学）に「インプラント補綴治療に求められる印象採得の知識」，そして樋口大輔先生（松本歯科大学）には「メインテナンスの勘所－その上部構造は外しますか？－」という，インプラント治療に携わる先生方の明日の臨床のスキルアップに役立つ内容についてご講演いただきます．臨床的に興味深く，かつ極めて重要なテーマをあくまでエビデンスに基づいて議論を深めていく予定です．

（座長　細川隆司，越智守生）

■臨床リレーセッション1

7月16日（土）　第2会場　13：10～14：40

部分床義歯の設計を極める
－支持・把持を高めるために何を考えるのか－

座長：山下秀一郎（東歯大）
　　谷田部　優（東京支部）
講師：武部　　純（愛院大）
　　加藤　光雄（東京支部）
　　青木　　勇（東京支部／有限会社ライズアオキ）

部分床義歯の動揺を抑制するためには，確実な支持作用と把持作用の設定を第一義と考え，そのうえで必要最小限の維持力の付与が常道である．つまり，義歯の可動方向を規定し支台歯に対する負担過重を軽減する設計が要件となる．本セッションでは，この概念を実現するための具体的な設計と技工操作，また，海外の設計原則との比較についてディスカッションを行いたい．

（座長　山下秀一郎，谷田部　優）

■臨床リレーセッション 2

（一社）日本老年歯科医学会／
（一社）日本在宅医療連合学会　共催

7 月 16 日（土）　第 2 会場　14：50 ～ 15：50

補綴医が知っておきたい歯科訪問診療の基礎知識

座長：會田　英紀（北医療大）
　　古屋　純一（昭和大）
講師：猪越　正直（医歯大）
　　猪原　　健（中国・四国支部）

超高齢社会の到来による高齢者人口の増加のため，歯科訪問診療の需要は増加の一途を辿っている．歯科訪問診療の現場では，抜歯や有床義歯による補綴を含めた包括的診療が求められる場面も多く，補綴医の活躍が期待される．一方で，歯科訪問診療を必要とする患者は有病高齢者であることがほとんどである．このような中，実際に補綴医が歯科訪問診療を行う際に注意すべき点について，全身管理，補綴治療，摂食嚥下リハビリテーションの視点からまとめたい．

（座長　會田英紀，古屋純一）

■臨床リレーセッション 3

（公社）日本口腔インプラント学会　共催

7 月 17 日（日）　第 2 会場　9：00 ～ 10：10

インプラント補綴患者に生じる欠損歯列：次の補綴介入は何を選択するのか？

座長：荻野洋一郎（九州大）
　　和田　誠大（大阪大）
講師：内田　剛也（西関東支部）
　　近藤　祐介（九歯大）
　　永田　浩司（医歯大）

インプラント治療はその機能性，予知性の高さが証明されており，幅広く応用されている．しかし，インプラント治療後に生じる天然歯の喪失やインプラントのトラブルなど，インプラント補綴後の口腔状態を維持できないこともある．本セッションではインプラント補綴終了後に欠損を生じた際の治療判断について 3 名の先生にご講演いただき，治療オプションやその選択基準についてディスカッションしていきたい．

（座長　荻野洋一郎，和田誠大）

■臨床リレーセッション 4

日本磁気歯科学会　共催

7 月 17 日（日）　第 2 会場　10：20 ～ 11：40

補綴医に必要な磁性アタッチメントの知識と技能

座長：大川　周治（明海大）
　　大久保力廣（鶴見大）
講師：秀島　雅之（医歯大）
　　大山　哲生（日本大）
　　田中　譲治（東関東支部）

磁性アタッチメントは支台歯に優しく，取り外しが手軽など多くの特長があり，メインテナンスが容易で維持力の減衰が少ないことなどからも超高齢社会に有用な可撤性支台装置と期待されている．

昨年，本アタッチメントが保険収載されたが，その経緯や基本的考え方，天然歯およびインプラントに用いた臨床の勘所と注意点についてディスカッションし，補綴医として知っておくべき磁性アタッチメントの知識と技能を整理したい．

（座長　大川周治，大久保力廣）

■専門医研修会（専門医単位認定対象セッション）

7 月 17 日（日）　第 1 会場　13：00 ～ 15：00

補綴難症例に対する補綴歯科専門医の解決策を共有する（その 1）
すれ違い咬合，高度顎堤吸収，摂食機能障害

座長：河相　安彦（日大松戸）
　　井野　　智（神歯大）
講師：大久保力廣（鶴見大）
　　鱒見　進一（九歯大）
　　小野　高裕（新潟大）

一般社団法人 日本歯科専門医機構が認定する補綴歯科専門医に求める要件の一つが「補綴歯科の難症例」に対応できる知識と技能を有する歯科医師である．本研修は①著明な顎堤吸収，②摂食機能障害，③すれ違い咬合に 30 年以上にわたり補綴歯科専門医として取り組んできた 3 名の先生にご講演をいただき，専門医が修得すべき知識，実践的技能と患者に対するケアを含めた情意領域などについてご解説をいただき，難症例に対峙する専門医のロールモデルを提示していきたい．

（座長　河相安彦，井野　智）

■歯科技工士セッション

（一社）日本歯科技工学会／
（一社）日本デジタル歯科学会　共催

7 月 17 日（日）　第 2 会場　13：00 ～ 14：00

歯科医師・歯科技工士の視点から考えるジルコニア製補綴装置の課題と展望
歯科医師・歯科技工士それぞれの視点から

座長：小峰　　太（日本大）
　　三浦　賞子（明海大）
講師：近藤　尚知（岩手医大）
　　大川　友成（東海支部／ Organ Dental Technology Hamburg）

ジルコニア製補綴装置の臨床応用の機会が増加している．以前は，ジルコニアをフレームとして陶材築盛が必須であったが，ジルコニアは進化を遂げ，現在はジルコニア単一材料での応用が可能となった．強度と審美性を兼ね備えたジルコニア製補綴装置の長期予後を得るためには，材料の性質を理解し，適切な臨床手技を行うことが重要である．本セッションでは，歯科医師，歯科技工士の先生方に，明日からの臨床に役立つ知見をご紹介いただく．

（座長　小峰　太，三浦賞子）

■歯科衛生士セッション

（公社）日本歯科衛生士会　共催

7 月 17 日（日）　第 2 会場　14：10 ～ 15：10

補綴装置を長期維持管理するために必要な歯科衛生士のスキルとは？

座長：二川　浩樹（広島大）
　　田中　譲治（東関東支部）
講師：川崎　律子（長谷川歯科医院）
　　柏井　伸子（有限会社ハグクリエイション）

補綴装置が装着された時がゴールでなく始まりであるという考えを踏まえて，補綴装置を長期維持するためには歯科衛生士の役割が大きく関与する．しかし，補綴治療と関連づけて詳細に議論されることは少ない．

そこで，インプラント上部構造を含めた補綴装置の長期維持管理に必要な歯科衛生士のスキルを整理するとともに，具体的な実践方法やノウハウをその分野で豊富な臨床経験をお持ちのエキスパートに提示していただき，これらについて検討する．

（座長　二川浩樹，田中譲治）

■ハンズオンセミナー 1

日本磁気歯科学会　共催

7 月 16 日（土）　第 4 会場　9：00 ～ 10：30
第 4 会場　10：40 ～ 12：10

磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～

講師：鈴木　恭典（鶴見大）
協賛：株式会社モリタ，株式会社ケディカ，株式会社キクタニ

■ハンズオンセミナー 2

（一社）日本デジタル歯科学会　共催

7 月 16 日（土）　第 5 会場　9：00 ～ 10：30
第 5 会場　10：40 ～ 12：10

口腔内スキャナーの実践 Ver.4

講師：疋田　一洋（北医療大）
　　樋口　大輔（松歯大）
協賛：株式会社松風，デンツプライシロナ株式会社，インビザライン・ジャパン株式会社

■ハンズオンセミナー 3

7 月 16 日（土）　第 4 会場　13：40 ～ 15：00
第 4 会場　15：30 ～ 16：50

口腔機能測定から食事指導へ

講師：上田　貴之（東歯大）
協賛：株式会社クリニコ

■ハンズオンセミナー 4

7 月 16 日（土）　第 5 会場　13：40 ～ 17：00

包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスティックサージェリー

講師：小田　師巳（関西支部）
　　園山　　亘（関西支部）
協賛：株式会社松風，ペントロンジャパン株式会社

■ハンズオンセミナー 5

（一社）日本デジタル歯科学会／
（一社）日本歯科技工学会／
（公社）日本歯科技工士会　共催

7 月 17 日（日）　第 4 会場　9：00 ～ 11：50

部分床義歯完全デジタルワークフローのためのボックスジョイントテクニック

講師：中野田紳一（中国・四国支部／株式会社インサイドフィールド）

協賛：こばやし歯科クリニック，株式会社プラトンジャパン，株式会社コアデンタルラボ横浜，
株式会社六甲歯研

■ハンズオンセミナー 6

7 月 17 日（日）　第 5 会場　9：00 ～ 12：00

ラミネートベニア審美補綴治療の最前線

講師：土屋　賢司（東京支部／日本臨床歯科学会）
大河　雅之（東京支部／日本臨床歯科学会）
北原　信也（東京支部／日本臨床歯科学会）

協賛：株式会社ニッシン，ペントロンジャパン株式会社，株式会社モリムラ（五十音順）

■イブニングセッション 1

7 月 16 日（土）　第 1 会場　18：00 ～ 19：00

付加製造法による補綴装置製作の現状と未来

コーディネーター：三浦　賞子（明海大）

発表者：新保　秀仁（鶴見大）
金澤　　学（医歯大）

■イブニングセッション 2

7 月 16 日（土） 第 2 会場　18：00 ～ 19：00

ジルコニアは完成したのか，それとも更なる発展を遂げるのか

コーディネーター：原田　光佑（東京支部）
発表者：大谷　恭史（関西支部）
　　藤田　崇史（明海大）
　　吉原久美子（中国・四国支部）

■イブニングセッション 3

7 月 16 日（土） 第 3 会場　18：00 ～ 19：00

口腔機能の低下に対する補綴歯科の可能性　～嚥下・構音・睡眠時呼吸～

コーディネーター：鈴木　善貴（徳島大）
発表者：真柄　　仁（新潟大）
　　服部麻里子（医歯大）
　　奥野健太郎（大歯大）

■イブニングセッション 4

7 月 16 日（土） 第 4 会場　18：00 ～ 19：00

科学的・臨床的側面から考える補綴医主導型移植・再植治療の実現に向けて

コーディネーター：兒玉　直紀（岡山大）
発表者：大島　正充（徳島大）
　　新名主耕平（東京支部）

■イブニングセッション 5

7 月 16 日（土） 第 5 会場　18：00 ～ 19：00

CAD/CAM 技術を応用したパーシャルデンチャーの試み

コーディネーター：田坂　彰規（東歯大）
発表者：岡野　日奈（東歯大）
　　髙市　敦士（医歯大）
　　飯田　雄太（中国・四国支部）

■ Lunch & Learning

7 月 16 日（土） 第 4 会場　12：30 ～ 13：10

シングルセルバイオロジーが切り拓く Prosthodontic Medicine

座長：秋葉　陽介（新潟大）
　　大島　正充（徳島大）
講師：大野　充昭（岡山大）
協賛：株式会社スクラム

Lunch & Learning はフォーマルなトレーニングやセミナーとは異なり，気軽に参加して，昼食を食べながら，最新の研究手法や解析技術についての知識を得て，今後の自身の研究を推し進めるための参考にしようという企画です．今回は岡山大学の大野充昭先生を講師に迎え，シングルセルバイオロジー技術を用いたご研究を紹介いただき，シングルセルバイオロジーからどの様な事が解るのか，補綴歯科学研究に何をもたらし得るのか，といったことを参加者と議論したいと考えています．

（座長　秋葉陽介，大島正充）

■ Meet the Experts

7 月 16 日（土） 第 5 会場　12：30 ～ 13：10

講師：池邉　一典（大阪大）
　　江草　　宏（東北大）
　　松田　謙一（関西支部）
　　丸尾勝一郎（東京支部）
　　山﨑　長郎（東京支部／日本臨床歯科学会）
　　本多　正明（関西支部／日本臨床歯科学会）

■ランチョンセミナー 1

7 月 16 日（土） 第 1 会場　12：20 ～ 13：00

必要不可欠になりつつある口腔内スキャナーならではのさまざまな臨床応用

講師：田中　譲治（東関東支部）

協賛：ストローマン・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 2

7 月 16 日（土） 第 2 会場　12：20 ～ 13：00

CPC 含有洗口液によるデンチャープラークの抑制

座長：澤瀬　　隆（長崎大）

講師：馬場　一美（昭和大）

協賛：アース製薬株式会社

■ランチョンセミナー 3

7 月 16 日（土） 第 3 会場　12：20 ～ 13：00

保険適用された CAD/CAM インレーの接着と「セラスマート HT シェード」の有効性

講師：苅谷　周司（株式会社ジーシー）

　　島村　直起（株式会社ジーシー）

協賛：株式会社ジーシー

■ランチョンセミナー 4

7 月 17 日（日） 第 1 会場　12：00 ～ 12：40

多様化する補綴材料・補綴手法に対応するレジンセメント

講師：佐藤　洋平（鶴見大）

協賛：クラレノリタケデンタル株式会社

■ランチョンセミナー 5

7 月 17 日（日） 第 2 会場　12：00 ～ 12：40

義歯安定剤の利用ガイドライン

座長：河相　安彦（日大松戸）
講師：村田比呂司（長崎大）
協賛：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 6

7 月 17 日（日） 第 3 会場　12：00 ～ 12：40

ウェアラブルデバイスがもたらすブラキシズムへの新たなアプローチ

座長：小見山　道（日大松戸）
講師：飯田　　崇（日大松戸）
協賛：サンスター株式会社

■ランチョンセミナー 7

7 月 17 日（日） 第 4 会場　12：10 ～ 12：50

X-Guide®の有機的な活用方法について

講師：城戸　寛史（福歯大）
協賛：ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 8

7 月 17 日（日） 第 5 会場　12：20 ～ 13：00

座長：土屋　賢司（東京支部／日本臨床歯科学会）

デジタル技術をもちいた包括的治療

講師：貞光謙一郎（関西支部／日本臨床歯科学会）

3D デジタル技術を使用した咬合再構成を考える

講師：植松　厚夫（東京支部／日本臨床歯科学会）
協賛：Planmeca Japan 株式会社

■市民フォーラム 2022

Web 配信

〈視聴 URL〉https://www.kwcs.jp/jps131/civic.html

皆さんといっしょに学ぼう！
補綴歯科イノベーションがもたらす健康社会

座長：飯沼　利光（日本補綴歯科学会社会連携委員会）
　　島田　　淳（東京支部）
講師：小峰　　太（日本大）
　　大山　哲生（日本大）

今回の市民フォーラムでは補綴歯科イノベーションがもたらすさまざまな効果について，専門家にわかりやすく解説をしてもらい，その効果を日常臨床の場において多くの患者様が享受していただくきっかけになればと考えています．

そこで今回のフォーラムでは，昨年秋，新たに保険収載されました有床義歯への磁性アタッチメントに加え，2020 年 9 月 1 日から保険での適用範囲が広がった，CAD/CAM 冠を用いた補綴歯科治療について専門家から分かりやすく解説をしていただきます．

（座長　飯沼利光，島田　淳）

7月16日（土）[第２会場]

■ 9：00 ～ 10：00　課題口演 1　Smart prosthodontics

座長　木本克彦（神歯大）

課題 1　機械学習によるエマージェンスアングル推定プログラムの開発
○ Omnia Saleh[1)]，野﨑浩佑 [2)]，松村茉由子 [1)]，谷中　航 [1)]，三浦宏之 [1)]，笛木賢治 [1)]
([1)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野，[2)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体補綴歯科学分野）

課題 2　部分欠損歯列顎堤に対する口腔内スキャニングの精確さ向上を図る新提案
○清水廷浩，田坂彰規，和達重郎，山下秀一郎
（東京歯科大学）

課題 3　フィラー添加量の違いが 3D プリント用光硬化性樹脂の機械的物性に与える影響
○羽田多麻木 [1)]，金澤　学 [2)]，岩城麻衣子 [3)]，駒ヶ嶺友梨子 [1)]，副田弓夏 [1)]，大竹涼介 [1)]，秋山　洋 [1)]，柏崎健汰 [1)]，Sahaprom Namano[1)]，Keyu Qi[1)]，Pyae Sone Khin[1)]，水口俊介 [1)]
([1)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野，[2)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔デジタルプロセス学分野，[3)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔機能再建工学分野）

■ 10：00 ～ 11：00　課題口演 2　臨床エビデンス

座長　横山敦郎（北海道大）

課題 4　モノリシックジルコニアクラウンの予後に関する 10 年間の後ろ向きコホート研究
○髙江洲　雄 [1)]，山口雄一郎 [1)]，谷口祐介 [2)]，小嶺　亮 [1)]，山田浩貴 [1)]，城戸寛史 [2)]，松浦尚志 [1)]
([1)] 福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野，[2)] 福岡歯科大学咬合修復学講座口腔インプラント学分野）

課題 5　片側遊離端欠損における残存歯喪失に関する生存時間分析－補綴装置の違いによる影響－
○辻岡義崇，豆野智昭，明間すずな，長谷川大輔，岡田佳恵，和田誠大，池邉一典
（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野）

課題 6　大臼歯 CAD/CAM レジン冠失敗要因の三次元デジタルデータを活用した統計学的解析
○伴　晋太朗，峯　篤史，萩野僚介，弓立真広，山中あずさ，石田昌也，高石宗佳，江崎良真，石垣尚一
（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野）

■ 11：00 ～ 12：00　課題口演 3　バイオロジー

座長　鮎川保則（九州大）

課題 7　加齢が骨髄ニッチ関連細胞および類洞基底膜に与える影響
○石橋　啓 [1,2)]，大野充昭 [2,3)]，土佐郁恵 [1)]，北川若奈 [1,2)]，秋山謙太郎 [3)]，窪木拓男 [1,3)]，大橋俊孝 [2)]
([1)] 岡山大学学術研究院医歯薬学域インプラント再生補綴学分野，[2)] 岡山大学学術研究院医歯薬学域分子医化学分野，[3)] 岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門）

課題 8　マクロファージの選択的枯渇と移植による BRONJ の病因解明と新規治療戦略基盤構築
○小堤涼平 [1)]，黒嶋伸一郎 [2)]，佐々木宗輝 [2)]，金子　遥 [1)]，Farah A. Al-Omari[2)]，澤瀬　隆 [2)]
([1)] 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔インプラント学分野，[2)] 長崎大学生命医科学域口腔インプラント学分野）

課題 9　Periostin knockout 歯根膜細胞のマルチオミックス解析
○土橋　梓，加来　賢，小野喜樹，魚島勝美
（新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野）

7月16日（土）[第３会場]

■ 13：10 ～ 13：40　一般口演 1　口腔機能 1

座長　服部佳功（東北大）

O1-1　高齢者の口腔機能に影響を与える新規歯周組織評価指標の横断調査による検証
○上野結衣[1,2]，岩崎正則[2]，野代知孝[1]，宗政　翔[1]，向坊太郎[1]，近藤祐介[1]，正木千尋[1]，平野浩彦[2]，細川隆司[1]
([1]九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野，[2]東京都健康長寿医療センター研究所）

O1-2　急性期・回復期・生活期の歯科訪問診療における高齢者の補綴歯科治療ニーズ
○戸田山直輝[1]，古屋純一[1]，佐藤裕二[1]，畑中幸子[1]，原　隆蔵[1]，赤穂和樹[1]，桑澤実希[1]，戸原　玄[2]
([1]昭和大学歯学部高齢者歯科学講座，[2]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

O1-3　介護老人福祉施設入所者における不良補綴装置の有無と口腔機能の関連
○山中大寛，山口摂崇，武田佳大，越智守生
（北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野）

■ 13：40 ～ 14：20　一般口演 2　口腔機能 2

座長　小見山　道（日大松戸）

O1-4　タブレット型 PC を用いたトレーニングによる口腔機能改善効果の検証
○菱田英里[1]，高阪貴之[1]，高橋利士[1]，西村優一[1]，室谷有紀[1]，辻　愛美[1]，野﨑一徳[2]，池邉一典[1]
([1]大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野，[2]大阪大学歯学部附属病院医療情報室）

O1-5　エックス線 CT 画像による下顎隆起発生と欠損歯の関連における網羅的調査
○馬郡佑季，柴口　塊，新藤弘海，松浦尚志
（福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野）

O1-6　主咀嚼側における咀嚼機能評価に基づく下顎運動経路モデル作成のための基礎的検討
○武田佳大[1]，山口摂崇[1]，高橋尚人[2]，山中大寛[1]，越智守生[1]
([1]北海道医療大学口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野，[2]札幌市立大学 AI ラボ）

O1-7　体格と咬合力，咀嚼能力との関係
○仁村可奈，志賀　博，小松義典，稲富健祐，寺辺やよひ，武田悦孝，佐藤晃夫，岡村健弘，仁村秀由喜
（日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第 1 講座）

■ 14：20 ～ 14：50　一般口演 3　口腔機能 3 ／ニューロサイエンス

座長　中本哲自（朝日大）

O1-8　咬合違和感症候群患者の症型分類と治療法に関する研究　症型分類と修飾因子
○藤原　基[1)]，玉置勝司[1)]，島田　淳[1)]，仲井太心[1)]，渡辺秀司[1)]，片岡加奈子[1)]，山本龍生[2)]
([1)] 神奈川歯科大学総合歯科学講座顎咬合機能回復分野，[2)] 神奈川歯科大学健康科学講座社会歯科学分野）

O1-9　ムチン 4 の異所性発現が及ぼす影響の解析
○内山梨夏[1)]，松本知生[1)]，池田敏和[1)]，佐々木槙一[1)]，曽根晶子[1)]，近江谷尚紀[2)]，田中義博[2)]，山森徹雄[1)]
([1)] 奥羽大学歯学部歯科補綴学講座，[2)] 東北・北海道支部）

O1-10　Propiece IL-1 α の転写調節メカニズムの解明
○及川大智，深澤麻衣，柳澤直毅，西尾健介，深水皓三，細田　徹，山田博明，飯沼利光
（日本大学歯学部歯科補綴学第 I 講座）

■ 15：00 ～ 15：30　一般口演 4　症例 1

座長　柏木宏介（大歯大）

O1-11　インプラント補綴を契機に発症した咬合時痛の一例
○陳　明輝，臼田　頌，西山留美子，鈴木啓介，鈴木　潔，中川種昭，堀江伸行
（慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室）

O1-12　上下顎悪性腫瘍切除術後に対し顎義歯へ軟質リライン材を用いて対応した長期経過症例
○吉岡　文，磯村美智子，木村尚美，尾澤昌悟，熊野弘一，小島規永，秦　正樹，安藤彰浩，松川良平，藤波和華子，武部　純
（愛知学院大学歯学部有床義歯学講座）

O1-13　ステンレス鉤線を用いてスクリュー固定式暫間補綴装置のフレームを作製した一症例
○桝谷隆夫[1)]，冨田里緒[1)]，前野実香[1)]，吉岡　凜[1)]，萩原大子[1)]，相澤真奈美[1)]，新見大輔[1)]，内倉慶一朗[2)]，永田浩司[2)]
([1)] 東京支部，[2)] 東京医科歯科大学生体補綴歯科学分野）

■ 15：30 ～ 16：00　一般口演 5　有床義歯 1

座長　小川　匠（鶴見大）

O1-14　金属積層造形で付与した内部構造がコバルトクロム合金の機械的特性に及ぼす影響
○岡野日奈[1)]，田坂彰規[1,4)]，松永　智[2,4)]，和達重郎[1)]，服部雅之[3)]，山下秀一郎[1)]
([1)] 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座，[2)] 東京歯科大学解剖学講座，[3)] 東京歯科大学歯科理工学講座，[4)] 東京歯科大学口腔科学研究センター）

O1-15　義歯床用 3D プリンター樹脂材料への義歯修理用材料の接着性の比較
○小山田勇太郎[1)]，澤田智史[2)]，佐藤宏明[1)]，福徳暁宏[1)]，塚谷顕介[1)]，島崎伸子[1)]，村上智彦[1)]，野尻俊樹[1)]，柳澤　基[1)]，武本真治[2)]，近藤尚知[1)]
([1)] 岩手医科大学補綴・インプラント学講座，[2)] 岩手医科大学医療工学講座）

O1-16　CAD/CAM 製法の違いが純チタン局部床義歯フレームの形状と表面粗さに及ぼす影響
○伊東紘世[1)]，田坂彰規[1)]，小林　裕[1)]，仲田誠一[2)]，山下秀一郎[1)]
([1)] 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座，[2)] 和田精密歯研株式会社）

■ 16：00 ～ 16：30　一般口演 6　有床義歯 2

座長　黒岩昭弘（松歯大）

O1-17　CAD/CAM ミリング法により製作した複製義歯の臨床評価
○岡田佳恵，豆野智昭，八田昂大，池邉一典
（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野）

O1-18　フルアーチ連結型人工歯を用いた 3D プリント義歯に関する基礎的研究
○須藤真行，玉置勝司，前畑　香，生田龍平，渡辺宣孝
（神奈川歯科大学総合歯科学講座顎咬合機能回復分野）

O1-19　義歯洗浄剤による金属材料上の唾液タンパクに対する経時的洗浄効果の QCM 解析
○今泉直也，櫻井敏継，大久保力廣
（鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座）

■ 16：40 ～ 17：10　一般口演 7　有床義歯 3

座長　越野　寿（北医療大）

O1-20　咬合力相当荷重が 2 種類の適合調整を行ったコーヌステレスコープクラウンに及ぼす影響
○加藤芳実[1)]，伴野圭太[1)]，加藤光雄[1)]，青木　勇[2)]，和達重郎[1)]，武本真治[3)]，山下秀一郎[1)]
([1)] 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座，[2)] 東京支部，[3)] 岩手医科大学医療工学講座）

O1-21　繰り返し着脱試験が RPI クラスプの維持力と形状の変化に及ぼす影響
○上窪祐基[1)]，加藤芳実[1)]，伴野圭太[1)]，加藤光雄[1)]，和達重郎[1)]，黒田滋信[2)]，武本真治[3)]，山下秀一郎[1)]
([1)] 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座，[2)] 和田精密歯研株式会社，[3)] 岩手医科大学医療工学講座）

O1-22　下顎両側遊離端義歯の設計が咀嚼能率に与える影響
○善本　佑[1)]，長谷川陽子[1)]，Simonne Salazar[2)]，Marito Pinta[1,3)]，Sta Maria Ma Therese[1,4)]，堀　一浩[1)]，小野高裕[1)]
([1)] 新潟大学大学院医学歯学研究科包括歯科補綴学分野，[2)] セントロエスカラー大学歯学部，[3)] インドネシア大学歯学部，[4)] マニラセントラル大学歯学部）

■ 17：10 ～ 17：30　一般口演 8　有床義歯 4

座長　若林則幸（医歯大）

O1-23　周術期口腔機能に顎顔面補綴治療が及ぼす影響とその関連因子の検討
○泉田一賢[1)]，千葉貴大[2)]，小山重人[1)]，佐藤奈央子[1)]，互野　亮[1)]，畠山高徳[1)]，佐々木啓一[2)]
([1)] 東北大学病院顎顔面口腔再建治療部，[2)] 東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野）

O1-24　義歯設計の違いが部分床義歯ならびに支台歯の長期予後に与える影響の検討
○今田瑠偉[1)]，野川敏史[2)]，古玉明日香[1)]，山田　怜[1)]，高山芳幸[1)]，横山敦郎[1)]
([1)] 北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野口腔機能補綴学教室，[2)] 北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野予防歯科学教室）

7月17日（日）[第３会場]

■ 13：00 ～ 13：30　一般口演 9　バイオロジー・バイオマテリアル 1

座長　魚島勝美（新潟大）

O2-1　金属アレルギーにおける細胞内小胞輸送制御因子の役割　高分子量 G 蛋白質 Rab44 解析
○野黒美麻由子，村田比呂司
（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野）

O2-2　BMP-2 は造血機能を有した骨・骨髄組織を誘導する
○北川若奈[1,2]，大野充昭[2,3]，土佐郁恵[1]，石橋　啓[1,2]，大橋俊孝[2]，窪木拓男[1,3]
([1] 岡山大学学術研究院医歯薬学域インプラント再生補綴学分野，[2] 岡山大学学術研究院医歯薬学域分子医化学分野，[3] 岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門）

O2-3　親水性処理した純チタン金属の免疫調節機能が抗菌性及び骨形成に与える影響
○小正　聡[1]，楊　元元[1]，張ホンホウ[1]，楠本哲次[2]，西崎　宏[2]，岡崎定司[1]
([1] 大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座，[2] 大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科）

■ 13：30 ～ 14：00　一般口演 10　バイオロジー・バイオマテリアル 2

座長　西村正宏（鹿児島大）

O2-4　筋形成過程における高分子量 Rab タンパク質の機能と役割
○親川　駿，村田比呂司
（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野）

O2-5　創傷治癒過程における間葉系幹細胞とマクロファージの相互作用
○田頭龍二[1]，黄野頂策[1]，秋山謙太郎[2]，窪木拓男[1,2]
([1] 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野，[2] 岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門）

O2-6　頭頸部骨化の鍵となる膜性骨が関与する「Enthesis」の組織構築機序の解明
○北村　旭[1]，山本将仁[2]，阿部伸一[2]，山下秀一郎[1]
([1] 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座，[2] 東京歯科大学解剖学講座）

■ 14：10 ～ 14：40　一般口演 11　バイオロジー・バイオマテリアル 3

座長　原　哲也（岡山大）

O2-7　血管新生阻害薬とビスホスホネート製剤の併用投与がマウス抜歯窩治癒へ与える影響
○金子　遥[1]，黒嶋伸一郎[2]，小堤涼平[1]，Farah A. Al-Omari[2]，佐々木宗輝[2]，澤瀬　隆[2]
([1] 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔インプラント学分野，[2] 長崎大学生命医科学域口腔インプラント学分野）

O2-8　大気圧プラズマ処理が純チタン金属表面の生体適合性に与える影響について
○合田知世[1]，小正　聡[1]，高尾誠二[1]，山本さつき[1]，西崎　宏[2]，岡崎定司[1]
([1] 大阪歯科大学歯学部欠損歯列補綴咬合学講座，[2] 大阪歯科大学医療保健学部）

O2-9　P（LA/CL）二層性メンブレン周囲における粘膜治癒について
○熱田　生[1]，成松生枝[2]，古谷野　潔[1]，鮎川保則[2]
([1] 九州大学大学院歯学研究院歯科先端医療評価・開発学講座，[2] 九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野）

■ 14：40 ～ 15：00　一般口演 12　教育

座長　河野文昭（徳島大）

O2-10　With コロナ時代における効果的な全部床義歯補綴学模型実習の検討
○添田ひとみ[1)]，鈴木啓之[1)]，宮安杏奈[1)]，波多野恵太[1)]，副田弓夏[1)]，渡辺一騎[1,2)]，小林章二[1,3)]，長田英治[1,4)]，平野滋三[1,2)]，安藤一夫[1,2)]，水口俊介[1)]
([1)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野，[2)] 東京支部，[3)] 東関東支部，[4)] 西関東支部）

O2-11　歯科教育に国民は何を求めているのか
○和智遥香[1)]，中山奈緒子[1)]，高橋美保[1)]，島田　淳[2)]，玉置勝司[2)]
([1)] 東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース，[2)] 神奈川歯科大学顎咬合機能回復学分野）

7月17日（日）[第５会場]

■ 13：10 ～ 13：40　一般口演 13　インプラント／症例 2

座長　馬場俊輔（大歯大）

O2-12　フルアーチデジタル印象の真度を向上するためのスキャン補助デバイスの開発
○枡　澪那，三田　稔，田中晋平，三好敬太，馬場一美
（昭和大学歯科補綴学講座）

O2-13　湿潤状態での過剰な締結トルクが補綴用スクリューの破折に及ぼす影響
○林　美佑[1)]，片岡　有[2)]，佐藤裕二[1)]，古屋純一[1)]，大澤紅淡子[1)]，磯部明夫[1)]，志羽宏基[1)]，柴田　陽[2)]
([1)] 昭和大学歯学部高齢者歯科学講座，[2)] 昭和大学歯学部歯科保存学講座歯科理工学部門）

O2-14　4Y-PSZ を用いボーンアンカードブリッジによるインプラント治療 症例報告
○新見大輔[1)]，吉岡　凜[1)]，相澤真奈美[1)]，冨田里緒[1)]，萩原大子[1)]，前野美香[1)]，桝谷隆夫[1)]，内倉慶一朗[2)]，永田浩司[2)]
([1)] 東京支部，[2)] 東京医科歯科大学生体補綴歯科学分野）

■ 13：40 ～ 14：10　一般口演 14　クラウンブリッジ 1

座長　五味治徳（日歯大）

O2-15　アルミナブラスティング後のリン酸清掃が CAD/CAM ブロックの接着性に及ぼす影響
○吉田圭一[1)]，澤瀬　隆[2)]
([1)] 長崎大学病院保存・補綴歯科冠補綴治療室，[2)] 長崎大学生命医療学域口腔インプラント学分野）

O2-16　ジルコニアクラウンとその対合歯の生存率とその関連因子の検証
○後藤　碧[1)]，大木郷資[1)]，古谷野　潔[2)]，鮎川保則[1)]
([1)] 九州大学大学院歯学府口腔機能修復学講座クラウンブリッジ補綴学分野，[2)] 九州大学大学院歯学府歯科先端医療評価・開発学講座）

O2-17　唾液汚染除去剤処理が大臼歯 CAD/CAM 冠の予後に与える影響
○小嶺　亮[1)]，高江洲　雄[1)]，山口雄一郎[1)]，藤本啓貴[1)]，横山彰大[1)]，山田浩貴[1)]，木屋涼介[1)]，杉本太郎[2)]，松浦尚志[1)]
([1)] 福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野，[2)] 福岡歯科大学医科歯科総合病院中央技工室）

■ 14：10 〜 14：40　一般口演 15　クラウンブリッジ 2

座長　石垣尚一（大阪大）

O2-18　研磨，研削，サンドブラスト処理がジルコニアの結晶構造および残留応力に及ぼす影響
○宍戸駿一[1)]，稲垣亮一[2)]，菅野太郎[1)]
([1)] 東北大学大学院歯学研究科先端フリーラジカル制御学共同研究講座，[2)] 東北大学大学院歯学研究科）

O2-19　混合組成積層型ジルコニアブリッジの焼結ひずみ　－積層構成と垂直的加工領域の影響－
○平野瑞穂，野本俊太郎，露木　悠，酒井貴徳，四ツ谷　護，久永竜一，関根秀志
（東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座）

O2-20　スピードシンタリングは多層構造ジルコニアの機械的性質に影響する
○石田祥己[1)]，渡邊　慧[2)]，三浦大輔[1)]，新谷明一[1,3)]
([1)] 日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座，[2)] 日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第２講座，[3)] トゥルク大学歯科補綴生体材料学講座）

7月16日（土），7月17日（日）

■ポスター討論

演題番号末尾が奇数の演題 7 月 16 日（土）12：00 ～ 13：00,
偶数の演題 7 月 17 日（日）12：00 ～ 13：00

[ポスター会場]

■ポスター発表　有床義歯

P-1　義歯装着後の咀嚼機能に影響する因子の予測
○冨士岳志[1)]，羽鳥弘毅[2)]，中本哲自[3)]，樋口大輔[4)]，配島弘之[1)]
([1)] 松本歯科大学地域連携歯科学講座，[2)] 奥羽大学歯科補綴学講座，[3)] 朝日大学口腔病態医療学講座インプラント学分野，[4)] 松本歯科大学歯科補綴学講座）

P-2　シリコーン系適合試験材の適合結果の評価
○佐藤　純，伏島歩登志
（株式会社ジーシー 研究所）

P-3　部分床義歯フレームワークの鋳造用パターンの精度に及ぼすサポート材の密度の影響
○塩沢真穂[1)]，山本大華[2)]，大木明子[3)]
([1)] 東京医科歯科大学大学院口腔機能再建工学分野，[2)] 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻，[3)] 東京医科歯科大学大学院口腔基礎工学分野）

P-4　サーマルサイクルがウレタン系軟質リライン材の機械的性質に及ぼす影響
○門川明彦[1)]，嶺崎良人[1)]，河野博史[2)]，村口浩一[1)]，村原貞昭[1)]，杉本恭子[1)]，上之段麻美[1)]，甫立香菜子[1)]，南　弘之[1)]
([1)] 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科咬合機能補綴学分野，[2)] 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科生体材料学分野）

P-5　人工歯の保持孔形態が義歯床用熱可塑性樹脂との結合力に与える影響
○髙草木謙介，村上奈津子，和田淳一郎，笠井大平，松野　瞳，山崎俊輝，長山富治，谷田部　優，若林則幸
（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体補綴歯科学分野）

P-6　歯科訪問診療用ポータブルユニットの水質管理におけるフラッシングの有効性
○伏見国拡，渡辺　隼，山田将博，江草　宏
（東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野）

P-7　ミリング法を用いて製作された複製義歯の精度検証
○豆野智昭[1)]，黒川元宏[2)]，岡田佳恵[1)]，池邉一典[1)]
([1)] 大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野，[2)] 関西支部）

P-8　デジタルパーシャルデンチャー　－口腔内スキャニングとオルタードキャスト法の応用－
○飯田雄太[1)]，亀田行雄[2)]，田坂彰規[3)]，山下秀一郎[3)]
([1)] 中国・四国支部，[2)] 東関東支部，[3)] 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座）

P-9　横ずれ方向の外力に対する磁性アタッチメントの抵抗力
○高橋正敏，髙田雄京
（東北大学大学院歯学研究科歯科生体材料学分野）

P-10　3D プリント全部床義歯の臨床評価　クロスオーバースタディによる無作為化臨床試験
○溝越　眺[1)]，新保秀仁[1)]，武山丈徹[1)]，大久保力廣[1)]，金澤　学[2)]，秋山　洋[2)]，大竹涼介[2)]，副田弓夏[2)]，羽田多麻木[2)]，駒ヶ嶺友梨子[2)]，岩城麻衣子[2)]，水口俊介[2)]
([1)] 鶴見大学歯学部，[2)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）

P-11　市販口腔保湿剤の選択ならびに管理に関する研究
○村上　格[1)]，駒走彩良[2)]，小野草太[2)]，原田佳枝[2)]，西　恭宏[2)]，西村正宏[2)]
([1)] 鹿児島大学病院義歯インプラント科，[2)] 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野）

P-12　歯科用 CBCT による無歯顎顎堤粘膜の印象法に関する研究
○アルカッサブ バッシャール，アルタアイ ウダイ，須藤真行，玉置勝司
（神奈川歯科大学総合歯科学講座顎咬合機能回復分野）

P-13　無歯顎高齢者における全部床義歯装着が歩行運動時の頭部の安定に及ぼす影響
○清水健登[1)]，鈴木啓之[1)]，柳原有依子[1)]，磯山直也[2)]，金澤　学[3)]，駒ヶ嶺友梨子[1)]，濵　洋平[1)]，添田ひとみ[1)]，宮安杏奈[1)]，守澤正幸[4)]，水口俊介[1)]
([1)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野，[2)] 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科情報科学領域，[3)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔デジタルプロセス学分野，[4)] 東関東支部）

P-14　口唇裂口蓋裂患者において二次的骨移植が補綴歯科治療の有無に及ぼす影響
○森田章子，権田知也，豊田理紗，濱田　匠，池邉一典
（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野）

P-15　下顎腫瘍切除後の顎欠損における金属床顎義歯作製にデジタル技術を応用した症例
○服部麻里子[1)]，山谷雄一[2)]，隅田由香[1)]
([1)] 東京医科歯科大学病院顎顔面補綴外来，[2)] 東京医科歯科大学病院歯科技工部）

P-16　超音波洗浄器と義歯洗浄剤の併用における洗浄水温度と微生物除去効果
○西　恭宏[1)]，山下裕輔[1)]，村上　格[2)]，西村正宏[1)]
([1)] 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野，[2)] 鹿児島大学病院成人系歯科センター義歯インプラント科）

P-17　回復期病棟にて有床義歯治療と言語聴覚士の摂食嚥下リハを行った脳卒中症例集積研究
○尾﨑研一郎[1,2)]，寺中　智[1,3)]，河合陽介[1,2)]，水口俊介[3)]
([1)] 足利赤十字病院リハビリテーション科，[2)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野，[3)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野）

P-18　義歯装着の有無における水ようかんの食感を表現するオノマトペの調査
○吉川由華，田中順子，河野　亘，鳥井克典，覺道昌樹，安井由香，松尾信至，谷口晃平，柏木宏介
（大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座）

P-19　咀嚼音を嚥下まで連続で音響解析する新しい咀嚼検査法の開発
○樽川　禅[1)]，鈴木亜沙子[2)]，古賀麻奈花[2)]，伊藤誠康[2)]，堀畑　聡[3)]，河相安彦[2)]
([1)] 日本大学大学院松戸歯学研究科有床義歯補綴学専攻，[2)] 日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座，[3)] 日本大学松戸歯学部教養学（数理科学）講座）

P-20　岡山大学病院 夢の会話プロジェクト外来における構音障害患者への実態調査
○松岸　諒[1)]，兒玉直紀[1)]，古寺寛志[1)]，長塚弘亮[2)]，佐藤匡晃[3)]，川上滋央[4)]，美甘　真[4)]，洲脇道弘[4)]，田中祐貴[1)]，北川佳祐[1)]，足立れいみ[1)]，市川知香[1)]，山田蘭子[1)]，皆木省吾[1)]
([1)] 岡山大学学術研究院医歯薬学域咬合・有床義歯補綴学分野，[2)] 関西支部，[3)] 東京支部，[4)] 中国・四国支部）

P-21　臼歯部遊離端欠損の支台歯に加わる咬合力に及ぼす義歯装着の影響
○狩野剛志[1)]，権田知也[1)]，戸川　瞳[2)]，濱田　匠[1)]，豊田理紗[1)]，小野高裕[2)]，池邉一典[1)]
([1)] 大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野，[2)] 新潟大学医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野）

P-22　非接触型三次元形状計測装置を用いた顔面計測法の検討
○渡會侑子，浅沼直樹，水橋　史
（日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第 1 講座）

P-23　フルアーチ連結型人工歯を用いた総義歯製作における作業効率について
○生田龍平，渡辺宣孝，前畑　香，藤原　基，須藤真行，ゴン インファ，平澤滋康，玉置勝司
（神奈川歯科大学総合歯科学講座）

P-24　陶歯または硬質レジン歯を用いた全部床義歯における口腔関連 QOL の比較
○古玉明日香[1)]，山田　怜[1)]，岩田　航[1)]，野川敏史[2)]，村島直道[1)]，高山芳幸[1)]，齋藤正恭[1)]，藤井法博[3)]，佐藤浩一[3)]，吉本龍一[3)]，横山敦郎[1)]
（[1)] 北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学講座口腔機能補綴学教室，[2)] 北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野予防歯科学教室，[3)] 株式会社松風研究開発部）

P-25　総義歯製作における人工歯排列の水平面的アーチの決定に関する研究
○前畑　香[1)]，小松俊司[1)]，渡辺宣孝[1)]，一色ゆかり[2)]，玉置勝司[1)]
（[1)] 神奈川歯科大学顎咬合機能回復分野，[2)] 神奈川歯科大学歯科補綴学講座有床義歯補綴学分野）

P-26　半焼結コバルトクロム合金ディスクを用いて製作したクラスプの精確さの検証
○加藤雄人[1)]，田坂彰規[1)]，鵜澤　忍[2,3)]，山下秀一郎[1)]
（[1)] 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座，[2)] 株式会社リアリティ・デンタル・ラボラトリー，[3)] 東京支部）

P-27　総義歯装着者の欠損部顎堤形態が咀嚼能力に及ぼす影響
○サンタ マリア マリアテリス ブランチェ オルテイズ[1,2)]，長谷川陽子[1)]，マリト ピンタ[1,3)]，善本　佑[1)]，サラザール サイモン[4)]，堀　一浩[1)]，小野高裕[1)]
（[1)] 新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野，[2)] マニラセントラル大学歯科補綴学講座，[3)] インドネシア大学歯科補綴学講座，[4)] セントロエスコーラ大学歯科補綴学講座）

P-28　噛みしめ強度が口腔内スキャナーを用いた顎間関係記録に及ぼす影響
○西根万純，小林　裕，伊東紘世，和達重郎，田坂彰規，山下秀一郎
（東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座）

P-29　歯科用 CBCT による無歯顎顎堤粘膜の印象精度に関する研究
○アルタアイ ウダイ，アルカッサブ バッシャール，須藤真行，玉置勝司
（神奈川歯科大学顎咬合機能回復分野）

P-30　デジタル全部床義歯の臨床研究に関する systematic review
○駒ヶ嶺友梨子[1)]，金澤　学[2)]，Namano Shaprom[1)]，Qi Keyu[1)]，Bui Ngoc Huyen Trang[1)]，Khin Pyae Sone[1)]，水口俊介[1)]
（[1)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野，[2)] 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔デジタルプロセス学分野）

P-31　当院における可撤性義歯患者の臨床的検討
○濱田直光（九州支部）

■ポスター発表　クラウンブリッジ

P-32　支台歯のマージン部稜線化処理による CAD/CAM クラウンの適合性の改善
○島岡　諒，佐藤正樹，鳥井克典，谷　優弥，堀　圭佑，田中順子，柏木宏介
（大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座）

P-33　前歯 CAD/CAM 冠の予後に関する後ろ向き研究
○山田浩貴[1)]，山口雄一郎[1)]，髙江洲　雄[1)]，一志恒太[2)]，小嶺　亮[1)]，新藤弘海[1)]，山田和彦[3)]，米田雅裕[3)]，松浦尚志[1)]
（[1)] 福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野，[2)] 福岡歯科大学医科歯科総合病院中央技工室，[3)] 福岡歯科大学総合歯科学講座総合歯科学分野）

P-34　レジンセメントの色調による CAD/CAM 冠審美性への影響に関する評価
○天野翔太，伏島歩登志
（株式会社ジーシー研究所）

P-35　スピードシンタリングにより製作したモノリシックジルコニアクラウンの色調評価
○三浦賞子[1)]，新谷明一[2)]，藤澤政紀[1)]
（[1)] 明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野，[2)] 日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座）

P-36　二ケイ酸リチウムブロックの切削加工時に生じるマイクロクラックの評価
○小野寺瑞穂，東　利彦，伏島歩登志
（株式会社ジーシー）

P-37　前歯部用コンポジットレジンクラウンの色調は支台歯色に影響される
○藤田崇史，三浦賞子，塚田翔平，勅使河原大輔，今村嘉希，浅見和哉，小山志保，藤澤政紀
（明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野）

P-38　歯冠色 PEEK 材の研磨方法の検討
○加藤真康[1)]，安部倉　仁[1)]，西尾文子[1)]，木村仁美[1)]，横井美有希[1)]，香川和子[1)]，堂脇一朗[2)]，森田晃司[1)]，津賀一弘[1)]
（[1)] 広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学研究室，[2)] 中国・四国支部）

P-39　超高透光性 6Y-PSZ の諸物性評価
○野中和理，寺前充司
（株式会社松風研究開発部）

P-40　高透光性ジルコニアの厚さの違いによる背景遮蔽効果
○塚田翔平，三浦賞子，藤田崇史，前田拓郎，磯貝知範，井口　将，藤澤政紀
（明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野）

P-41　大臼歯 PEEK クラウン装着から 2 年経過した 8 症例
○横井美有希，安部倉　仁，香川和子，西尾文子，木村仁美，梅原華子，沖　佳史，土井一矢，森田晃司，津賀一弘
（広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学教室）

P-42　エッジロス推定復元技術を利用して製作したジルコニアコーピングの適合精度評価
○髙田　朝[1)]，井上智之[1)]，吉本龍一[1)]，山本　眞[2)]
（[1)] 株式会社松風研究開発部，[2)] 有限会社山本セラミスト）

P-43　2 種類の歯科用フェイススキャナーを用いて測定した顔面標点間距離の比較
○糸田昌平，佐藤正樹，藤井孝政，篠﨑百合絵，山本真由，田中順子，柏木宏介
（大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座）

P-44　臼歯部 CAD/CAM インレーの適合性に関する基礎的研究
○浅水啓輔[1,2)]，小川　徹[1)]，佐々木啓一[1)]
（[1)] 東北大学大学院歯学研究科・歯学部口腔システム補綴学分野，[2)] 東一歯研）

P-45　液槽光重合用レジンとジルコニア粉末混合物の硬化厚み特性について
○上田康夫，范　斯佳，山口泰彦
（北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野冠橋義歯補綴学教室）

P-46　多層構造ジルコニアのグレージング後の衝撃強さ
○渡邊　慧[1)]，新谷明一[2,3)]，八田みのり[1)]，藤島　伸[1)]，石田祥己[2)]，三浦大輔[2)]，五味治徳[1)]
（[1)] 日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第２講座，[2)] 日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座，[3)] トゥルク大学歯科補綴生体材料学講座）

P-47　新規開発「セラスマート レイヤー MO シェード」におけるメタルコア遮蔽性
○永冨祐介，伏島歩登志
（株式会社ジーシー研究所）

P-48　新規切削加工用ポリカーボネートディスクの耐久性
○岩本孝樹，加藤喬大，山添正稔
（YAMAKIN 株式会社開発部）

P-49　各種樹脂系補綴材料に対する歯科表面滑沢硬化材「Nu:le コート」の接着について
○加藤喬大，山添正稔
（YAMAKIN 株式会社開発部）

P-50　最終補綴装置に用いる CAD/CAM 用高分子系材料の耐摩耗性
○小島勘太郎，木原琢也，井川知子，佐野史香，重田優子，重本修伺，小川　匠
（鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座）

P-51　光学特性の解析による歯肉の質に関する新たな評価方法の構築
○田宮紳吾[1)]，若林一道[1)]，大住雅之[2)]，工藤博貴[1)]，西山貴浩[1)]，姫　芳芳[1)]，王　展越[1)]，田中美裕[1)]，中村隆志[3)]，石垣尚一[1)]
（[1)] 大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野，[2)] オフィス・カラーサイエンス，[3)] 大手前短期大学歯科衛生学科）

P-52　咬合力が口腔内スキャナーによる光学咬合採得の精度に与える影響
○岡本真実，田邉憲昌，深澤翔太，金村清孝，鬼原英道，近藤尚知
（岩手医科大学補綴・インプラント学講座）

P-53　金属アレルギーによる乾癬の病態維持・増悪機序の探索
○高岡由梨那[1)]，秋葉陽介[1)]，江口香里[1)]，秋葉奈美[1)]，長澤麻沙子[1)]，高　永和[2)]，魚島勝美[1)]
（[1)] 新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野，[2)] 関西支部）

■ポスター発表　インプラント

P-54　アバットメントにモノリシック修復物を接着したスクリュー固定式上部構造の破壊強度
○高野了己[1)]，本田順一[1,2)]，小林達朗[1)]，塩野英昭[1)]，藤井　宏[1)]，庄司喜則[3)]，八木庸行[3)]，松村英雄[1)]，小峰　太[1,2)]
（[1)] 日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座，[2)] 日本大学歯学部総合歯学研究所高度先端医療研究部門，[3)] 東海支部）

P-55　アメロジェニンのコーティングがインプラント周囲の硬組織及び歯周組織に与える影響
○馬　琳[1)]，小正　聡[1)]，王　欣[1)]，林　莉菜[1)]，小正知里[1)]，楠本哲次[2)]，西崎　宏[2)]，岡崎定司[1)]
（[1)] 大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座，[2)] 大阪歯科大学医療保健学部）

P-56　保形軟化食品の口腔インプラント術後食としての応用
○縄稚久美子[1,3)]，黒﨑陽子[1,2)]，大野　彩[1,2)]，三野卓哉[1,3)]，前川賢治[1,3)]，窪木拓男[1,3)]
（[1)] 岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門，[2)] 岡山大学病院新医療研究開発センター，[3)] 岡山大学学術研究院・医歯薬学域インプラント再生補綴学分野）

P-57　酸化チタンナノチューブの生体適合性材料としての応用
○王　欣[1)]，小正　聡[1)]，西田尚敬[2)]，Sifan Yan[1)]，Yuhao Zeng[1)]，馬　琳[1)]，林　莉菜[1)]，関野　徹[2)]，岡崎定司[1)]
（[1)] 大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合講座，[2)] 大阪大学産業科学研究所先端ハード材料研究分野）

P-58　口腔内スキャナーを活用したインプラント咬合負荷解析用 3 次元有限要素モデルの構築
○ Roxana Stegaroiu[1)]，黒川孝一[1)]，荒井良明[2)]，山崎裕太[2)]，田中茂雄[3)]
（[1)] 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学講座，[2)] 新潟大学医歯学総合病院顎口腔インプラント治療部，[3)] 金沢大学理工研究域フロンティア工学系）

P-59　脱灰骨抽出物中の骨再生誘導に関与する生理活性物質の特性
○齊藤　悠[1,2)]，白井麻衣[1)]，大久保力廣[1)]
（[1)] 鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座，[2)] 鶴見大学歯学部分子生化学講座）

P-60　口腔内スキャナーによる位置再現精度に関する検討
○深澤翔太，安部　道，夏堀礼二，千葉豊和，田邉憲昌，鬼原英道，近藤尚知
（岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座）

P-61　インプラント支持型固定性補綴装置の対合歯の喪失傾向分析 : 追跡期間 10-15 年
○小田由香里[1)]，牧野将大[1)]，四ツ谷　護[2)]，武田孝之[1)]，関根秀志[2)]
（[1)] 東京歯科大学口腔インプラント学講座，[2)] 東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座）

■ポスター発表　ニューロサイエンス

P-62　現在歯数と歯周炎の交互作用が脳形態変化に与える影響　大迫研究における縦断 MRI 解析
○山口哲史[1)]，小宮山貴将[1)]，大井　孝[1,2)]，村上任尚[1,3)]，佐藤倫広[3)]，沼崎貴子[1)]，三好慶忠[1)]，遠藤耕生[1)]，山田　唱[1)]，目時弘仁[3)]，大久保孝義[4)]，服部佳功[1)]
([1)] 東北大学大学院歯学研究科加齢歯科学分野，[2)] 石巻赤十字病院歯科，[3)] 東北医科薬科大学医学部衛生学・公衆衛生学教室，[4)] 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

P-63　機械学習の応用による睡眠時筋電図波形のブラキシズム／非ブラキシズム識別の試み
○三木春奈[1,3)]，長崎光弘[2)]，ホアン　ディンロック[1)]，水口　一[3)]，西村多寿子[2)]，峯松信明[2)]，窪木拓男[1,3)]
([1)] 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野，[2)] 東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻，[3)] 岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門）

P-64　徳島大学病院における歯科用金属アレルギー患者の臨床統計学的検討
○田島登誉子[1)]，細木真紀[1)]，井上美穂[1)]，小澤　彩[1)]，新開瑞希[1)]，宮城麻友[1)]，成谷美緒[2)]，大島正充[1)]，杉尾隆夫[3)]，山本伊一郎[4)]，松香芳三[1)]
([1)] 徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野，[2)] 中国・四国支部，[3)] 九州支部，[4)] 関西支部）

P-65　中高年世代の睡眠時ブラキシズムと閉塞性睡眠時無呼吸の関係
○豊田理紗[1,2)]，池邉一典[1)]，加藤隆史[2)]
([1)] 大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野，[2)] 大阪大学大学院歯学研究科高次脳機能学講座口腔生理学教室）

P-66　咬合挙上が前頭前野の血流に及ぼす影響
○本間優太[1)]，大野晃教[1)]，熊坂知就[1)]，堀　紀雄[1,2)]，星　憲幸[1)]，木本克彦[1)]
([1)] 神奈川歯科大学大学院歯学研究科歯科補綴学講座クラウンブリッジ補綴学分野，[2)] 東関東支部）

P-67　睡眠時ブラキシズム患者特異的 iPS 細胞から分化誘導した神経細胞の電気生理学的特性
○佐藤太朗[1)]，中井健人[1)]，Avijite Sarkar[1)]，安部友佳[1)]，志賀孝宏[4)]，安原理佳[3)]，中村史朗[2)]，帆足有理恵[1)]，辰本将司[5)]，石川裕恵[5)]，郷　康宏[5)]，美島健二[3)]，井上富雄[2)]，赤松和土[4)]，馬場一美[1)]
([1)] 昭和大学歯科補綴学講座，[2)] 昭和大学口腔生理学講座，[3)] 昭和大学口腔病態診断科学講座口腔病理学部門，[4)] 順天堂大学ゲノム・再生医療センター，[5)] 自然科学研究機構生命創生探求センター）

P-68　マウス若齢期の歯の喪失が認知機能ならびに大腿骨の骨強度に及ぼす影響
○畠山理恵，横井美有希，石田えり，大上博史，津賀一弘
（広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学）

P-69　覚醒時ブラキシズムの日内変動に関する検討
○吉田一央，飯田　崇，石井優貴，早川英利，神山裕名，西森秀太，増田　学，小見山　道
（日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学学座）

■ポスター発表　バイオロジー・バイオマテリアル

P-70　イオン徐放性アクリル常温重合レジンの長期酸緩衝能とイオン徐放能の検討
○森田　祥，加我公行，宮園祥爾，柴口　塊，山口雄一郎，松浦尚志
（福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野）

P-71　カンジダのバイオフィルム形成を阻害する光反応型 MPC コーティング材の効果と耐久性
○プトラウィギアント アディティアカリスナヨシ，岩脇有軌，後藤崇晴，石田雄一，市川哲雄
（徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野）

P-72　抗菌ガラス DL-7900 のカンジタ属菌に対する殺菌効果と義歯洗浄剤への応用
○若見昌信，内堀聡史，淺野　隆，吉崎　聡，鈴木浩司，加藤由佳子，渡辺　官，小林　平，小見山　道
（日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座）

P-73　顎骨および腸骨骨髄由来間葉系幹細胞の脂肪分化に伴うミトコンドリア機能の評価
○池田菜緒[1,2]，末廣史雄[2]，駒走尚大[2]，西村正宏[1]
([1]鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野，[2]鹿児島大学病院義歯インプラント科)

P-74　アルゴンプラズマ処理がナノ構造処理した純チタン金属表面の生体適合性に与える影響
○林　莉菜[1]，高尾誠二[1]，小正　聡[1]，馬　琳[1]，王　欣[1]，壷内治光[1]，楠本哲次[2]，岡崎定司[1]
([1]大阪歯科大学歯学部欠損歯列補綴咬合学講座，[2]大阪歯科大学医療保健学部)

P-75　関節円板部分切除によるマウス下顎頭軟骨の初期変化
○上川床俊彦[1]，四ツ谷　護[1]，黒田祥太[1]，川崎貴裕[1]，石束　叡[2]，山本将仁[3]，阿部伸一[3]，関根秀志[1]
([1]東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座，[2]東京歯科大学薬理学講座，[3]東京歯科大学解剖学講座)

P-76　軟質マウスガード材の改良（第四報）：EVA 材への強化繊維添加の衝撃吸収能への影響
○都合晋司, 阪上隆洋, 筒井　新, 松田祐明, 鈴木義弘, 紺野倫代, 高山和比古, 渋澤真美, 中島一憲, 武田友孝
(東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室)

P-77　PMMA にハイドロキシアパタイトを配合した新規義歯床用材料の創製
○田代悠一郎[1]，小正　聡[1]，松本卓巳[1]，三宅晃子[2]，内藤達志[1]，小正　裕[2]，岡崎定司[1]
([1]大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座，[2]大阪歯科大学医療保健学部)

P-78　アクリルレジンに付着した Candida albicans の除去方法に関する検討
○栗原里帆[1]，澤田智史[2]，下山　佑[3]，米澤紗織[1]，島田崇史[1]，水野穂奈美[1]，佐々木寧音[4]，富沢成美[4]，武本真治[2]，小林琢也[1]
([1]岩手医科大学補綴・インプラント学講座，[2]岩手医科大学医療工学講座，[3]岩手医科大学微生物学講座分子微生物学分野，[4]日機装株式会社メディカル事業本部)

P-79　親水性化純チタン金属表面への骨髄細胞およびタンパク質の初期挙動評価
○松本卓巳[1]，小正　聡[1]，田代悠一郎[1]，馬　琳[1]，王　欣[1]，内藤達志[1]，三宅晃子[2]，小正　裕[2]，岡崎定司[1]
([1]大阪歯科大学歯学部欠損歯列補綴咬合学講座，[2]大阪歯科大学医療保健学部)

P-80　ナノジルコニアへの Ultraviolet 処理が材料表面に与える影響について
○ヤン シファン，小正　聡，李　敏，高尾誠二，岡崎定司
(大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座)

P-81　純チタン金属表面へのアルゴンプラズマ照射の出力の違いが生体適合性に与える影響
○高尾誠二[1]，小正　聡[1]，林　莉菜[1]，壷内治光[1]，馬　琳[1]，王　欣[1]，楠本哲次[2]，上り口晃成[1]，岡崎定司[1]
([1]大阪歯科大学歯学部欠損歯列補綴咬合学講座，[2]大阪歯科大学医療保健学部)

P-82　高速焼成がジルコニアの透光性に与える影響に関するメタアナリシス
○劉　恒毅，猪越正直，許　開奇，中井啓人，水口俊介
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野)

P-83　フェムト秒レーザー処理が高透光性ジルコニアの表面粗さに与える影響
○許　開奇[1]，猪越正直[1]，吉原久美子[2]，劉　恒毅[1]，水口俊介[1]
([1]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野，[2]産業技術総合研究所健康医工学研究部門)

P-84　カーボンナノホーン修飾チタン上でのマクロファージの挙動と分極
○木村貞仁，平田恵理，前田由佳利，横山敦郎
(北海道大学大学院歯学研究院口腔機能補綴学教室)

P-85　リセドロネートはヒト間葉系幹細胞において PGRN の発現を誘導する
○谷岡慶輝[1]，峯　裕一[1]，牧平清超[2]，二川浩樹[3]，村山　長[1]
([1]広島大学大学院医系科学研究科歯学分野医療システム工学，[2]広島大学大学院医系科学研究科，[3]広島大学大学院医系科学研究科歯学分野口腔生物工学)

P-86　2 官能性エポキシ架橋剤を用いたコラーゲン系生体材料の自家調製
○星　美貴[1)]，平　雅之[2)]，澤田智史[2)]，畠山　航[1)]，八戸勇樹[1)]，髙藤恭子[1)]，鬼原英道[1)]，武本真治[2)]，近藤尚知[1)]
([1)] 岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座，[2)] 岩手医科大学医療工学講座）

P-87　Wnt/β-catenin シグナルが歯根膜細胞によるセメント質形成に及ぼす影響
○小野喜樹，加来　賢，土橋　梓，魚島勝美
（新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野）

■ポスター発表　口腔機能

P-88　口腔機能と身体の健康に関する研究　罹患型別での口腔機能と身体の健康との関連性
○野澤一郎太，藤原　基，平澤滋康，片岡加奈子，堤　一輝，葉山莉香，玉置勝司
（神奈川歯科大学総合歯科学講座）

P-89　Computerized Adaptive Test による咀嚼能力検査法の検討
○宇佐美博志，竹内一夫，木本　統
（愛知学院大学歯学部高齢者・在宅歯科医療学講座）

P-90　舌がん患者の外科的治療術前・後における舌圧と口腔機能との関連
○互野　亮[1,2,3)]，小山重人[1,2,3)]，白石　成[1,2,3)]，泉田一賢[1,2)]，小宮山貴将[1,4)]，佐藤奈央子[1,2,3)]，小川　徹[3)]，佐々木啓一[3)]
([1)] 東北大学病院嚥下治療センター，[2)] 東北大学病院顎顔面口腔再建治療部，[3)] 東北大学歯学研究科口腔システム補綴学分野，[4)] 東北大学歯学研究科加齢歯学分野）

P-91　マウスガードの装着がバドミントン選手の体幹へ与える影響
○粕谷昂生，渡邊　諒，杉浦有佳子，榊原　渓，足立ことの，山本寛明，岩堀正俊，都尾元宣
（朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科補綴学分野）

P-92　スポーツマウスガード装着が重心動揺に与える影響
○杉浦有佳子，山本寛明，粕谷昂生，榊原　渓，足立ことの，渡邊　諒，岩堀正俊，都尾元宣
（朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科補綴学分野）

P-93　臼歯 1 歯欠損側と非欠損側の咀嚼能力
○志賀　博[1)]，佐野眞子[1)]，石田鉄光[2)]，横山正起[1)]，上杉華子[1)]，小見野真梨恵[1)]，三輪雅彦[1)]，曽根崎利雅[1)]，中野幸夫[1)]，藤井重壽[1)]
([1)] 日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第 1 講座，[2)] 日本歯科大学附属病院総合診療科）

P-94　口腔関連 Quality Of Life に基づく口腔所見評価モデル開発の予備的検討
○山口摂崇[1)]，武田佳大[1)]，高橋尚人[2)]，山中大寛[1)]，越智守生[1)]
([1)] 北海道医療大学口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野，[2)] 札幌市立大学 AI ラボ）

P-95　口腔機能低下症と天然歯による臼歯部の咬合支持との関係
○齋藤　壮[1)]，眞田知基[2)]，堀部耕広[1)]，山田　淳[1,3)]，冨山雅史[3)]，竜　正大[1)]，上田貴之[1)]
([1)] 東京歯科大学老年歯科補綴学講座，[2)] 東京都，[3)] 東京支部）

P-96　閉塞性睡眠時無呼吸の重症度と顎下部領域の筋硬度変化率の関連性
○大楠弘通，槙原絵理，渡辺崇文，李　宙垣，八木まゆみ，有田正博，鱒見進一
（九州歯科大学口腔機能学講座顎口腔欠損再構築学分野）

P-97　糖尿病モデルマウスにおける咀嚼動態の相違が PEPCK の不活化に与える影響
○菅　悠希[1)]，石川啓延[1)]，豊下祥史[1)]，平塚翔太[1)]，髙田紗理[1)]，佐々木みづほ[1)]，川西克弥[1)]，伊東由紀夫[2)]，高崎英仁[2)]，安斎　隆[3)]，越野　寿[1)]
([1)] 北海道医療大学歯学部咬合再建補綴学分野，[2)] 東北・北海道支部，[3)] 東京支部）

P-98　舌圧低下の新規診断ツールの検証

○今村嘉希[1,2,3]，太田　緑[3,4]，金子いつか[5,6]，佐藤裕二[2]，藤澤政紀[1]，Frauke Müller[3]
([1] 明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野，[2] 昭和大学歯学部高齢者歯科学講座，[3] ジュネーブ大学補綴学講座，[4] 東京歯科大学老年歯科補綴学講座，[5] 日本歯科大学新潟生命歯学部先端研究センター，[6] ベルン大学補綴学講座)

P-99　睡眠時ブラキシズム患者の臨床所見　顎関節症患者および睡眠時無呼吸症候群患者との比較

○木村一誠[1]，山口泰彦[1]，三上紗季[2]，斎藤未來[1]，後藤田章人[2]，櫻井泰輔[3]，前田正名[3]，中島利徳[3]，齋藤大嗣[3]，町田友梨[3]，水野麻梨子[3]，山田恭子[3]，高橋　萌[1]，高橋奏多[1]，工藤　愛[1]，石丸智也[1]，上田康夫[1]
([1] 北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野冠橋義歯補綴学教室，[2] 北海道大学病院高次口腔医療センター顎関節治療部門，[3] 北海道大学病院冠橋義歯補綴科)

P-100　全部床義歯装着者における咬合高径と舌圧の関係に関する研究

○倉田　豊[1]，永田俊介[2]，鈴木亜沙子[3]，齋藤由貴[3]，五十嵐憲太郎[3]，佐藤佳奈美[3]，樽川　禅[1]，飯塚晃司[3]，伊藤誠康[3]，飯島守雄[3]，河相安彦[3]
([1] 日本大学大学院松戸歯学研究科有床義歯補綴学専攻，[2] 日本大学松戸歯学部歯科生体材料学講座，[3] 日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座)

P-101　高齢者の機能歯増加処置および栄養指導がフレイル改善に及ぼす可能性の検証

○玉置勝司[1]，西澤昭人[2]，田中直人[3]，飯島勝矢[4]，平野浩彦[5]，小原由紀[6]，遠又靖丈[7]，山本龍生[8]，加藤尊巳[9]
([1] 神奈川歯科大学顎咬合機能回復分野，[2] 座間市歯科医師会，[3] 鎌倉市歯科医師会，[4] 東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター，[5] 東京都健康長寿医療センター，[6] 東京都健康長寿医療センター研究所，[7] 神奈川県立保健福祉大学栄養学科，[8] 神奈川歯科大学健康科学講座社会歯科学分野，[9] 公益社団法人 神奈川県歯科医師会)

P-102　欠損様式と咀嚼能率および習慣性咀嚼側の関係

○髙橋優太朗[1]，森　隆浩[1]，春田　梓[1]，竹田智帆[1]，横井美有希[1]，平岡　綾[1]，丸山真理子[1]，森田晃司[1]，吉川峰加[1]，吉田光由[2]，守谷直史[3]，津賀一弘[1]
([1] 広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学研究室，[2] 藤田医科大学医学部歯科口腔外科学講座，[3] 九州支部)

P-103　Deep Learning によるマルチベンダー MRI 画像からの顎関節円板検出

○峯　裕一[1]，岡崎昌太[1]，吉見友希[2]，伊藤翔太[2]，谷本幸太郎[3]，村山　長[1]
([1] 広島大学大学院医系科学研究科歯学分野医療システム工学，[2] 広島大学病院口腔健康発育歯科矯正歯科，[3] 広島大学大学院医系科学研究科歯学分野歯科矯正学)

P-104　食品のかみにくさの自覚に関連する因子

○前田絵里紗，八田昂大，高橋利士，豆野智昭，福武元良，西村優一，室谷有紀，萩野弘将，辻岡義崇，東　孝太郎，明間すずな，三原佑介，和田誠大，前田芳信，池邉一典
(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)

P-105　臼歯部咬合支持の喪失と咀嚼能力との関連　—SONIC 研究 6 年間の縦断データより—

○東　孝太郎，八田昂大，高橋利士，豆野智昭，福武元良，西村優一，室谷有紀，萩野弘将，辻岡義崇，前田絵里紗，明間すずな，三原佑介，和田誠大，前田芳信，池邉一典
(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)

P-106　姿勢が咬合接触の安定性とバランスに及ぼす影響

○坂口　究[1]，丸山智章[2]，横山敦郎[1]
([1] 北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野口腔機能補綴学教室，[2] 茨城工業高等専門学校電気電子システム工学科)

P-107　口腔乾燥症患者の唾液量と唾液タンパク質との関係

○水橋　史[1]，森田貴雄[2]，戸谷収二[3]，浅沼直樹[1]，渡會侑子[1]，中谷佑哉[3]
([1] 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第 1 講座，[2] 日本歯科大学新潟生命歯学部生化学講座，[3] 日本歯科大学新潟病院口腔外科・口のかわき治療外来)

P-108　地域歯科医院来院患者の補綴歯科治療の難易度に関連する口腔機能の検討
○飯塚晃司[1)]，五十嵐憲太郎[1)]，目黒郁美[1)]，齋藤由貴[1)]，鈴木亜沙子[1)]，倉田　豊[2)]，鎌田征之[1)]，伊藤誠康[1)]，河相安彦[1)]
([1)]日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座，[2)]日本大学大学院松戸歯学研究科有床義歯補綴学専攻)

P-109　静電容量型感圧センサシートを用いた咬合力測定装置による咬合力の基準値の検討
○目黒郁美[1)]，五十嵐憲太郎[1,2)]，岩崎正則[2)]，釘宮嘉浩[2)]，伊藤誠康[1)]，河相安彦[1)]，渡邊　裕[2,3)]，平野浩彦[2)]
([1)]日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座，[2)]東京都健康長寿医療センター研究所，[3)]北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野高齢者歯科学教室)

P-110　機種の異なる携帯型筋電計における測定値の同等性の検討
○中島利徳[1)]，山口泰彦[2)]，三上紗季[3)]，斎藤未來[2)]，高橋奏多[2)]，石丸智也[2)]
([1)]北海道大学病院冠橋義歯補綴科，[2)]北海道大学歯学研究院冠橋義歯補綴学教室，[3)]北海道大学病院高次口腔医療センター顎関節治療部門)

P-111　身体運動時の咀嚼回数測定について　新規開発システムの運用
○中島一憲，阪上隆洋，筒井　新，都合晋司，島田　淳，佐藤武司，山崎　豪，河野克明，西野仁泰，武田友孝
(東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室)

P-112　骨代謝マーカーにビタミンK摂取量と口腔機能が与える影響
○中川（青沼）史子，近藤祐介，中村雅彦，野代知孝，宗政　翔，向坊太郎，正木千尋，細川隆司
(九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野)

P-113　嚥下機能に影響を及ぼす咀嚼関連因子の検出
○林　浩基[1)]，島田明子[1,2)]，楠　尊行[1)]，伊﨑克弥[1)]，松尾光至[1)]，髙橋一也[1)]
([1)]大阪歯科大学高齢者歯科学講座，[2)]長崎大学生命医科学域（歯学系）補綴歯科学分野)

P-114　要介護高齢者の腸内細菌叢と治療抵抗性低栄養および生命予後との関係
○大森　江[1,3)]，大野　彩[2,3)]，大野充昭[3,4)]，小山絵理[3)]，徳本佳奈[1)]，山本道代[5)]，三野卓哉[1,3)]，黒﨑陽子[2,3)]，中川晋輔[1,3)]，窪木拓男[1,3)]
([1)]岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野，[2)]岡山大学病院新医療研究開発センター，[3)]岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門，[4)]岡山大学学術研究院医歯薬学域分子医化学分野，[5)]中国・四国支部)

■ポスター発表　教育

P-115　歯科医師の診療および技工における感染意識の変化 － COVID-19 蔓延の影響－
○藤本けい子[1)]，水頭英樹[1)]，永尾　寛[1)]，市川哲雄[1)]，佐藤修斎[2)]
([1)]徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野，[2)]中国・四国支部)

P-116　学生模型実習用のフレームワーク製作における 3D プリンターの有用性
○清宮一秀[1)]，岩下英夫[2)]，山谷勝彦[1)]，薗部悠司郎[2)]，福山卓志[2)]，清水統太[2)]，濵野奈穂[2)]，宮本績輔[2)]，井野　智[2)]
([1)]神奈川歯科大学臨床科学系診療支援学講座歯科技工学分野，[2)]神奈川歯科大学臨床科学系歯科補綴学講座有床義歯補綴学分野)

P-117　歯科補綴学におけるアクティブラーニングの学修効果　反転授業と TBL，通常授業の比較
○大倉一夫，葉山莉香，大島正充，細木眞紀，鈴木善貴，宮城麻友，井上美穂，生田目大介，田島登誉子，吉原靖智，小澤　彩，新開瑞希，松香芳三
(徳島大学大学院顎機能咬合再建学分野)

P-118　遠隔反転授業は補綴臨床における問題解決能力の習得に有効か？
○稲用友佳[1)]，笛木賢治[1)]，河野英子[2)]，和田淳一郎[2)]，村上奈津子[2)]，髙市敦士[2)]，上野剛史[2)]，若林則幸[2)]
([1)]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野，[2)]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体補綴歯科学分野）

P-119　コロナ禍における老人介護施設での口腔栄養関連サービスに関する PBL 演習
○前田あずさ[1)]，縄稚久美子[1)]，兒玉直紀[2)]，萬田陽介[2)]，菊谷　武[3)]，窪木拓男[1)]
([1)]岡山大学学術研究院医歯薬学域インプラント再生補綴学分野，[2)]岡山大学学術研究院医歯薬学域咬合・有床義歯補綴学分野，[3)]日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）

P-120　歯科技工指示書作成教育に関する学生の意識調査
○松瀬智樹[1)]，川口智弘[1)]，吉田兼義[1)]，濵中一平[1)]，小柳進祐[2)]，中　四良[2)]，一志恒太[3)]，都築　尊[1)]
([1)]福岡歯科大学咬合修復学講座有床義歯学分野，[2)]九州支部，[3)]福岡歯科大学医科歯科総合病院中央技工室）

P-121　デジタル技工とアナログ技工を併用した歯冠補綴製作実習の取り組みとアンケート調査
○楠本哲次，樋口鎮央，錦織　良，首藤崇裕，藤田　暁
（大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科）

■ポスター発表　症例

P-122　インプラント除去後の高度顎堤吸収に対し早期の咬合回復と審美性の改善を図った症例
○鳴海史子[1)]，松本怜央[1)]，松本大慶[1)]，猪山佑香[1)]，内田茂則[1)]，松川高明[1)]，眞木信太郎[1)]，沼澤美詠[1)]，曽根峰世[1)]，岡本和彦[1,2)]，大川周治[3)]，藤澤政紀[4)]
([1)]明海大学歯学部機能保存回復学講座有床義歯補綴学分野，[2)]明海大学口腔保健学部，[3)]明海大学，[4)]明海大学歯学部機能保存回復学講座クラウンブリッジ補綴学分野）

P-123　バーチャル咬合器と CAD/CAM システムを利用し義歯の人工歯置換を行った症例
○岡本　信[1)]，安部　克[1)]，熊谷元希[1)]，坂本秀輝[1)]，岡本美々子[1)]，森　慎吾[1)]，守屋佳典[1)]，前田直人[1)]，洲脇道弘[1)]，沖　和広[1)]，西川悟郎[2)]，入江正郎[3)]，皆木省吾[4)]
([1)]中国・四国支部，[2)]岡山大学歯学部，[3)]岡山大学学術研究院医歯薬学域生体材料学分野，[4)]岡山大学学術研究院医歯薬学域咬合・有床義歯補綴学分野）

P-124　顔面計測値を利用してバーチャル咬合器にフェイスボウトランスファーを行った症例
○熊谷元希[1)]，岡本　信[1)]，安部　克[1)]，坂本秀輝[1)]，岡本美々子[1)]，井上誠太[1)]，北川佳祐[2)]，沖　和広[1)]，西川悟郎[3)]，皆木省吾[2)]
([1)]中国•四国支部，[2)]岡山大学学術研究院医歯薬学域咬合•有床義歯補綴学分野，[3)]岡山大学歯学部）

P-125　異常絞扼反射のある患者に対し静脈内鎮静下で処置を行った総義歯の一症例
○篠原綾乃，篠原直幸，永井伸生，廣瀬知二，伊東隆利
（九州支部）

P-126　新製した有床義歯装着者に客観的メンテナンス法を用いて維持管理を行った 1 症例
○秋山仁志[1)]，坂元麻衣子[1)]，竹井　潤[2)]
([1)]日本歯科大学附属病院総合診療科，[2)]日本歯科大学附属病院歯科技工室）

P-127　臼歯部 2 歯欠損に対して 4 ユニットモノリシックジルコニアブリッジにて対応した 2 症例
○加我公行[1)]，宮園祥爾[1)]，杉本太郎[2)]，山口雄一郎[1)]，松浦尚志[1)]
([1)]福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野，[2)]福岡歯科大学医科歯科総合病院中央技工室）

P-128　平行性の確保が困難な支台歯に対しジルコニアを用い半固定性ブリッジにて対応した症例
○一志恒太[1)]，髙江洲　雄[2)]，谷口祐介[3)]，松浦尚志[2)]，城戸寛史[1,3)]
([1)]福岡歯科大学医科歯科総合病院中央技工室，[2)]福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野，[3)]福岡歯科大学咬合修復学講座口腔インプラント学分野）

P-129　すれ違い咬合を無歯顎に置き換え咀嚼機能を回復させた一症例
○安藤浩二（東北・北海道支部）

P-130　自家歯牙移植後に補綴歯科治療を行った 20 症例
○覺道昌樹[1)]，今井美季子[2)]，中西　環[3)]，石川敬彬[3)]，辻　要[3)]，仲間ひとみ[4)]，小滝真也[5)]，鳥井克典[1)]，田中順子[1)]，糸田昌隆[2)]，井関富雄[3)]，柏木宏介[1)]
([1)] 大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座，[2)] 大阪歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科，[3)] 大阪歯科大学口腔外科学第一講座，[4)] 大阪歯科大学口腔治療学講座，[5)] 大阪歯科大学歯科放射線学講座）

P-131　デジタルティッシュスカルプティング：ポンティック基底面を決定する新規ワークフロー
○佐藤洋平[1)]，鈴木銀河[1)]，鶴岡　淳[1)]，漆原　優[1)]，井本弘子[2)]，石川恭敬[1)]，大久保力廣[1)]
([1)] 鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座，[2)] 西関東支部）

P-132　東京都立広尾病院における SARS-CoV-2 陽性患者に対する歯科治療経験
○田山秀策[1)]，武智小桃[1)]，茂木　将[1)]，砂野博美[2)]，小林達朗[2)]
([1)] 東京支部，[2)] 日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座）

P-133　複製義歯を応用して積層造形法による総義歯製作を行った一症例
○竜　正大[1)]，小林嵩史[1)]，栁澤光一郎[1,2)]，上田貴之[1)]
([1)] 東京歯科大学老年歯科補綴学講座，[2)] 関越支部）

P-134　著しい開口障害を生じた上顎欠損症例にデジタル技術を応用して顎義歯を製作した症例
○村瀬　舞，谷　皇子，隅田由香
（東京医科歯科大学病院顎顔面補綴外来）

P-135　矯正歯科治療と接着技法を応用した審美性回復の一症例
○大川友成[1)]，Matthias Kern[2)]，中村健太郎[3)]，山本司将[3)]
([1)]Organ Dental Technology Hamburg，[2)]Christian-Albrechts-Universität zu Kiel, Klinik für Zahnärztliche Prothetik.P.W.，[3)] 東海支部）

P-136　咬合性外傷を生じた上部構造に対し咬合力検査システムを用いて咬合調整を行った一症例
○西原　裕[1)]，中村祐輔[1)]，原田博行[1)]，中村健太郎[2)]，山本司将[2)]
([1)] 中国・四国支部，[2)] 東海支部）

P-137　ジルコニアカンチレバー接着ブリッジで審美性を回復した 2 年経過症例
○西岡　徹[1)]，松前　団[1)]，中村健太郎[2)]，山本司将[2)]
([1)] 関西支部，[2)] 東海支部）

P-138　セントラルベアリングトレーシングデバイスを応用して早期接触の診断を行った一症例
○田端和高[1)]，田邊計知[1)]，中村健太郎[2)]，山本司将[2)]
([1)] 関西支部，[2)] 東海支部）

P-139　演者の都合により，演題は取り下げられました.

P-140　早期接触治療にセントラルベアリングトレーシングデバイスを応用した一症例
○寺尾陽一，高藤　雅，中村健太郎，山本司将
（東海支部）

P-141　セントラルベアリングトレーシングデバイス機構を付与した治療用義歯による無歯顎症例
○森　圭右，高藤　雅，中村健太郎，山本司将
（東海支部）

P-142　下顎小臼歯先天性欠如に対しジルコニアカンチレバー接着ブリッジで補綴した一症例
○外城英史[1)]，松前　団[2)]，中村健太郎[3)]，山本司将[3)]
([1)] 中国・四国支部，[2)] 関西支部，[3)] 東海支部）

P-143　治療用義歯を用いて咀嚼運動終末位を指標とした咬合採得を行った 1 症例
○三ツ口武志，大原芳和，中村健太郎，山本司将
（東海支部）

P-144　シェーグレン症候群患者の咀嚼機能向上に治療用義歯を応用した全部床義歯症例
○後藤裕樹[1)]，中村祐輔[1)]，中村健太郎[2)]，山本司将[2)]
([1)] 中国・四国支部，[2)] 東海支部）

P-145　治療用義歯で得られた咀嚼運動終末位を最終補綴装置の顎間記録に応用した無歯顎者症例
○福田真之[1)]，西田昌平[2)]，中村健太郎[3)]，山本司将[3)]
([1)]東関東支部，[2)]関西支部，[3)]東海支部)

P-146　閉塞性睡眠時無呼吸用口腔内装置の長期使用による咬合に対する影響
○猪子芳美[1)]，清水公夫[1)]，岡田一哉[2)]，井田　泉[3)]
([1)]日本歯科大学新潟病院総合診療科，[2)]東北・北海道支部，[3)]関越支部)

P-147　口腔内スキャナーを用いた下顎頭吸収に伴う顎位の経時的変化の評価
○森岡詞音[1,2)]，高岡亮太[1,2)]，森口大輔[1,2)]，久山晃太郎[1,2)]，林　暁雨[1,2)]，植田　陽[1,2)]，山本梨絵[1,2)]，奥田眞夫[2)]，石垣尚一[1,2)]
([1)]大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野，[2)]関西支部)

P-148　咬合違和感症候群患者に対して，運動療法と咬合への介入により症状改善に至った 1 症例
○島田　淳，島田百子
(東京支部)

P-149　剪断能力と長期安定性を考慮した金属床義歯
○村上みなも，新保秀仁，武山丈徹，大久保力廣
(鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座)

P-150　咬合違和感症候群患者に漢方で対応した 1 症例　―漢方による症状の軽減に関する考察―
○仲井太心，島田　淳，渡辺秀司，藤原　基，片岡加奈子，玉置勝司
(神奈川歯科大学総合歯科学講座顎咬合機能回復分野)

P-151　レジンアレルギーのリスクと歯科治療における対応
○新開瑞希[1)]，細木真紀[1)]，鈴木善貴[1)]，田島登誉子[1)]，井上美穂[1)]，小澤　彩[1)]，吉原靖智[1)]，大島正充[1)]，織田英正[2)]，本田常晴[2)]，松香芳三[1)]
([1)]徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野，[2)]中国・四国支部)

P-152　重度咬耗を有する患者に対し機能性と審美性を回復した症例
○柴口　塊，松浦尚志
(福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野)

■ポスター発表　学会主導研究

P-153　認知症および軽度認知障害患者に関する医科歯科連携の意識調査：ECCO プロジェクト
○釘宮嘉浩[1)]，眞鍋雄太[2,11,12)]，笛木賢治[3,11)]，上田貴之[1)]，橋本　衛[4,12)]，白石　成[5,11)]，石川智久[6,12)]，内海久美子[7,12)]，稲用友佳[3,11)]，安部友佳[8)]，長島信太朗[2,11)]，井上　允[2,11)]，窪木拓男[9,11)]，木本克彦[2,11)]，佐々木啓一[5,11)]，池田　学[10,12)]，馬場一美[8)]
([1)]東京歯科大学，[2)]神奈川歯科大学，[3)]東京医科歯科大学，[4)]近畿大学，[5)]東北大学，[6)]荒尾こころの郷病院，[7)]砂川市立病院，[8)]昭和大学，[9)]岡山大学，[10)]大阪大学，[11)]認知症と口腔機能研究会，[12)]日本老年精神医学会)

P-154　認知機能と口腔機能の相関に関する医師・歯科医師アンケート：ECCO プロジェクト
○笛木賢治[1,12)]，眞鍋雄太[8,13)]，上田貴之[5)]，橋本　衛[10,13)]，釘宮嘉浩[5)]，白石　成[2,12)]，石川智久[9,13)]，内海久美子[11,13)]，稲用友佳[1,12)]，安部友佳[6)]，長島信太朗[3,12)]，井上　允[3,12)]，窪木拓男[4,12)]，木本克彦[3,12)]，佐々木啓一[2,12)]，池田　学[7,13)]，馬場一美[6)]
([1)]東京医科歯科大学咬合機能健康科学分野，[2)]東北大学口腔システム補綴学分野，[3)]神奈川歯科大学クラウンブリッジ補綴学分野，[4)]岡山大学インプラント再生補綴学分野，[5)]東京歯科大学老年歯科補綴学講座，[6)]昭和大学歯科補綴学講座，[7)]大阪大学精神医学教室，[8)]神奈川歯科大学認知症・高齢者総合内科，[9)]荒尾こころの郷病院，[10)]近畿大学精神神経科学教室，[11)]砂川市立病院，[12)]認知症と口腔機能研究会，[13)]日本老年精神医学会)

7月16日（土）[12F 特別会議場 / ホワイエ]

■専門医ケースプレゼンテーション審査

13：10 〜 13：40

専門医 1-1　主観的および客観的評価を用いた上下顎全部床義歯の症例
○竹内義真（日本大学歯学部総合歯科学分野）
専門医 1-2　上下顎の歯を多数抜歯した後に可撤性補綴装置を製作して咀嚼障害を改善した症例
○中島義雄（日本大学松戸歯学部附属病院有床義歯補綴学講座）
専門医 1-3　上下顎歯列欠損に対して金属床義歯を用いて咀嚼機能を回復した症例
○佐藤智哉（東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野）
専門医 1-4　下顎高度顎堤吸収に対しフレンジテクニックと軟質リライン材を応用した全部床義歯症例
○江越貴文（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野保存修復学部門）
専門医 1-5　高度な顎堤吸収を伴う下顎無歯顎患者にインプラントオーバーデンチャーを適応した症例
○大澤淡紅子（昭和大学歯学部高齢者歯科学講座）
専門医 1-6　下顎無歯顎患者へインプラントオーバーデンチャーを用いて QOL の改善を図った一例
○中川晋輔（岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門）
専門医 1-7　複数歯先天性欠如による未病に対してインプラント支持固定式補綴装置を施した症例
○森脇大善（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野）

13：45 〜 14：15

専門医 2-1　低位咬合を伴う顎機能障害患者に対し，顎運動検査を行い全顎的な補綴処置を行った症例
○石田晃裕（東京歯科大学老年歯科補綴学講座）
専門医 2-2　歯列骨格統合モデルを活用して多数歯先天性欠如による審美障害を改善した 1 症例
○福山卓志（神奈川歯科大学歯科補綴学講座有床義歯補綴学分野）
専門医 2-3　全顎的補綴治療により咬合平面の乱れを改善し咀嚼機能を回復した一症例
○萩野僚介（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野）
専門医 2-4　サブジンジバルカントゥアの付与により歯間乳頭を再建し，審美性を回復した一症例
○畔堂佑樹（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野）
専門医 2-5　オールセラミッククラウンとラミネートベニアを用いて変色歯の審美改善を行った症例
○小林友幸（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分）
専門医 2-6　上顎前歯部に対して補綴前処置後に審美的補綴治療を行った一症例
○水野圭一朗（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野）
専門医 2-7　顕著な骨呼吸を伴う欠損部に固定性インプラントを用いて機能回復を図った症例
○横山紗和子（昭和大学歯学部歯科補綴学講座）

14：20 〜 14：50

専門医 3-1　部分矯正を用いて咬合回復を図った症例
○大竹志保（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能健康科学分野）
専門医 3-2　咬耗症に対して咬合挙上を行い審美回復した症例
○森田晃司（広島大学医系科学研究科先端歯科補綴学）
専門医 3-3　重度歯周病患者に対して可撤性補綴装置による補綴歯科治療を行った一例
○鈴木翔平（日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第 2 講座）
専門医 3-4　下顎遊離端欠損に対してインプラント義歯により口腔機能を回復した症例
○土井一矢（広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学研究室）

専門医 3-5　上下顎臼歯部欠損に対しインプラント治療と延長ブリッジにより口腔機能を回復した症例
○勝田悠介（東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野）
専門医 3-6　金属アレルギー患者に対し，全顎的補綴修復を行った症例
○根本怜奈（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔機能再構築学講座咬合機能健康科学分野）
専門医 3-7　口唇口蓋裂の既往を有する患者に上顎全部床義歯を装着し咀嚼機能を改善した一症例
○松尾信至（大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座）

14：55 〜 15：25

専門医 4-1　デンチャースペースの減少を認める歯列に対しコーヌステレスコープ義歯で補綴した症例
○中井健人（昭和大学歯科補綴学講座）
専門医 4-2　鋏状咬合を伴う過蓋咬合に対して可撤性義歯により咬合再構成を行った症例
○秋葉奈美（新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野）
専門医 4-3　上顎多数歯欠損症例に対してブリッジと可撤性義歯を用いて咬合回復を行なった症例
○宮安杏奈（東京医科歯科大学高齢者歯科学分野）
専門医 4-4　部分床義歯を用いて顕著な骨隆起と咬合高径低下による咀嚼障害を回復した症例
○山口哲史（東北大学大学院歯学研究科加齢歯科学分野）
専門医 4-5　歯周病患者に対して可撤性ブリッジを用いた症例
○田中雅章（大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座）
専門医 4-6　類すれ違い咬合を呈する上顎前歯欠損にボーンアンカードブリッジで機能回復した 1 症例
○秋山謙太郎（岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門）
専門医 4-7　下顎骨区域切除後の咀嚼障害を部分床義歯で改善した症例
○北村　彩（日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座）

7 月 17 日（日）[12F 特別会議場 / ホワイエ]

■専門医ケースプレゼンテーション審査

9：00 〜 9：30

専門医 5-1　金属床義歯を用いた全顎的補綴処置にて審美障害・咀嚼障害を改善した一症例
○岩内洋太郎（昭和大学歯科補綴学講座）
専門医 5-2　複製義歯の応用により咀嚼障害を改善した無歯顎補綴の症例
○五十嵐憲太郎（日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座）
専門医 5-3　咬合高径の低下に対して全顎的な咬合再構成により咀嚼機能および審美性を回復した症例
○萱島浩輝（大阪大学大学院歯学研究科 クラウンブリッジ補綴学分野）
専門医 5-4　咬耗と欠損部の長期放置で生じた咬合高径の低下に対応した一症例
○中里友香理（昭和大学歯学部歯科補綴学講座）
専門医 5-5　重度歯質欠損した上顎前歯部に対して，補綴前処置によりフェルールを獲得した一症例
○森口大輔（大阪大学歯学部附属病院）
専門医 5-6　咬耗に対し補綴介入することで審美・機能を改善した 1 症例
○吉嵜太朗（東京支部，東京医科歯科大学高齢者歯科学分野）
専門医 5-7　上顎全部床義歯装着による味覚・咀嚼障害をインプラント体支持補綴装置で改善した症例
○大野充昭（岡山大学学術研究院医歯薬学域分子医化学分野，岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門）

9：35 〜 10：05

専門医 6-1　上顎顎欠損症例に義歯補綴処置を行った症例
○桑澤実希（昭和大学歯学部高齢者歯科学講座）
専門医 6-2　高度顎堤吸収と下顎隆起に対し複製義歯の応用と軟質リラインで対応した下顎無歯顎症例
○太田　緑（東京歯科大学老年歯科補綴学講座）
専門医 6-3　限られた臼歯部補綴スペースに対してインプラント治療を用いて口腔機能を回復した症例
○原田章生（東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野）
専門医 6-4　機能性反対咬合を有する患者に対して咀嚼機能および審美性の改善を図った 1 症例
○三浦千晶（日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座）
専門医 6-5　側方運動時の咬合様式に配慮して全顎的な補綴歯科治療を行った症例
○小田師巳（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野）
専門医 6-6　下顎偏位を伴う重度慢性歯周炎患者に咬合再構成した症例
○佐竹宣哲（中国・四国支部）
専門医 6-7　下顎遊離端欠損および中間欠損に対してインプラント義歯を用いて咬合を回復した 1 症例
○相原一慶（関西支部）

10：10 〜 10：40

専門医 7-1　咬合挙上が困難な患者へ固定式装置を使用し咀嚼障害の改善を図った症例
○高瀬一馬（九州支部）
専門医 7-2　犬歯誘導咬合付与によりインプラント義歯で改善させた咀嚼機能の長期維持を図った症例
○吉岡裕也（中国・四国支部）
専門医 7-3　臼歯欠損に起因する下顎偏位を認める過蓋咬合患者に対して咬合再構成を行った症例
○黒住琢磨（関西支部）
専門医 7-4　インプラント体撤去後に生じた咀嚼障害をインプラント体支持補綴装置にて改善した症例
○瀧口　悟（中国・四国支部）
専門医 7-5　下顎可撤性部分床義歯に異物感を示す患者にインプラント体支持補綴装置を適用した症例
○丸濵功太郎（中国・四国支部）
専門医 7-6　遊離端欠損に対して咬合支持の回復ならびに咬合平面の是正を行った一症例
○新川重彦（関西支部）
専門医 7-7　上下顎の大きさの差異が顕著な上顎前歯部欠損症例に対する全顎的補綴処置
○石田桂大（東北・北海道支部）

専門医ケースプレゼンテーションの申込から認定証交付まで

項　　目	全国学術大会、支部学術大会、専門医研修会共通
申込時に専門医多肢選択式筆記試験に合格していることが必須条件となる	
1．申込	学会事務局に様式9,9-2を送付（締切：該当学術大会、専門医研修会の演題締切日）
2．演題発表申込	大会指定様式にて担当校へ
3．申請様式を揃える	様式1（認定申請料（1万円）の払込受領証のコピーを貼付），様式2，3，4，5，6，6記載の論文の別刷あるいは発表の抄録のコピー，7，8（10症例分），様式11（発表日，発表学会，演題名，発表者名，所属を記入）歯科医師免許証のコピー，多肢選択式筆記試験合格通知書のコピー
4．申請様式の送付	3．に記載の申請様式全てとそのコピー2部（添付業績も含む）を添えて発表学術大会あるいは専門医研修会開催日の１ヵ月前までに学会事務局に送付
5．発表	当日は担当校の指示に従い，準備，発表，撤去を行う
6．発表後	様式10を，記載例を参考に作成し学会事務局に送付
7．審査	毎年4月，10月に開催される専門医認定委員会で認定審査を行う　※
8．審査結果の通知	学会事務局より審査結果を通知
9．症例論文の投稿	日本補綴歯科学会雑誌投稿規程を確認のうえ，症例論文を編集事務局まで送付
10．症例論文の査読	査読を受ける
11．症例論文の掲載の決定	査読後，掲載が決定されると掲載証明書を編集事務局より送付
12．専門医の登録	掲載証明書受領後，様式12（認定登録料3万円の払込受領証のコピー（所定の箇所に貼付）を学会事務局へ送付
13．認定証の交付	登録申請に基づき認定証を作成のうえ認定者に交付

※　審査前の申請締切日（毎年9月末と3月末）までに，５年以上継続している会員歴が必要.
その他，申請資格の詳細は，『専門医の申請方法』を参照のこと.

The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

July 15 (Fri.)

	Room 2	Room 3	Room 4	RIHGA Royal Hotel Osaka
	General Meeting Meeting of Japanese Association for Dental Science Specialist related committee seminar	Written Exam fo Specialists Clinical practice guideline committee seminar	Board Meeting Committee Branch Manager Meeting	Banquet
	(Onsite & Live-streaming) 10F Room 1003	(Onsite) 10F Room 1001-1002	(Onsite) 10F Room 1008	3F Korin
10:00			Executive Board Meeting	
11:00			Board Meeting	
12:00			Committee	
13:00				
14:00	General Meeting Registration		Branch Manager Meeting	
		Administration Written Exam for Specialists		
15:00	General Meeting	Written Exam for Specialists		
16:00				
	Meeting of Japanese Association for Dental Science			
17:00	Specialist Related Committee Seminar Outline of specialist system, training institution and training system of Japan Prosthodontic Society aiming for Japanese dental specialty board accreditation	Clinical Practice Guideline Committee Seminar Infection control and sleep bruxism management that we should know		
18:00				
19:00				Banquet
20:00				
21:00				

The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

July 16 (Sat.)

	Room 1 (Onsite & Live-streaming) 5F Large Hall	Room 2 (Onsite & Live-streaming) 10F Conference Room 1003	Room 3 (Onsite) 10F Conference Room 1001-1002	Room 4 (Onsite) 10F Conference Room 1008	Room 5 (Onsite) 10F Conference Room 1009	Poster (Onsite) 5F Small Hall	Exhibition (Onsite & Virtual) 10F Conference Room 1004-1007/10F Foyer	Specialist Applicants Case Presentation (Onsite) 12F Conference Hall/12F Foyer
8:00						Set up poster		Set up poster
	Opening Ceremony							
9:00	Symposium 1 Biomaterials pave the way to the future of prosthodontics	Oral Presentation Competition 1 1～3	Symposium 2 The future of artificial intelligence in prosthetic dentistry	Hands-on Seminar 1-1 Skill up the magnetic attachment –laboratory and clinical procedure –	Hands-on Seminar 2-1 Practice of intraoral scanner Ver.4	Poster Presentation Exhibition	Exhibition	Poster Presentation Exhibition
10:00		Oral Presentation Competition 2 4～6						
11:00	Symposium 3 What can prosthodontic treatment improve in patients? Multifaceted evaluation of clinical outcomes	Oral Presentation Competition 3 7～9	Symposium 4 Introduction of systematic review in prosthodontics	Hands-on Seminar 1-2 Skill up the magnetic attachment –laboratory and clinical procedure –	Hands-on Seminar 2-2 Practice of intraoral scanner Ver.4			
12:00						Poster Discussion (odd number)		
13:00	Luncheon Seminar 1 Various clinical applications of unique intraoral scanners under increasing need for prosthodontics appliances	Luncheon Seminar 2 Clinical application of mouth rinse contained cethlypyridinium chloride in patients with removable denture	Luncheon Seminar 3 New national health insurance coverage " CAD/CAM inlay" Cementation and " Cerasmart HT shade" efficacy	Lunch & Learning New perspectives on prosthodontic medicine using single cell biology	Meet the Experts			
14:00	International Special Lecture The smile business formula	Clinical Lecture Series 1 Mastering removable partial prosthodontics design - What is the proper approach to enhance support and bracing? -	Oral Presentation 1 O1-1～O1-3	Hands-on Seminar 3-1 Dietary counselling after oral function assessment	Hands-on Seminar 4 Periodontal plastic surgery required for comprehensive prosthodontic treatment	Poster Presentation Exhibition		Specialist Applicants Case Examination 1-1 ～ 1-7
			Oral Presentation 2 O1-4～O1-7					Specialist Applicants Case Examination 2-1～2-7
			Oral Presentation 3 O1-8～O1-10					Specialist Applicants Case Examination 3-1～3-7
15:00		Clinical Lecture Series 2 Basic knowledge for prosthodontists regarding home-visit dental treatment	Oral Presentation 4 O1-11～O1-13					Specialist Applicants Case Examination 4-1～4-7
	Signing Ceremony		Oral Presentation 5 O1-14～O1-16	Hands-on Seminar 3-2 Dietary counselling after oral function assessment				
16:00	Main Symposium Towards the future of prosthodontics and dentistry		Oral Presentation 6 O1-17～O1-19					Poster Presentation Exhibition
			Oral Presentation 7 O1-20～O1-22					
17:00			Oral Presentation 8 O1-23～O1-24					
18:00	Evening Session 1 Current status and future prospects of prosthesis applying additive manufacturing	Evening Session 2 Zirconia reached the goal as a dental material? Or achieves the further development?	Evening Session 3 Potential of prosthodontics for oral hypofunction -Swallowing, articulation, and sleep breathing-	Evening Session 4 Prosthodontists-driven autotransplantation and tooth replantation from a scientific and clinical perspective	Evening Session 5 An attempt at removable partial denture using CAD/CAM technology			
19:00								

The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

July 17 (Sun.)

	Room 1 (Onsite & Live-streaming) 5F Large Hall	Room 2 (Onsite & Live-streaming) 10F Conference Room 1003	Room 3 (Onsite) 10F Conference Room 1001-1002	Room 4 (Onsite) 10F Conference Room 1008	Room 5 (Onsite) 10F Conference Room 1009	Poster (Onsite) 5F Small Hall	Exhibition (Onsite & Virtual) 10F Conference Room1004-1007/10F Foyer	Specialist Applicants Case Presentation (Onsite) 12F Conference Hall/12F Foyer
8:00								
9:00	Symposium 5 Reconsidering denture base resin. Can clinical prosthesis contributes to SDGs?	Clinical Lecture Series 3 Which prosthodontic interventions can be selected when the patients with dental implants lose their teeth?	Clinical Skill-up Seminar Essentials for the implant prosthesis	Hands-on Seminar 5 The box-joint technique for fully digital workflow in removable partial denture fabrication	Hands-on Seminar 6 The current concept of esthetic restorative treatment in laminate veneers	Poster Presentation Exhibition	Exhibition	Specialist Applicants Case Examination 5-1 ～ 5-7
10:00			Symposium 6 Clinical use of intraoral scanner					Specialist Applicants Case Examination 6-1 ～ 6-7
11:00	Special Lecture Oral function and eating behaviors in patients with dementia	Clinical Lecture Series 4 Knowledge and skills of magnetic attachment for prosthodontists						Specialist Applicants Case Examination 7-1 ～ 7-7
12:00	Luncheon Seminar 4 Resin cement systems for diversified prosthetic materials and methods	Luncheon Seminar 5 Guideline for use of denture adhesives	Luncheon Seminar 6 A new proposal to bruxism brought by wearable devices	Luncheon Seminar 7 Various and coordinated uses of the X-Guide®	Luncheon Seminar 8 Comprehensive treatment with digital technology Consideration for occlusal reconstruction using 3D digital technology	Poster Discussion (even number)		Poster Presentation Exhibition
13:00	Specialist Seminar Prosthodontists share solutions for the challenging prosthetic cases: Part 1; Eichner classification C1, severe residual ridge resorption, dysphagia rehabilitation	Dental Technician Session Challenges and prospects of zirconia prosthesis: the perspective from both of dentists and dental technicians	Oral Presentation 9 02-1 ～ 02-3 Oral Presentation 10 02-4 ～ 02-6		Oral Presentation 13 02-12 ～ 02-14 Oral Presentation 14 02-15 ～ 02-17	Poster Presentation Exhibition		
14:00		Dental Hygienists' Session What skills are needed for a dental hygienist for long-term maintenance of prostheses?	Oral Presentation 11 02-7 ～ 02-9 Oral Presentation 12 02-10 ～ 02-11		Oral Presentation 15 02-18 ～ 02-20	Remove poster		Remove poster
15:00								
	Closing Ceremony Award Ceremony							
16:00								
17:00								

The 131st Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

■ Special Lecture

July 17 (Sun.) Room 1　10：20 ～ 11：40

Oral function and eating behaviors in patients with dementia

Chairpersons：　Takuo Kuboki (Okayama University)
　　Kenji Fueki (Tokyo Medical and Dental University)
Speaker：　Manabu Ikeda (Japanese Psychogeriatric Society, President/Osaka University)

■ International Special Lecture

July 16 (Sat.) Room 1　13：10 ～ 14：40

The smile business formula

Chairpersons：　Takashi Sawase (Nagasaki University)
　　Ryuji Hosokawa (Kyushu Dental University)
Speaker：　Christian Coachman (Digital Smile Design)

■ Main Symposium

July 16 (Sat.) Room 1　15：50 ～ 17：50

Towards the future of prosthodontics and dentistry

Chairpersons：　Kenji Tsuchiya (Tokyo Branch/Society of Japan Clinical Dentistry)
　　Takashi Sawase (Nagasaki University)
Speakers：　Kazuyoshi Baba (Showa University)
　　Masao Yamazaki (Tokyo Branch/Society of Japan Clinical Dentistry)
　　Masaaki Honda (Kansai Branch/Society of Japan Clinical Dentistry)
　　Takuo Kuboki (Okayama University)

■ Symposium 1

July 16 (Sat.) Room 1　9：00 ～ 10：30

Biomaterials pave the way to the future of prosthodontics

Chairpersons：Yosuke Akiba (Niigata University)
Hiroshi Egusa (Tohoku University)
Speakers：Masakazu Kawashita (Tokyo Medical and Dental University)
Syuuhei Komatsu (Tokyo University of Science)
Chihiro Masaki (Kyushu Dental University)

■ Symposium 2

July 16 (Sat.) Room 3　9：00 ～ 10：30

The future of artificial intelligence in prosthetic dentistry

Chairpersons：Kazuhiro Tsuga (Hiroshima University)
Aya Kimura-Ono (Okayama University)
Speakers：Ryuichi Nakahara (Okayama University)
Yuriko Komagamine (Tokyo Medical and Dental University)
Yasushi Tamada (Nagasaki University)

■ Symposium 3

July 16 (Sat.) Room 1　10：40 ～ 12：10

What can prosthodontic treatment improve in patients?
Multifaceted evaluation of clinical outcomes

Chairpersons：Yoshizo Matsuka (Tokushima University)
Kazuhiro Hori (Niigata University)
Speakers：Takayuki Kosaka (Osaka University)
Masanori Iwasaki (Tokyo Branch)
Mariko Naito (Hiroshima University)

■ Symposium 4

July 16 (Sat.) Room 3　10：40 ～ 12：10

Introduction of systematic review in prosthodontics

Chairpersons：　Kenji Fueki (Tokyo Medical and Dental University)
Masanao Inokoshi (Tokyo Medical and Dental University)
Speakers：　Kenji Fueki (Tokyo Medical and Dental University)
Kenji Maekawa (Okayama University)
Atsushi Mine (Osaka University)

■ Symposium 5

July 17 (Sun.) Room 1　9：00 ～ 10：10

Reconsidering denture base resin. Can clinical prosthesis contributes to SDGs?

Chairpersons：　Takashi Tsuzuki (Fukuoka Dental College)
Hiroshi Murata (Nagasaki University)
Speakers：　Guang Hong (Tohoku University)
Tomohiro Kawaguchi (Fukuoka Dental College)
Tomotaro Nihei (Kanagawa Dental University)

■ Symposium 6

July 17 (Sun.) Room 3　10：10 ～ 11：40

Clinical use of intraoral scanner

Chairpersons：　Kazuhiro Hikita (Health Sciences University of Hokkaido)
Katsuhiko Kimoto (Kanagawa Dental University)
Speakers：　Katsuichiro Maruo (Tokyo Branch)
Hidetaka Sasaki (Es Dental Office)
Toshiyuki Kitamichi (Kitamichi Dental Clinic)

■ Specialist Related Committee Seminar

July 15 (Fri.) Room 2 17：00 ～ 18：30

Outline of specialist system, training institution and training system of Japan Prosthodontic Society aiming for Japanese dental specialty board accreditation

Chairperson： Satoshi Ino (Kanagawa Dental University)
Speakers： Yasuhiko Kawai (Nihon University School of Dentistry at Matsudo)
Katsuhiko Kimoto (Kanagawa Dental University)
Yasunori Ayukawa (Kyushu University)
Takuo Kuboki (Okayama University)

■ Clinical Practice Guideline Committee Seminar

July 15 (Fri.) Room 3 17：00 ～ 18：30

Infection control and sleep bruxism management that we should know

Chairpersons： Yoshizo Matsuka (Tokushima University)
Masanori Fujisawa (Meikai University)
Speakers： Hideki Aita (Health Sciences University of Hokkaido)
Hajime Minakuchi (Okayama University)
Taihiko Yamaguchi (Hokkaido University)

■ Clinical Skill-up Seminar

July 17 (Sun.) Room 3 9：00 ～ 9：50

Essentials for the implant prosthesis

Chairpersons： Ryuji Hosokawa (Kyushu Dental University)
Morio Ochi (Health Sciences University of Hokkaido)
Speakers： Yasunori Ayukawa (Kyushu University)
Daisuke Higuchi (Matsumoto Dental University)

■ Clinical Lecture Series 1

July 16 (Sat.) Room 2 13：10 ～ 14：40

Mastering removable partial prosthodontics design
- What is the proper approach to enhance support and bracing? -

Chairpersons： Shuichiro Yamashita (Tokyo Dental College)
Masaru Yatabe (Tokyo Branch)
Speakers： Jun Takebe (Aichi Gakuin University)
Mitsuo Kato (Tokyo Branch)
Isamu Aoki (Tokyo Branch/RISEAOKI Co.)

■ Clinical Lecture Series 2

July 16 (Sat.) Room 2 14：50 ～ 15：50

Basic knowledge for prosthodontists regarding home-visit dental treatment

Chairpersons： Hideki Aita (Health Sciences University of Hokkaido)
Junichi Furuya (Showa University)
Speakers： Masanao Inokoshi (Tokyo Medical and Dental University)
Ken Inohara (Chugoku & Shikoku Branch)

■ Clinical Lecture Series 3

July 17 (Sun.) Room 2 9：00 ～ 10：10

Which prosthodontic interventions can be selected when the patients with dental implants lose their teeth?

Chairpersons： Yoichiro Ogino (Kyushu University)
Masahiro Wada (Osaka University)
Speakers： Takeya Uchida (Nishi-kanto Branch)
Yusuke Kondo (Kyushu Dental University)
Kohji Nagata (Tokyo Medical and Dental University)

■ Clinical Lecture Series 4

July 17 (Sun.) Room 2 10：20 ～ 11：40

Knowledge and skills of magnetic attachment for prosthodontists

Chairpersons： Shuji Ohkawa (Meikai University)
Chikahiro Ohkubo (Tsurumi University)
Speakers： Masayuki Hideshima (Tokyo Medical and Dental University)
Tetsuo Ohyama (Nihon University)
Jyoji Tanaka (Higashi-kanto Branch)

■ Specialist Seminar

July 17 (Sun.) Room 1 13：00 ～ 15：00

**Prosthodontists share solutions for the challenging prosthetic cases: Part1;
Eichner classification C1, severe residual ridge resorption, dysphagia rehabilitation**

Chairpersons： Yasuhiko Kawai (Nihon University School of Dentistry at Matsudo)
Satoshi Ino (Kanagawa Dental University)
Speakers： Chikahiro Ohkubo (Tsurumi University)
Shin-ichi Masumi (Kyushu Dental University)
Takahiro Ono (Niigata University)

■ Dental Technician Session

July 17 (Sun.) Room 2 13：00 ～ 14：00

Challenges and prospects of zirconia prosthesis: the perspective from both of dentists and dental technicians

Chairpersons： Futoshi Komine (Nihon University)
Shoko Miura (Meikai University)
Speakers： Hisatomo Kondo (Iwate Medical University)
Tomonari Okawa (Tohkai Branch/Organ Dental Technology Hamburg)

■ Dental Hygienists' Session

July 17 (Sun.) Room 2 14：10 ～ 15：10

What skills are needed for a dental hygienist for long-term maintenance of prostheses?

Chairpersons： Hiroki Nikawa (Hiroshima University)
Jyoji Tanaka (Higashi-kanto Branch)
Speakers： Ritsuko Kawasaki (Hasegawa Dental Clinic)
Nobuko Kashiwai (HAG Creation Ltd.)

■ Hands-on Seminar 1

July 16 (Sat.) Room 4 9：00 ～ 10：30
Room 4 10：40 ～ 12：10

Skill up the magnetic attachment –laboratory and clinical procedure –

Instructor： Yasunori Suzuki (Tsurumi University)
Support Companies：J. MORITA CORP./KEDC CO., LTD./Kikutani Inc.

■ Hands-on Seminar 2

July 16 (Sat.) Room 5 9：00 ～ 10：30
Room 5 10：40 ～ 12：10

Practice of intraoral scanner Ver.4

Instructors： Kazuhiro Hikita (Health Sciences University of Hokkaido)
Daisuke Higuchi (Matsumoto Dental University)
Support Companies：SHOFU INC./ Dentsply Sirona K. K./ Invisalign Japan

■ Hands-on Seminar 3

July 16 (Sat.) Room 4 13：40 ～ 15：00
Room 4 15：30 ～ 16：50

Dietary counselling after oral function assessment

Instructor： Takayuki Ueda (Tokyo Dental College)
Support Company：CLINICO CO., LTD.

■ Hands-on Seminar 4

July 16 (Sat.) Room 5　13：40 ～ 17：00

Periodontal plastic surgery required for comprehensive prosthodontic treatment

Instructors：　Norimi Oda (Kansai Branch)
Wataru Sonoyama (Kansai Branch)
Support Companies：SHOFU INC./Pentron Japan Inc.

■ Hands-on Seminar 5

July 17 (Sun.) Room 4　9：00 ～ 11：50

The box-joint technique for fully digital workflow in removable partial denture fabrication

Instructor：　Shinichi Nakanoda (Chugoku & Shikoku Branch/insidefield Co,Ltd.)
Support Companies：KOBAYASHI DENTAL CLINIC/PLATON JAPAN CO., LTD/
Core Dental Lab. YOKOHAMA Co., Ltd.

■ Hands-on Seminar 6

July 17 (Sun.) Room 5　9：00 ～ 12：00

The current concept of esthetic restorative treatment in laminate veneers

Instructors：　Kenji Tsuchiya (Tokyo Branch/Society of Japan Clinical Dentistry)
Masayuki Okawa (Tokyo Branch/Society of Japan Clinical Dentistry)
Nobuya Kitahara (Tokyo Branch/Society of Japan Clinical Dentistry)
Support Companies：NISSIN DENTAL PRODICTS INC./Pentron Japan Inc./
MORIMURA DENTAL COMPANY

■ Evening Session 1

July 16 (Sat.) Room 1　18：00 ～ 19：00

Current status and future prospects of prosthesis applying additive manufacturing

Coordinator：　Shoko Miura (Meikai University)
Presenters：　Hidemasa Shimpo (Tsurumi University)
Manabu Kanazawa (Tokyo Medical and Dental University)

■ Evening Session 2

July 16 (Sat.) Room 2 18：00 ～ 19：00

Zirconia reached the goal as a dental material? Or achieves the further development?

Coordinator： Kosuke Harada (Tokyo Branch)
Presenters： Takafumi Otani (Kansai Branch)
Takafumi Fujita (Meikai University)
Kumiko Yosihara (Chugoku & Shikoku Branch)

■ Evening Session 3

July 16 (Sat.) Room 3 18：00 ～ 19：00

Potential of prosthodontics for oral hypofunction
-Swallowing, articulation, and sleep breathing-

Coordinator： Yoshitaka Suzuki (Tokushima University)
Presenters： Jin Magara (Niigata University)
Mariko Hattori (Tokyo Medical and Dental University Hospital)
Kentaro Okuno (Osaka Dental University)

■ Evening Session 4

July 16 (Sat.) Room 4 18：00 ～ 19：00

Prosthodontists-driven autotransplantation and tooth replantation from a scientific and clinical perspective

Coordinator： Naoki Kodama (Okayama University)
Presenters： Masamitsu Oshima (Tokushima University)
Kohei Shinmyouzu (Tokyo Branch)

■ Evening Session 5

July 16 (Sat.) Room 5 18：00 ～ 19：00

An attempt at removable partial denture using CAD/CAM technology

Coordinator： Akinori Tasaka (Tokyo Dental College)
Presenters： Haruna Okano (Tokyo Dental College)
Atsushi Takaichi (Tokyo Medical and Dental University)
Yuta Iida (Chugoku & Shikoku Branch)

■ Lunch & Learning

July 16 (Sat.) Room 4 12：30 ～ 13：10

New perspectives on prosthodontic medicine using single cell biology

Chairpersons： Yosuke Akiba (Niigata University)
Masamitsu Oshima (Tokushima University)
Speaker： Mitsuaki Ono (Okayama University)
Support Company：SCRUM Inc.

■ Meet the Experts

July 16 (Sat.) Room 5 12：30 ～ 13：10

Instructors： Kazunori Ikebe (Osaka University)
Hiroshi Egusa (Tohoku University)
Kenichi Matsuda (Kansai Branch)
Katsuichiro Maruo (Tokyo Branch)
Masao Yamazaki (Tokyo Branch/Society of Japan Clinical Dentisty)
Masaaki Honda (Kansai Branch/Society of Japan Clinical Dentistry)

■ Luncheon Seminar 1

July 16 (Sat.) Room 1 12：20 ～ 13：00

Various clinical applications of unique intraoral scanners under increasing need for prosthodontics appliances

Speaker： Jyoji Tanaka (Higashi-kanto Branch)

Support Company：Straumann Japan

■ Luncheon Seminar 2

July 16 (Sat.) Room 2 12：20 ～ 13：00

Clinical application of mouth rinse contained cethlypyridinium chloride in patients with removable denture

Chairperson： Takashi Sawase (Nagasaki University)

Speaker： Kazuyoshi Baba (Showa University)

Support Company：Earth Corporation

■ Luncheon Seminar 3

July 16 (Sat.) Room 3 12：20 ～ 13：00

New national health insurance coverage “CAD/CAM inlay”
Cementation and “Cerasmart HT shade” efficacy

Speaker： Shuji Kariya (GC CORPORATION)
Naoki Shimamura (GC CORPORATION)

Support Company：GC CORPORATION

■ Luncheon Seminar 4

July 17 (Sun.) Room 1 12：00 ～ 12：40

Resin cement systems for diversified prosthetic materials and methods

Speaker： Yohei Sato (Tsurumi University)

Support Company：Kuraray Noritake Dental Inc.

■ Luncheon Seminar 5

July 17 (Sun.) Room 2 12：00 ～ 12：40

Guideline for use of denture adhesives

Chairperson： Yasuhiko Kawai (Nihon University School of Dentistry at Matsudo)

Speaker： Hiroshi Murata (Nagasaki University)

Support Company：GlaxoSmithKline Consumer Healthcare Japan K.K.

■ Luncheon Seminar 6

July 17 (Sun.) Room 3 12：00 ～ 12：40

A new proposal to bruxism brought by wearable devices

Chairperson： Osamu Komiyama (Nihon University School of Dentistry at Matsudo)

Speaker： Takashi Iida (Nihon University School of Dentistry at Matsudo)

Support Company：Sunstar Inc.

■ Luncheon Seminar 7

July 17 (Sun.) Room 4 12：10 ～ 12：50

Various and coordinated uses of the X-Guide®

Speaker： Hirofumi Kido (Fukuoka Dental College)

Support Company：NOBEL BIOCARE JAPAN

■ Luncheon Seminar 8

July 17 (Sun.) Room 5 12：20 ～ 13：00

Chairperson： Kenji Tsuchiya (Tokyo Branch/Society of Japan Clinical Dentistry)

Comprehensive treatment with digital technology

Speaker： Kenichiro Sadamitsu (Osaka Branch/Society of Japan Clinical Dentistry)

Consideration for occlusal reconstruction using 3D digital technology

Speaker： Atsuo Uematsu (Tokyo Branch/Society of Japan Clinical Dentistry)

Support Company：Planmeca Japan KK

■ Citizen's Forum 2022 of the Japan Prosthodontic Society

Web

〈URL〉 https://www.kwcs.jp/jps131/civic.html

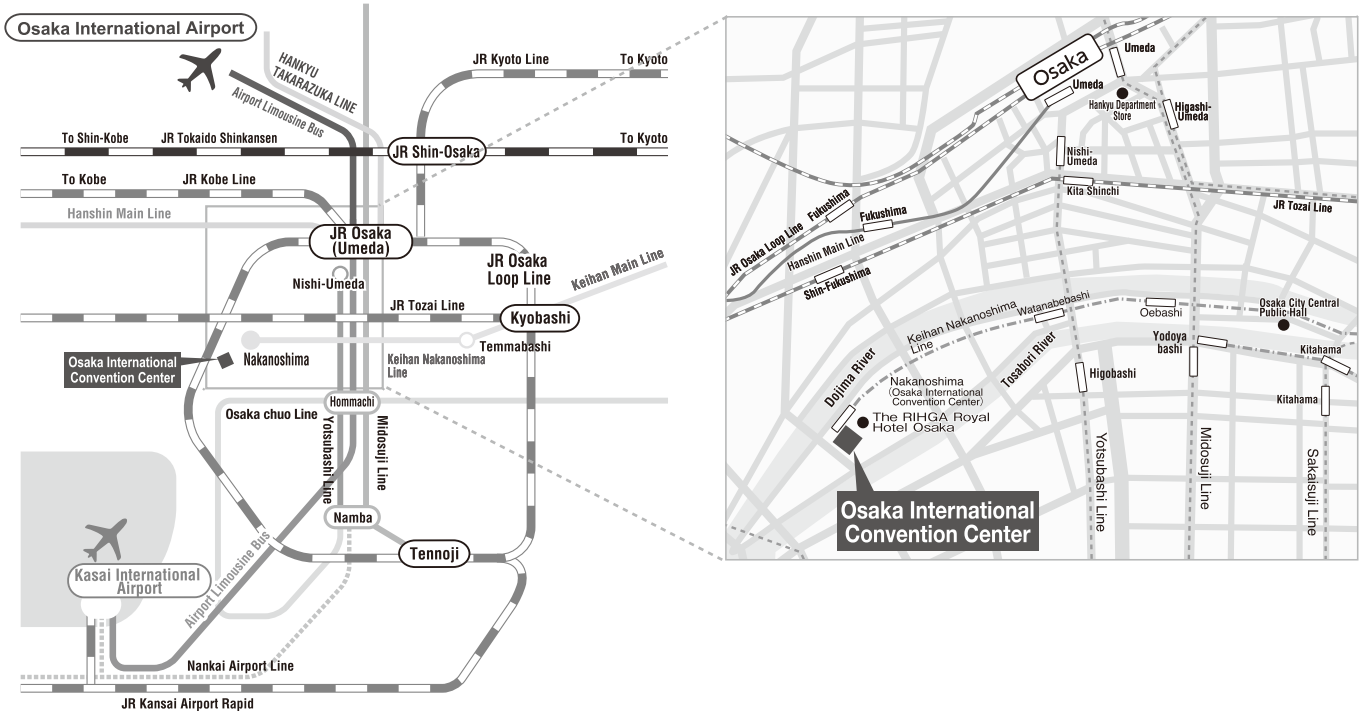
Let's learn together, about healthy lifestyles with the help of innovation in prosthodontic dentistry!

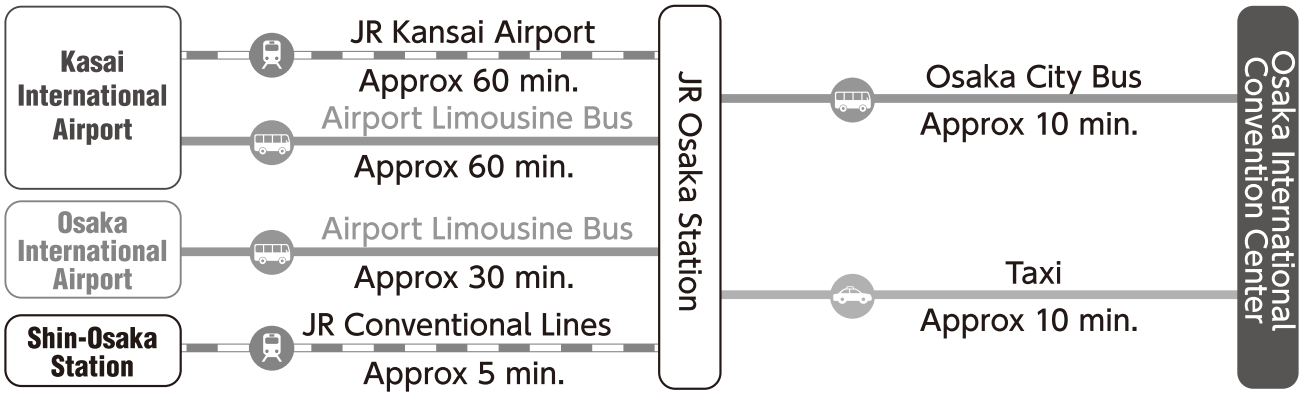
Chairpersons： Toshimitsu Iinuma (Japan Prosthodontic Society, Social liaison committee)
Atsushi Shimada (Tokyo Branch)

Speakers： Futoshi Komine (Nihon University)
Tetsuo Ohyama (Nihon University)

Access Map

Osaka International Convention Center





From Kansai International Airport
- Approx 60 minutes to Osaka Station on the JR Line
- Approx 60 minutes to the Osaka Station by airport limousine bus

From Osaka International Airport (Itami Airport)
- Approx 30 minutes to Osaka Station by airport bus

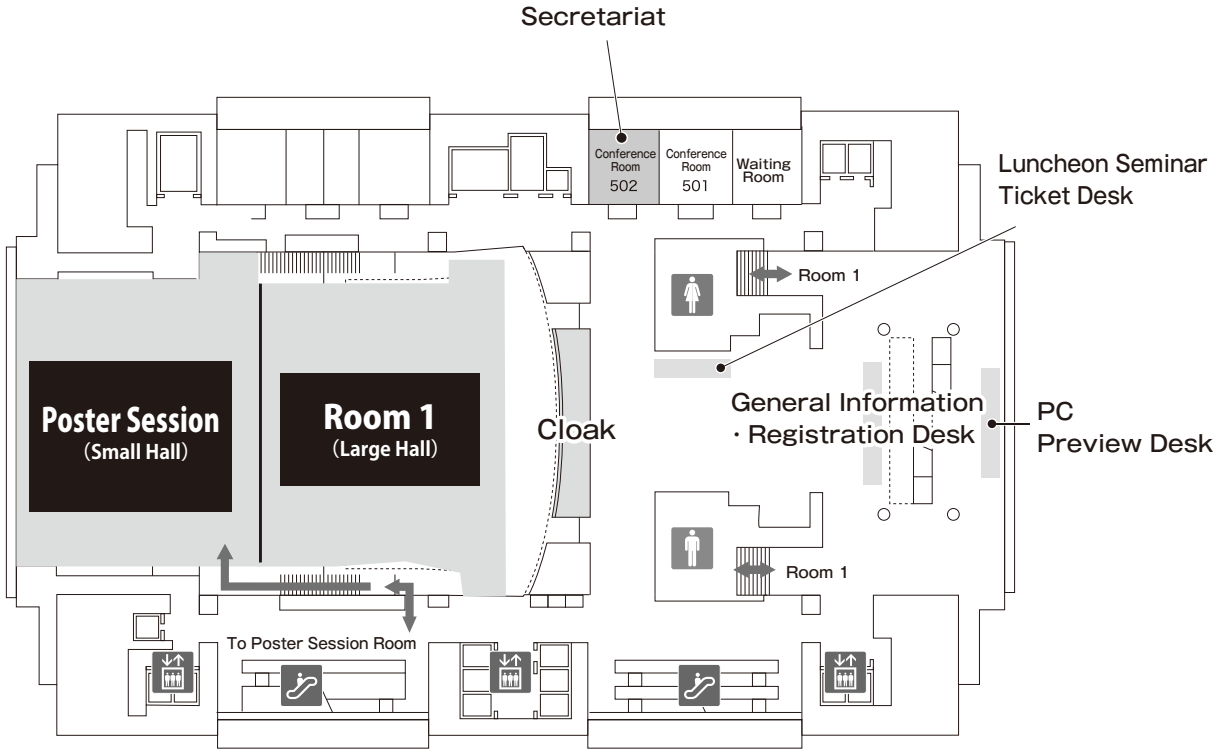
From Shin-Osaka Shinkansen (Bullet Train) Station
- Transfer to the JR local line at Shin-Osaka Station, and disembark at Osaka Station (approx 5 minutes)

From Osaka Station
- Approx 10 minutes to The RIHGA Royal Hotel Osaka by a free shuttle bus
- Approx 10 minutes by Osaka city bus from JR Osaka Station. Take No.53-bound. Get off at Dojima Ohashi bus stop.
- By taxi - Approx 10 minutes around JPY 1,000

Floor Guide

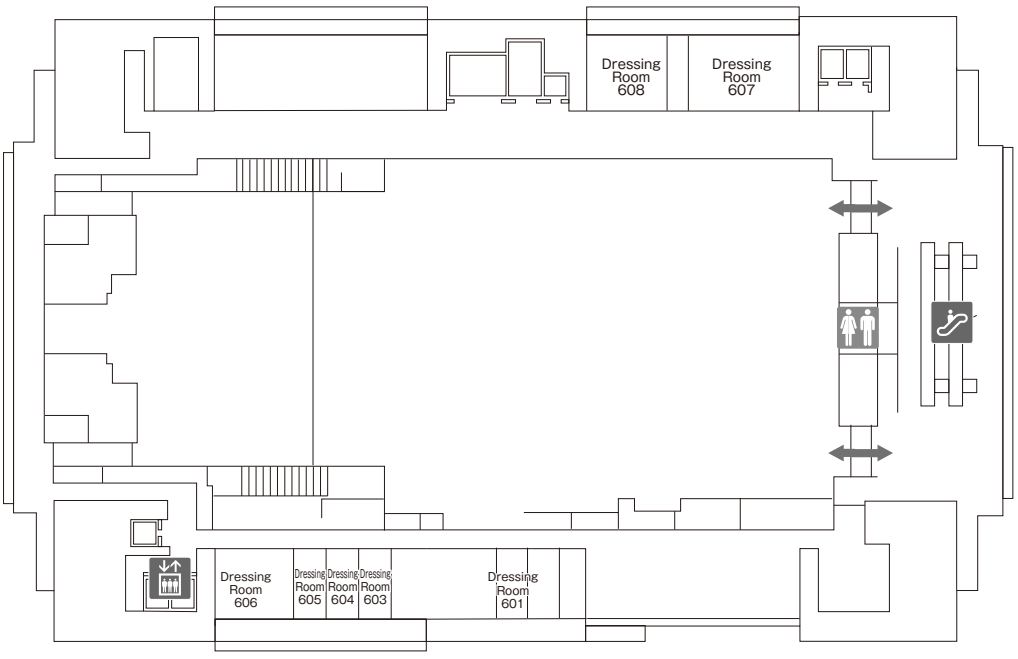
Osaka International Convention Center

5F



Please use stairs from the 5th floor to Room 1 & Poster Session Room.

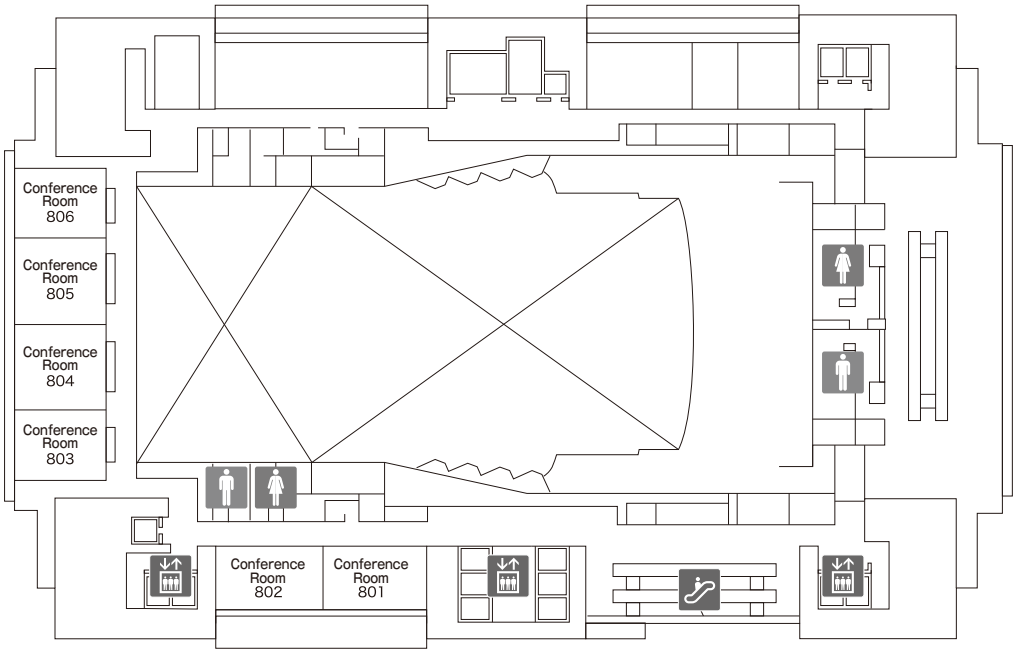
6F



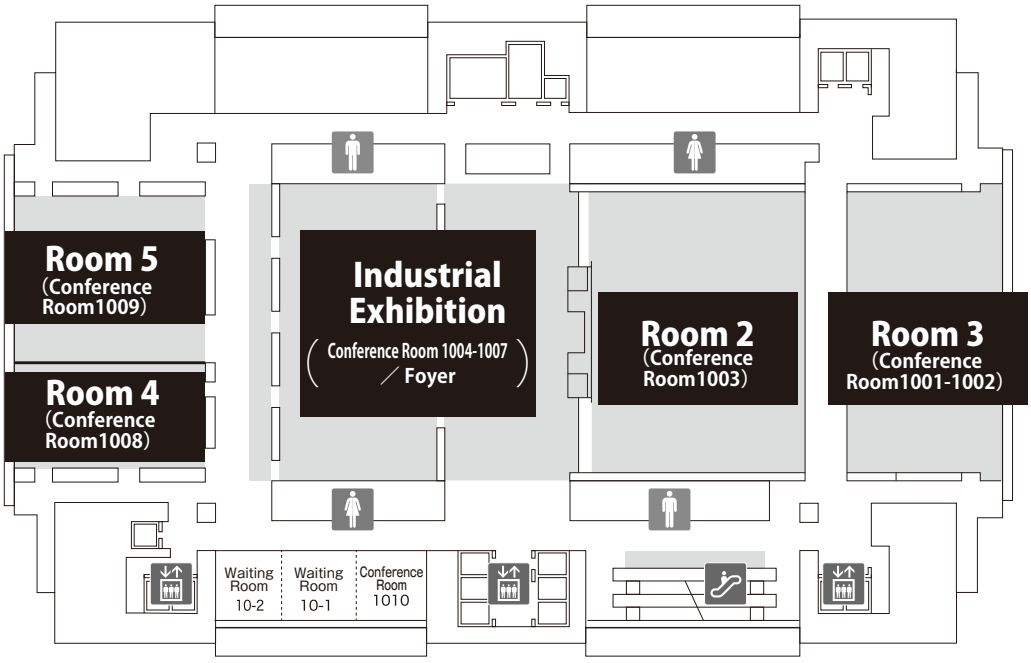
Floor Guide

Osaka International Convention Center

8F



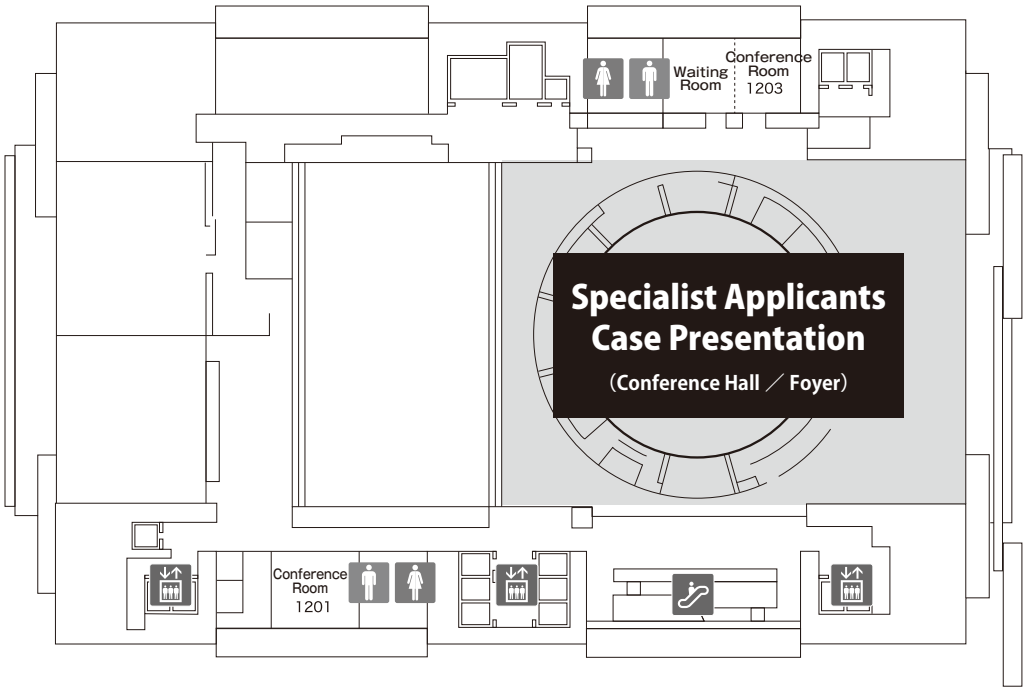
10F



Floor Guide

Osaka International Convention Center

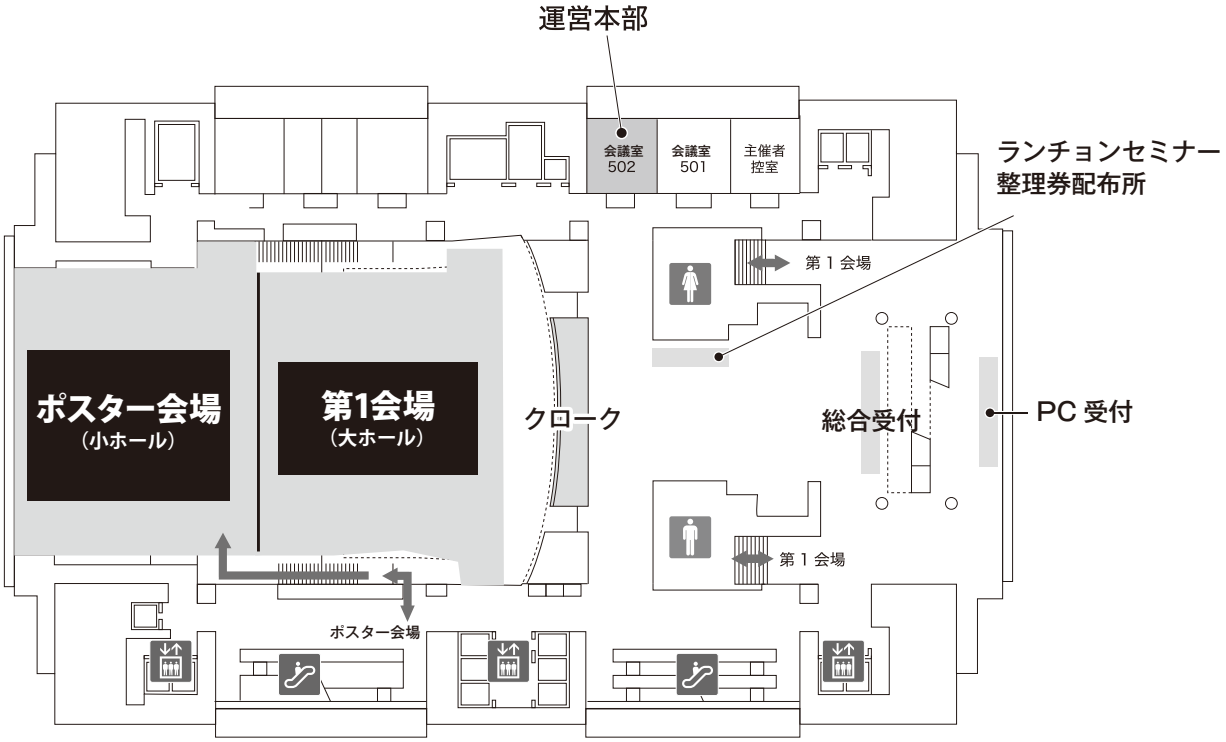
12F



会場案内図

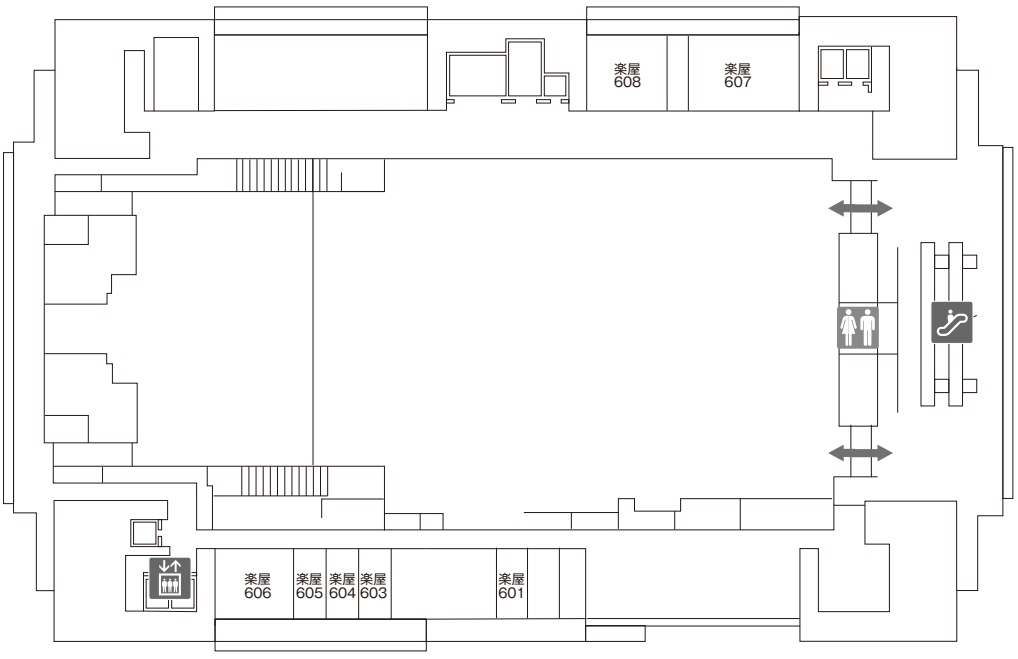
大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

5F



第 1 会場、ポスター会場へは、5F から階段をご利用ください

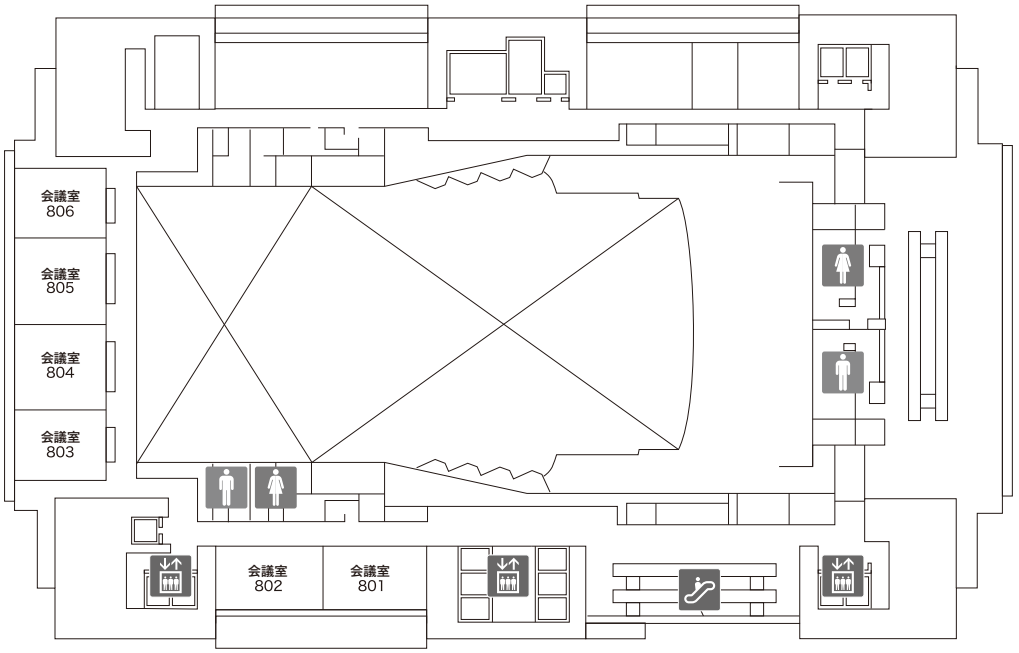
6F



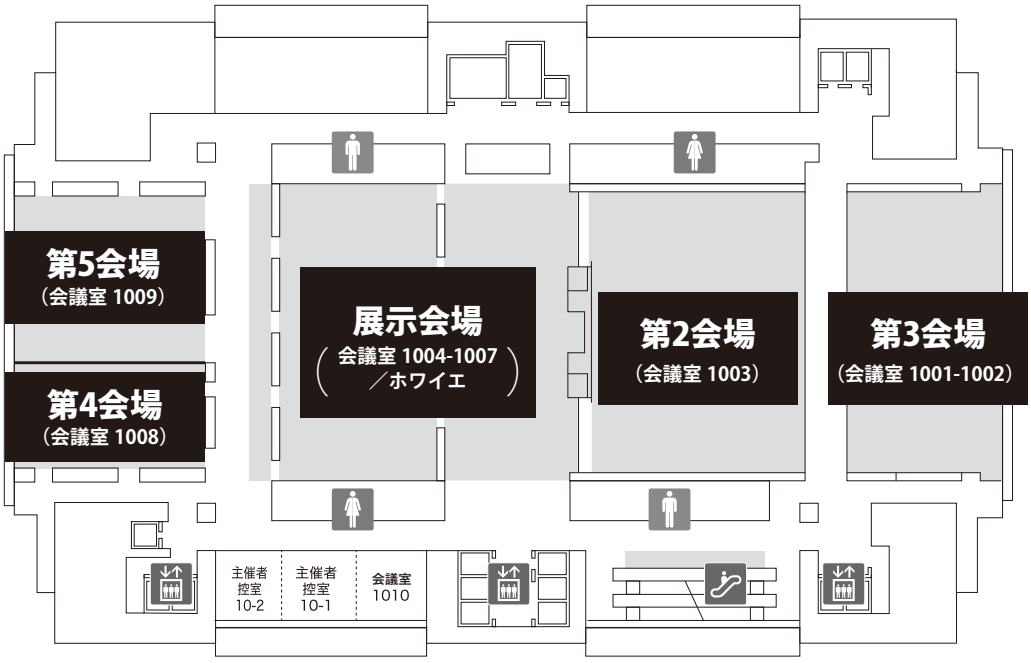
会場案内図

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

8F



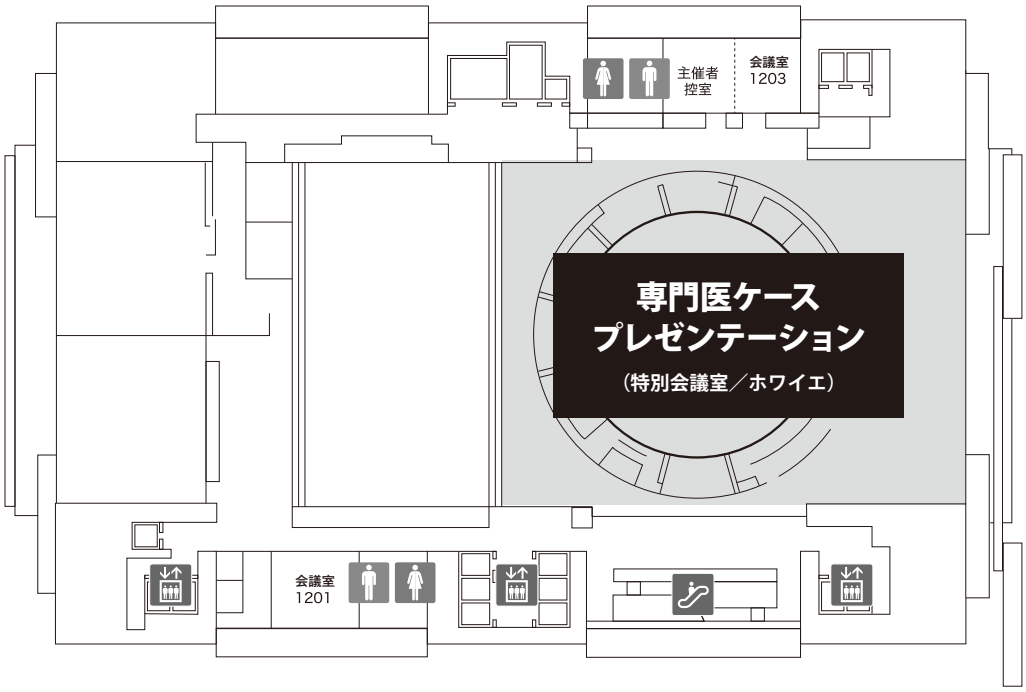
10F



会場案内図

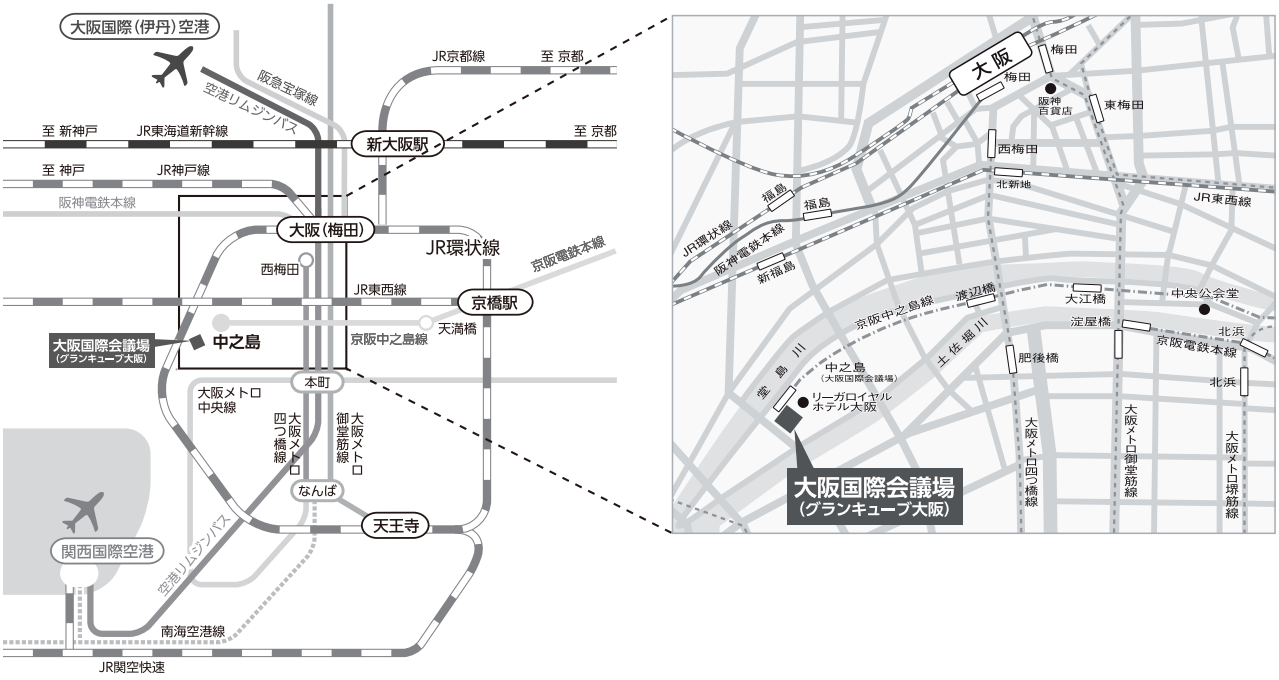
大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

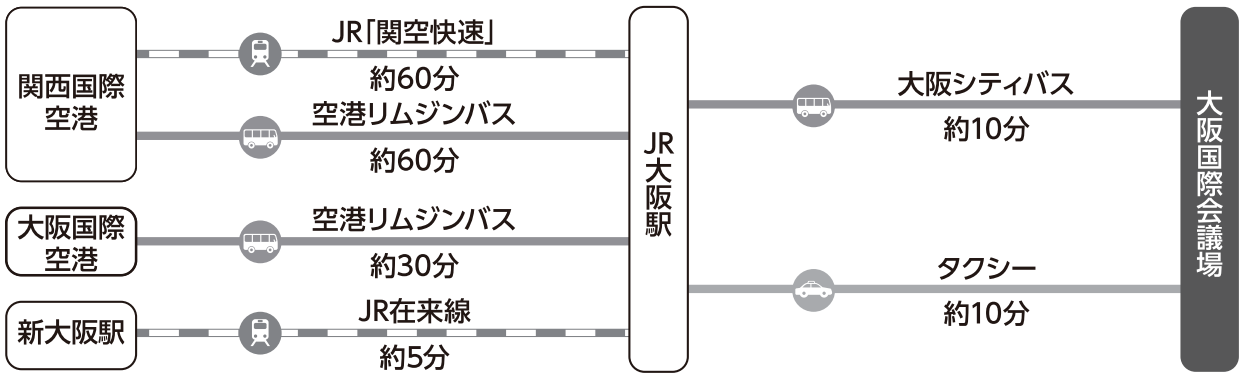
12F



交通案内

大阪国際会議場（グランキューブ）





関西国際空港から	● JR「関空快速」で「大阪」駅まで約60分 ● 空港リムジンバスで「大阪」駅前まで約60分
大阪国際空港(伊丹)から	● 空港リムジンバスで「大阪」駅前まで約30分
新幹線(新大阪駅)から	● JR在来線で「大阪」駅まで約5分
JR「大阪」駅から	● 大阪シティバス53系統(船津橋行)または55系統(鶴町四丁目行)で堂島大橋まで約15分 ● タクシーで約10分

新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

お客様の安心安全を第一に考え、下記の衛生対策を行っております。

宴会場での取り組みについて

お客様へのお願い

- ご出席者全員のマスク着用のご協力をお願いいたします。
- 入場時の手指アルコール消毒のご協力をお願いいたします。
  （各宴会場フロア、宴会場前などにアルコール消毒液を増設しております。）
- 発熱されているお客様 また 体調の優れないお客様は、
  宴会へのご出席をご遠慮いただきますようお願い申しあげます。

新しい宴会スタイルのご提案

- 主催者様による検温をご希望の場合、体温計、サーモグラフィーをご用意いたします（※有料）。
- 三密を避けるため、あらゆる宴会形式において、
  収容人数の制限、間隔を確保したレイアウトをご提案しております。
- ご宴席の内容により、「大阪コロナ追跡システム」の
  設置・登録を推奨しております。
- ご希望により、アクリル製パネル（受付用・円卓会食用）を
  ご用意いたします（※有料）。
  ※数に限りがありますので、詳しくはお問い合わせください。

アクリル製パネル（円卓会食用）設置例

宴会場内・宴会場フロアにおける取り組み

- お客様が触れる機会が多い箇所（ドアノブ、扉、エスカレーターの手すり等）の
  拭き取り消毒を定期的に実施しております。
- 開場前に椅子の背もたれ、および マイクの使用後は、
  その都度拭き取り消毒を実施しております。
- 各宴会場、ロビー、エレベーター内は、換気システムによる空気の入れ替えを行っております。
  あわせて、宴会休憩時は扉口を開放し、十分な換気のご協力をお願いいたします。
- エレベーターのご利用人数を制限しております。
  また、エスカレーターのご利用につきましても同様に、間隔を十分に開けての
  ご利用をお願いしております。

RIHGA ROYAL HOTEL

レストランでの取り組みについて

ご入店時

- ご入店の際には、マスクの着用・手指の消毒・検温へのご協力をお願い申しあげます。
- 「大阪コロナ追跡システム」への登録のご協力をお願い申しあげます。

テーブルにおいて

- 席においても、お食事以外（ご歓談）のお時間はマスクの着用をお願い申しあげます。
- お客様同士が向かい合って座るテーブル上に、飛沫防止パネルを設置しております。
- お客様が使用されたテーブル・椅子等は、ご利用ごとに消毒を実施しております。

ビュッフェの料理卓において

- 料理をお取りいただく際は、マスク・ビニール手袋の着用と手指の消毒をお願い申しあげます。
- お並びの際は、間隔を空けていただきますようお願い申しあげます。
- トングは定期的に入れ替え・洗浄しております。
- 銘々盛りでの提供や蓋付きの什器の使用をしております。

個室において

- 飛沫防止パネルをテーブル上、向かい合わせの席に設置しております。
- 換気のため、個室の扉は開けた状態でのご利用をおすすめしております。

例）「日本料理 なかのしま」個室

換気について

- 1時間に数回、店内の空気を新鮮な外気と入れ替える空調システムを稼働させております。

パブリックスペースでの取り組み

1 ご宿泊のお客様へ健康状態の確認

チェックイン時に、健康状態、検温、並びに海外からの帰国等により、待機要請の対象となっているか否かを確認させていただいております。

2 スタッフのマスク着用

お客様の健康と安全を考慮し、スタッフがマスク着用でのご対応をさせていただきます。

3 拭き取り消毒の実施

客室内、シャトルバス内、並びにお客様の触れる機会が多いドアノブ、扉、エレベーターのボタンなど、定期的にアルコール消毒液による拭き取り消毒を行っています。

4 アルコール消毒液の設置

ロビー、各レストランなどにアルコール消毒液を設置しております。

5 館内の換気の実施

お客様がご利用になられるホテル空間は、常に館内の空気を新鮮な外気と入れ替える空調システムを稼働させております。

6 衛生リーダーの任命

「衛生リーダー」を、各レストラン、宴会場に配置し、各種衛生管理を推進し、お客様にもお声がけをさせていただきます。

従業員に対する取り組み

1 従業員の体調チェック、出社前の体温測定

※リーガロイヤルホテル（大阪）は、通用口にサーモグラフィーを設置

2 入館・就業時の手洗い、手指殺菌、うがいの徹底、マスク着用

3 バックスペースの定期的な消毒

4 時差出勤、社内業務の改善

（TV会議、テレワーク〔在宅勤務〕等）

会場ご予約お問い合わせ TEL.06-6448-0361　宴会内容ご確認お打合わせ TEL.06-6441-1431

受付時間 10:00～18:00※年末年始（12月31日～1月1日）を除く

No.　　（事務局使用欄）

第 131 回日本補綴歯科学会学術大会

健康状態申告書

新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため下記の項目にお答えいただき、ご提出をお願いいたします。ご提出は会期中１回、最初の来場時に必ずご提出ください。ご提出後に体調の変化があった場合は事務局までお申し付けください。

■ 記入日（該当日に○をつけてください）

7月 15 日（金）　・　7 月 16 日（土）　・　7 月 17日（日）

■ 参加区分　（該当する区分に○をつけてください）

学会参加者　・　共催・出展企業　・　運営スタッフ　・　その他

カテゴリーを
選択してください
※☑をつけてください

	事前 1 次	事前 2 次	当日登録
正会員・賛助会員	☐	☐	☐（15,000 円）
準会員（一般）	☐	☐	☐（7,500 円）
準会員（学部学生）	☐	☐	☐（2,000 円）
非会員（一般）	☐	☐	☐（20,000 円）
非会員（学部学生）	☐	☐	☐（3,000 円）
非会員（共催学会の会員）	☐	☐	☐（15,000 円）
登録歯科技工士	☐	☐	☐（0 円）
非会員（歯科技工士）	☐	☐	☐（3,000 円）
非会員（歯科衛生士）	☐	☐	☐（3,000 円）

※当日登録の方は事務局受付にて会員・非会員のチェック後、参加受付にお越しください。

■来場時の状況をご回答ください。該当に「〇」をつけてください。

①37.5 度以上の発熱がある　　はい　・　いいえ

②咳、咽頭痛、強いだるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある　　はい　・　いいえ

③聴覚異常や味覚異常がある　　はい　・　いいえ

④同居家族に上記①②③の症状がある　　はい　・　いいえ

⑤新型コロナウィルス感染症陽性者と濃厚接触がある　　はい　・　いいえ

⑥過去 14 日以内、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への渡航、または当該国・地域の在住者と濃厚接触がある　　はい　・　いいえ

⑦新型コロナウィルスのワクチン接種について　　接種した(1 回 ・ 2 回 ・ 3 回) ・ 接種していない

⑧連絡先

E-mail（　　@　　）

電話番号（　　－　　－　　）

ご所属先　　氏名

※ 本健康状態申告書は第 131 回日本補綴歯科学会学術大会の現地開催にあたり、新型コロナウィルス感染拡大予防対策として参加者の健康状態を確認することを目的としています。ご記入いただいた個人情報は、参加者の健康状態の把握、 来場参加可否の判断および必要な連絡のために使用いたします。

※ 法令において認められた場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。
感染が疑われる参加者・運営関係者が報告された場合には、保健所等の公的機関の要請により、個人情報を含む必要な情報を提供する場合がございます。予めご了承ください。

第 131 回日本補綴歯科学会学術大会 運営事務局